

2022 年度（令和 4 年度）

学生による授業評価アンケート
実施報告書

福山大学大学教育センター
教育開発部門

目次

はじめに	- 1 -
1. アンケート調査の目的	- 2 -
2. アンケート調査の概要	- 2 -
3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果	- 5 -
(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧	- 5 -
(2) アンケート回答率について	- 9 -
(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）	- 10 -
① 【質問 1】 授業準備について	- 10 -
② 【質問 2】 話し方について	- 11 -
③ 【質問 3】 授業の計画性について	- 12 -
④ 【質問 4】 授業時間について	- 13 -
⑤ 【質問 5】 講義の工夫について	- 14 -
⑥ 【質問 6】 質問への誠意について	- 15 -
⑦ 【質問 7】 講義の満足度について	- 16 -
(4) 調査結果の内容（学生の自己点検について）	- 17 -
① 【質問 8】 関連学習について	- 17 -
② 【質問 9】 集中力について	- 18 -
③ 【質問 10】 出席状況について	- 19 -
④ 【質問 11】 知識や技能の深まりについて	- 20 -
⑤ 【質問 12】 授業内容理解への積極性について	- 21 -
⑥ 【質問 13】 意欲の高まりについて	- 22 -
⑦ 【質問 14】 学修の成果について	- 23 -
4. 全学、学部・センターの全体総括	- 24 -
5. 学科の授業評価アンケート結果	- 26 -
(1) 学科の集計結果一覧	- 26 -
6. 学科、センターの個別総括	- 30 -
① 経済学部経済学科	- 30 -
② 経済学部国際経済学科	- 34 -
③ 経済学部税務会計学科	- 36 -
④ 人間文化学部心理学科	- 40 -
⑤ 人間文化学部人間文化学科	- 43 -
⑥ 人間文化学部メディア・映像学科	- 47 -

⑦	工学部スマートシステム学科	- 49 -
⑧	工学部建築学科	- 51 -
⑨	工学部情報工学科	- 54 -
⑩	工学部機械システム工学科	- 58 -
⑪	生命工学部生物工学科	- 61 -
⑫	生命工学部生命栄養科学科	- 64 -
⑬	生命工学部海洋生物科学科	- 66 -
⑭	薬学部薬学科	- 69 -
⑮	大学教育センター	- 72 -
⑯	共同利用センター	- 76 -
7.	令和4年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧	- 78 -
8.	令和4年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧	- 84 -

はじめに

福山大学は、次の6つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

福山大学教育目標

- (1) 真理の探究と道理の実践
- (2) 豊かな品性と強い意志の涵養
- (3) 生命と自然の尊重
- (4) 個性の発揮と信頼に基づく人間関係の構築
- (5) 可能性への挑戦
- (6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか？」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか？」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学修成果として認識し把握している。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成16年度に実施して以来、本学のすべての教員が毎年、学生による授業評価を受けている。平成23年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

令和4年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学修の成果向上の機会となることを願っている。

令和5年3月31日

大学教育センター センター長 鶴田 泰人

同 教育開発部門長 佐藤 英治

IR室 片桐 重和（データ集計・解析）

薬学部 藤村よしの（データ集計・解析）

1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講しているのか、授業の何を期待しているのかを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケートを実施する。

2. アンケート調査の概要

(1) 実施期間

前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）

後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

(2) 調査科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）を対象に、各教員前期1科目、後期1科目のアンケートを実施した。科目の選定は、各学科長・センター長に依頼した。全学で前期303科目（受講者数延べ15251人）、後期275科目（受講者数延べ14563人）について実施した。調査科目はp. 77～87に示す。

(3) アンケート調査内容

アンケートの調査項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学修点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。各設問を以下に示す。

【質問1】 授業準備：授業の準備が適切になされていると思いますか？

【質問2】 話し方：教員の話し方は明瞭ですか？

【質問3】 計画性：授業はシラバス通りに行われていますか？

【質問4】 授業時間：授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？

【質問5】 講義の工夫：教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？

【質問6】 質問への誠意：教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？

【質問7】 講義の満足度：この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。

【質問8】 関連学習：この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？

【質問9】 集中力：授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？

【質問10】 出席状況：授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？

【質問11】 知識や技能の深まり：この科目を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？

【質問12】 授業内容理解への積極性：授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？

【質問13】 意欲の高まり：この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問 14】学修の成果：この科目であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください。

(4) 調査結果の集計

アンケート調査及び結果の集計は学修支援システム Cerezo（セレッソ）の機能を利用して行った。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には 5、強く否定する回答には 1）を乗じ全回答数で除することで、平均点を算出した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、最高点は 5.0、最低点は 1.0、標準点は 3.0 となる。なお、質問 3 では「シラバスを読んでいない」、質問 4 では「この授業は遠隔授業なのでわからない」、質問 6 では「質問したことがない」という選択肢を増やし、6 段階評価とした。これらの選択肢については、平均点の算出には用いていない。

集計は、全学、学部・センター、学科、科目単位で行った。本報告書では、全学、学部・センター、学科単位での集計結果を掲載した。各種集計結果は少数第二位以下を四捨五入して表示している。なお、所属教員が 1 名の国際センター、社会連携センターおよび IR 室については本集計表から除外した。集計結果で表示している全学の各種値は、上記の 2 センターと IR 室の数値も含めて計算しているため学部・センターの合計値とは一致しないことに留意してほしい。

(5) 学生へのフィードバック方法

アンケート調査の結果のフィードバックは、授業担当教員がアンケート調査終了後の授業時や定期試験時に口頭で行ったか、あるいは学修支援システム Cerezo の機能を利用して行った。

(6) アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、各教員は 3 週間以内に報告書（p. 4 の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

(7) アンケート実施後の学科による総括

年度末に学科・センター単位で授業評価アンケートを総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

令和4年度前期 授業評価アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏 名	所属学部・学科		
		学部	学科	
講 義 名	科目分類 (不要な方を消去する)		受講者数	回答率
	共通教育科目	専門科目	名	%

お手数ですがこの科目のアンケート集計結果を各質問毎に記載してください

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7
授業準備	話し方	計画性	授業時間	講義の工夫	質問への誠意	満足度
質問 8	質問 9	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14
関連学習	集中力	出席状況	知識の深まり	授業内容理解への積極性	意欲の高まり	学修の成果

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

--

◆この講義に対する学生の評価結果について (アンケートの質問1～質問7が該当します)

○高く評価された事項

--

○改善を求められている事項

--

○今後の授業改善の計画

--

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について (アンケートの質問8～質問14が該当します)

○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか

--

○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

--

3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果

(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧

全学、学部・センター単位の前期の集計結果を以下に示す（表1：前期、表2：後期）。

表1-1 令和4年度授業評価アンケート 学部別集計結果 前期【質問1～7】

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部	学科									
制限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			15,251	1,818	1,700	2,019	2,090	5,279	1,993	272
回答者数			9,222	1,002	982	1,375	1,599	2,689	1,313	189
回答率			60.5%	55.1%	57.8%	68.1%	76.5%	50.9%	65.9%	69.5%
【質問1】 授業準備	適切である	5	6,721	718	718	940	1,165	2,019	982	126
授業の準備は適切になされていると思いますか？	ほぼ適切である	4	1,942	200	203	337	345	544	252	45
	どちらとも言えない	3	443	66	51	78	63	102	66	13
	やや不適切である	2	78	9	6	13	20	17	11	2
	不適切である	1	38	9	4	7	6	7	2	3
	平均点		4.65	4.61	4.65	4.59	4.65	4.69	4.68	4.53
【質問2】 教員の話し方	聞き取りやすい(読みやすい)	5	5,890	646	660	808	1,039	1,736	842	101
教員の話し方は聞き取りやすいですか？／(音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	2,314	225	229	373	408	691	320	54
	どちらとも言えない	3	601	75	62	124	78	156	77	29
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	323	35	24	56	58	89	57	3
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	94	21	7	14	16	17	17	2
	平均点		4.47	4.44	4.54	4.39	4.50	4.50	4.46	4.32
【質問3】 授業の計画性	行われている	5	6,224	691	638	909	1,029	1,883	898	122
授業はシラバス通りに行われていますか？	ほぼ行われている	4	1,630	173	196	277	334	339	259	40
	どちらとも言えない	3	374	46	37	79	70	76	53	12
	やや異なっている	2	58	10	8	9	9	7	12	3
	全異なっている	1	12	1	2	2	5	1	0	1
	シラバスを読んでいない	-	924	81	101	99	152	383	91	11
平均点		4.69	4.68	4.66	4.63	4.64	4.78	4.67	4.57	
【質問4】 授業時間	守っている	5	6,709	729	722	909	1,108	2,078	983	115
授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	ほぼ守っている	4	1,722	173	184	295	384	456	192	31
	どちらとも言えない	3	445	48	48	90	70	101	71	16
	やや守っていない	2	100	10	10	19	26	18	14	3
	守っていない	1	34	5	4	4	11	3	7	0
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	212	37	14	58	0	33	46	24
平均点		4.66	4.67	4.66	4.58	4.60	4.73	4.68	4.56	
【質問5】 講義の工夫	思う	5	5,970	653	657	805	1,083	1,729	878	113
教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	やや思う	4	2,316	244	247	373	382	695	315	44
	どちらとも言えない	3	644	60	58	138	95	176	87	25
	あまり思わない	2	208	23	14	43	26	72	24	6
	思わない	1	84	22	6	16	13	17	9	1
	平均点		4.51	4.48	4.56	4.39	4.56	4.51	4.55	4.39
【質問6】 質問への誠意	誠意をもって答える	5	4,668	552	598	681	901	1,036	777	74
教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	ほぼ誠意をもって答える	4	1,247	150	145	232	259	247	174	32
	どちらとも言えない	3	552	73	61	105	83	113	90	26
	やや誠意が感じられない	2	58	6	6	14	9	10	10	3
	誠意が感じられない	1	30	3	4	9	2	5	5	1
	質問したことがない	-	2,667	218	168	334	345	1,278	257	53
平均点		4.60	4.58	4.63	4.50	4.63	4.63	4.62	4.29	
【質問7】 授業への満足度	満足	5	5,131	569	557	714	974	1,464	722	83
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	ほぼ満足	4	2,889	286	315	449	470	889	391	68
	どちらとも言えない	3	902	92	94	153	105	277	145	32
	やや不満	2	218	36	12	39	40	46	40	5
	不満	1	82	19	4	20	10	13	15	1
	平均点		4.38	4.35	4.43	4.31	4.47	4.39	4.34	4.20
【質問1】～【質問7】の平均			4.57	4.54	4.59	4.48	4.58	4.60	4.57	4.41

表 1-2 令和4年度授業評価アンケート 学部別集計結果 前期【質問8～14】

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	受講者数	回答者数	回答率	係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
											15,251	1,818	1,700	2,019	2,090	5,279	1,993	272
											9,222	1,002	982	1,375	1,599	2,689	1,313	189
											60.5%	55.1%	57.8%	68.1%	76.5%	50.9%	65.9%	69.5%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	617	79	73	123	61	216	56	7								
	2～3時間未満	4	826	83	95	124	120	301	85	15								
	1～2時間未満	3	2,290	231	193	331	387	794	296	40								
	30分～1時間未満	2	2,989	300	308	432	601	813	451	56								
	30分未満	1	2,500	309	313	365	430	565	425	71								
	平均点		2.36	2.32	2.29	2.42	2.24	2.55	2.16	2.11								
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	4,120	406	316	496	557	1,636	596	85								
	ほとんどない	4	3,178	329	382	515	643	780	441	53								
	どちらとも言えない	3	1,184	158	158	232	244	175	176	35								
	しばしばある	2	613	89	95	110	137	81	86	11								
	毎回ある	1	127	20	31	22	18	17	14	5								
	平均点		4.14	4.01	3.87	3.98	3.99	4.46	4.16	4.07								
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、急引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	6,586	573	629	900	1,177	2,286	871	99								
	ほぼ出席	4	2,085	320	264	376	343	346	352	68								
	ときどき欠席する	3	394	79	53	82	57	45	57	16								
	やや欠席が多い	2	116	25	23	14	14	10	23	6								
	欠席が大変多い	1	41	5	13	3	8	2	10	0								
	平均点		4.63	4.43	4.50	4.57	4.67	4.82	4.56	4.38								
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	4,324	437	439	593	873	1,296	576	79								
	やや深まっている	4	3,839	411	436	585	611	1,114	568	77								
	どちらとも言えない	3	800	107	83	142	87	235	118	24								
	あまり深まっていない	2	198	32	18	43	19	39	40	6								
	全く深まっていない	1	61	15	6	12	9	5	11	3								
	平均点		4.32	4.22	4.31	4.24	4.45	4.36	4.26	4.18								
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	2,828	353	297	400	452	869	388	50								
	頻繁にしている	4	2,056	230	223	314	362	580	278	48								
	ときどきしている	3	3,200	300	330	488	591	940	459	69								
	ほとんどしていない	2	721	86	72	99	132	194	123	8								
	全くしていない	1	417	33	60	74	62	106	65	14								
	平均点		3.67	3.78	3.64	3.63	3.63	3.71	3.61	3.59								
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	3,600	370	365	537	698	1,093	446	61								
	やや思う	4	3,516	346	387	504	630	1,046	496	78								
	どちらとも言えない	3	1,533	197	181	228	196	422	257	40								
	あまり思わない	2	430	58	38	75	57	109	85	6								
	全く思わない	1	143	31	11	31	18	19	29	4								
	平均点		4.08	3.96	4.08	4.05	4.21	4.15	3.95	3.98								
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	3,576	389	365	521	685	1,049	477	65								
	少し成果はあがっている	4	4,246	419	465	623	738	1,268	601	91								
	どちらとも言えない	3	1,081	136	126	171	134	310	173	27								
	あまり成果はあがっていない	2	258	42	18	47	33	58	53	4								
	全く成果はあがっていない	1	61	16	8	13	9	4	9	2								
	平均点		4.19	4.12	4.18	4.16	4.29	4.23	4.13	4.13								
【質問8】～【質問14】の平均											3.91	3.84	3.84	3.86	3.92	4.04	3.83	3.78

表 2-1 令和 4 年度授業評価アンケート 学部別集計結果 後期【質問 1～7】

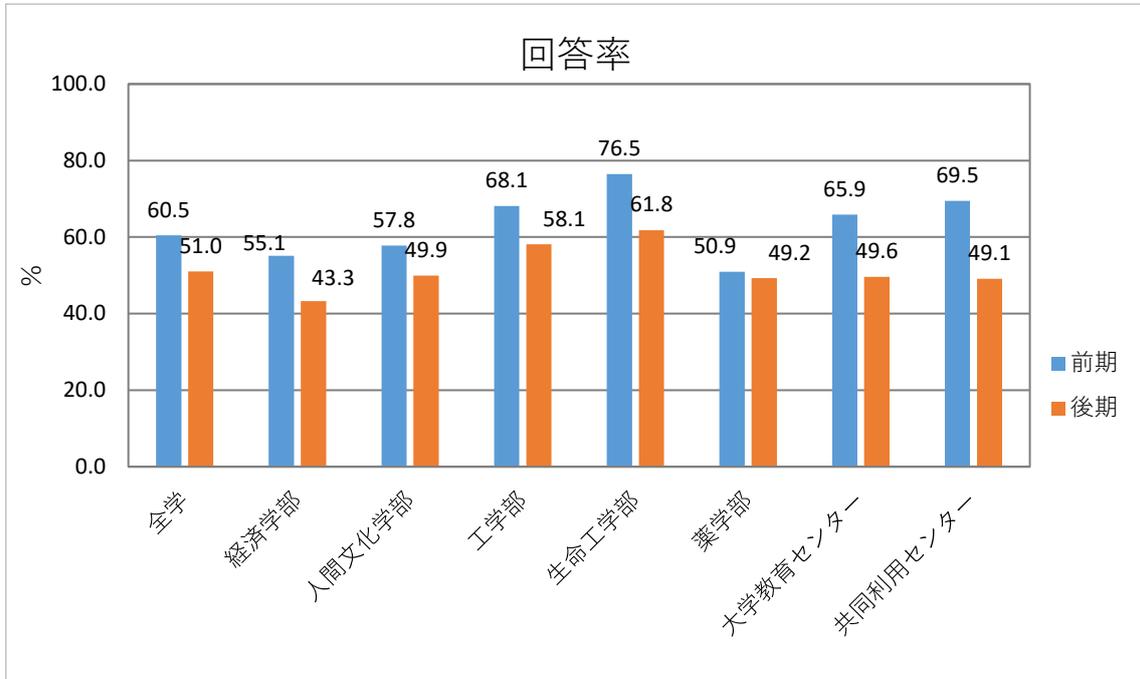
講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			14,563	2,208	2,082	2,296	1,853	3,729	1,972	55
回答者数			7,429	956	1,039	1,262	1,145	1,836	978	27
回答率			51.0%	43.3%	49.9%	0.0%	61.8%	49.2%	49.6%	49.1%
【質問1】 授業準備 授業の準備は適切になされていると思いますか？	適切である	5	5,399	660	777	881	807	1,415	712	20
	ほぼ適切である	4	1,569	204	208	289	288	321	205	7
	どちらとも言えない	3	349	62	44	72	35	77	50	0
	やや不適切である	2	72	15	6	12	13	16	8	0
	不適切である	1	40	15	4	8	2	7	3	0
	平均点			4.64	4.55	4.68	4.60	4.65	4.70	4.65
【質問2】 教員の話し方 教員の話は聞き取りやすいですか？／ (音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	聞き取りやすい(読みやすい)	5	4,810	584	719	735	761	1,246	627	17
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	1,842	242	249	369	287	398	239	7
	どちらとも言えない	3	473	83	54	103	49	106	66	3
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	222	31	15	37	39	57	38	0
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	82	16	2	18	9	29	8	0
	平均点			4.49	4.41	4.61	4.40	4.53	4.51	4.47
【質問3】 授業の計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	5,086	611	727	861	731	1,348	664	20
	ほぼ行われている	4	1,325	179	194	249	253	229	178	5
	どちらとも言えない	3	295	60	40	56	41	55	36	0
	やや異なっている	2	36	5	8	10	6	5	2	0
	全く異なっている	1	17	4	4	1	1	3	4	0
	シラバスを読んでいない	-	670	97	66	85	113	196	94	2
平均点			4.69	4.62	4.68	4.66	4.65	4.78	4.69	4.80
【質問4】 授業時間 授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	守っている	5	5,408	657	731	869	827	1,463	700	19
	ほぼ守っている	4	1,467	187	243	250	279	291	191	2
	どちらとも言えない	3	305	62	43	69	29	56	38	1
	やや守っていない	2	64	6	13	11	8	15	9	0
	守っていない	1	16	4	2	1	2	1	6	0
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	169	40	7	62	0	10	34	5
平均点			4.68	4.62	4.64	4.65	4.68	4.75	4.66	4.82
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	4,807	594	727	733	756	1,223	640	19
	やや思う	4	1,831	209	239	356	299	439	238	5
	どちらとも言えない	3	543	104	63	123	59	105	70	1
	あまり思わない	2	180	29	6	38	24	53	21	2
	思わない	1	68	20	4	12	7	16	9	0
	平均点			4.50	4.39	4.62	4.39	4.55	4.53	4.51
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	3,666	475	637	642	591	654	568	16
	ほぼ誠意をもって答える	4	1,084	134	164	243	198	167	145	4
	どちらとも言えない	3	410	93	46	89	50	61	50	1
	やや誠意が感じられない	2	45	6	6	13	5	4	10	0
	誠意が感じられない	1	29	9	3	5	0	8	4	0
	質問したことがない	-	2,195	239	183	270	301	942	201	6
平均点			4.59	4.48	4.67	4.52	4.63	4.63	4.63	4.71
【質問7】 授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	4,108	488	634	632	639	1,027	578	18
	ほぼ満足	4	2,377	308	309	420	397	594	275	9
	どちらとも言えない	3	695	106	81	163	77	158	86	0
	やや不満	2	167	26	8	29	25	48	28	0
	不満	1	82	28	7	18	7	9	11	0
	平均点			4.38	4.26	4.50	4.28	4.43	4.41	4.41
【質問1】～【質問7】の平均			4.57	4.47	4.63	4.50	4.59	4.61	4.58	4.68

表 2-2 令和4年度授業評価アンケート 学部別集計結果 後期【質問8～14】

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	受講者数	回答者数	回答率	係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
											14,563	2,208	2,082	2,296	1,853	3,729	1,972	55
											7,429	956	1,039	1,262	1,145	1,836	978	27
											51.0%	43.3%	49.9%	0.0%	61.8%	49.2%	49.6%	49.1%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	544	67	66	150	52	135	56	5								
	2～3時間未満	4	606	58	106	115	80	148	84	3								
	1～2時間未満	3	1,729	211	186	333	280	470	199	5								
	30分～1時間未満	2	2,297	283	290	342	407	596	313	7								
	30分未満	1	2,253	337	391	322	326	487	326	7								
	平均点		2.31	2.20	2.20	2.55	2.24	2.37	2.21	2.70								
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	2,870	332	298	467	353	949	399	17								
	ほとんどない	4	2,741	334	388	447	492	667	329	4								
	どちらとも言えない	3	1,148	178	220	227	179	146	160	4								
	しばしばある	2	541	87	104	91	110	60	74	1								
	毎回ある	1	129	25	29	30	11	14	16	1								
	平均点		4.03	3.90	3.79	3.97	3.93	4.35	4.04	4.30								
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、急引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	4,776	529	629	755	692	1,493	555	16								
	ほぼ出席	4	2,047	321	305	392	350	290	317	9								
	ときどき欠席する	3	435	77	72	83	82	33	74	1								
	やや欠席が多い	2	140	20	27	29	17	19	24	1								
	欠席が大変多い	1	31	9	6	3	4	1	8	0								
	平均点		4.53	4.40	4.47	4.48	4.49	4.77	4.42	4.48								
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	3,530	419	519	578	565	897	462	18								
	やや深まっている	4	3,037	374	412	521	483	743	391	9								
	どちらとも言えない	3	651	118	87	122	74	152	89	0								
	あまり深まっていない	2	160	26	19	31	21	35	27	0								
	全く深まっていない	1	51	19	2	10	2	9	9	0								
	平均点		4.32	4.20	4.37	4.29	4.39	4.35	4.30	4.67								
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	2,211	274	295	421	279	563	315	16								
	頻繁にしている	4	1,590	194	235	307	243	337	214	3								
	ときどきしている	3	2,655	337	387	401	458	704	298	6								
	ほとんどしていない	2	637	104	74	90	116	147	92	1								
	全くしていない	1	336	47	48	43	49	85	59	1								
	平均点		3.63	3.57	3.63	3.77	3.51	3.62	3.65	4.19								
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	2,805	317	402	474	449	731	361	14								
	やや思う	4	2,911	340	396	499	481	748	355	10								
	どちらとも言えない	3	1,237	194	175	215	148	282	183	3								
	あまり思わない	2	358	69	55	55	54	65	52	0								
	全く思わない	1	118	36	11	19	13	10	27	0								
	平均点		4.07	3.87	4.08	4.07	4.13	4.16	3.99	4.41								
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	3,022	355	446	520	461	759	405	17								
	少し成果はあがっている	4	3,315	395	466	542	543	830	423	9								
	どちらとも言えない	3	870	157	107	153	113	208	113	1								
	あまり成果はあがっていない	2	174	28	16	37	25	36	30	0								
	全く成果はあがっていない	1	48	21	4	10	3	3	7	0								
	平均点		4.22	4.08	4.28	4.21	4.25	4.26	4.22	4.59								
【質問8】～【質問14】の平均											3.88	3.75	3.83	3.91	3.85	3.98	3.83	4.19

(2) アンケート回答率について

回答率をグラフに、実数を表に示した。全学平均では、前期が60.5%、後期が51.0%で昨年度と同程度であった（令和3年度：前期57.2%、後期51.8%）。毎年前期と比べて後期は回答率が低くなる傾向が認められる。今後は学生へのアンケートの依頼方法についても再検討を行い、より多くの学生に協力してもらえよう改善を図っていききたい。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期 回答率

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	15,251	1,818	1,700	2,019	2,090	5,279	1,993	272
回答者数	9,222	1,002	982	1,375	1,599	2,689	1,313	189
回答率 (%)	60.5	55.1	57.8	68.1	76.5	50.9	65.9	69.5

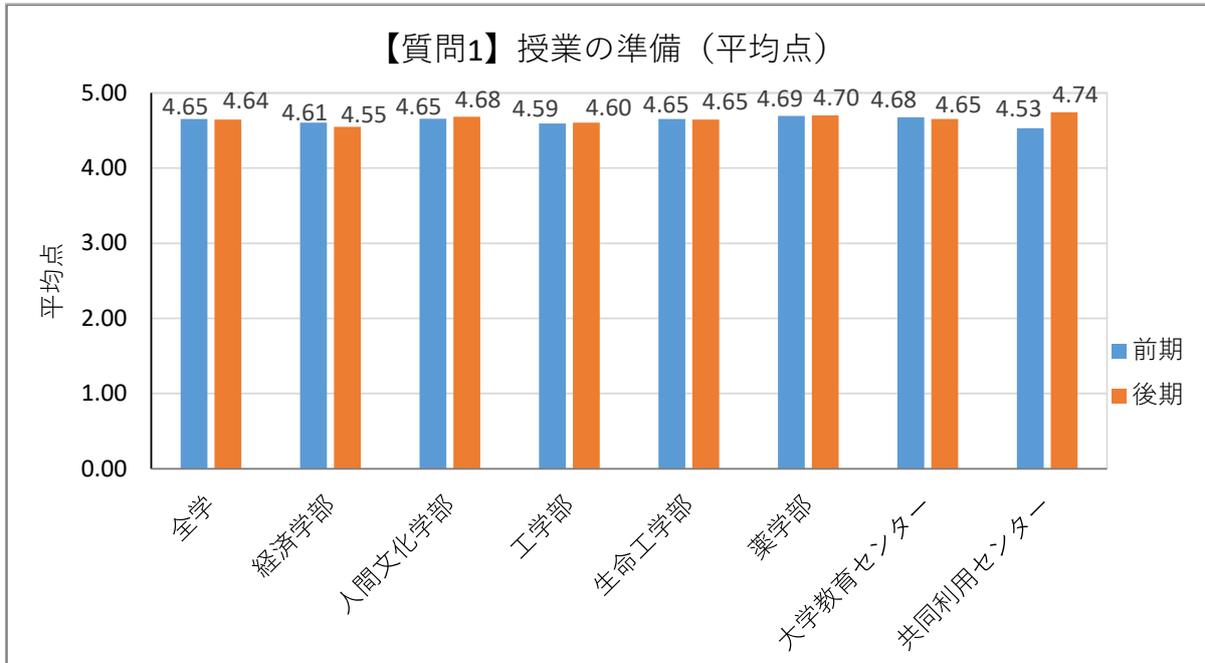
▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期 回答率

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	14,563	2,208	2,082	2,296	1,853	3,729	1,972	55
回答者数	7,429	956	1,039	1,262	1,145	1,836	978	27
回答率 (%)	51.0	43.3	49.9	58.1	61.8	49.2	49.6	49.1

(3) 調査結果の内容 (学生による授業評価結果について)

① 【質問1】 授業準備について

教員の「授業準備」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ (回答の 5 と 4) の割合は、すべての学部・センターにおいて 90% 台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。共同利用センターの後期では、2 トップの割合は 100% であった。



▼ 令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問1】 授業準備 回答割合

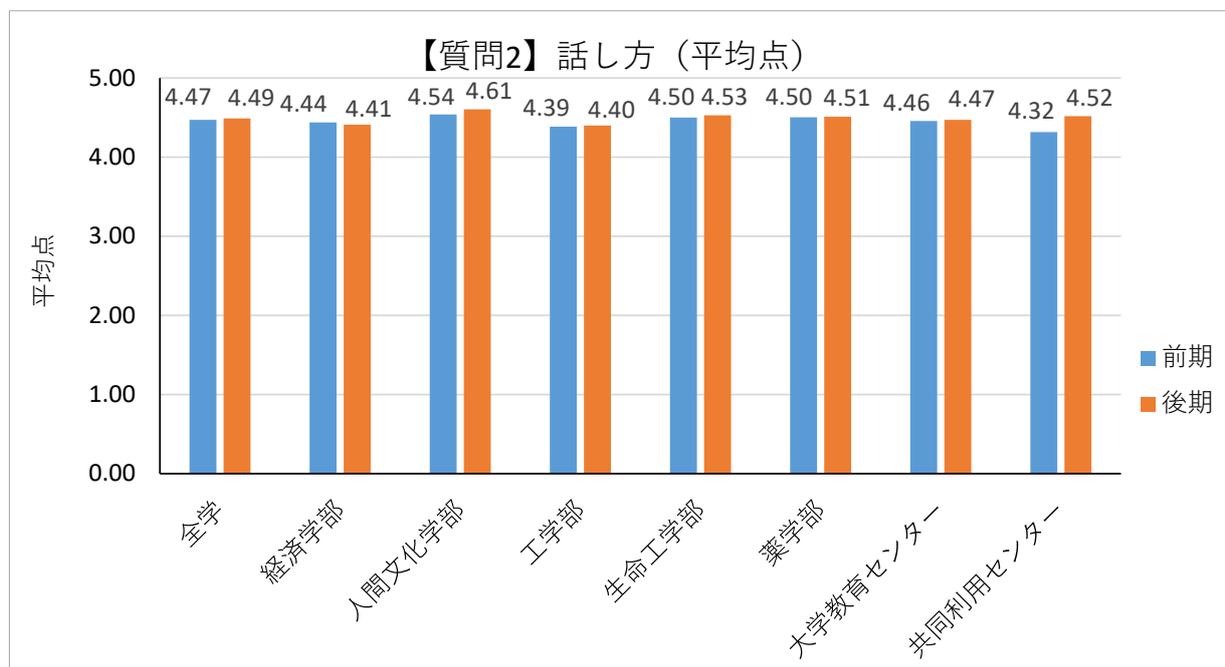
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	72.9%	71.7%	73.1%	68.4%	72.9%	75.1%	74.8%
ほぼ適切である		4	21.1%	20.0%	20.7%	24.5%	21.6%	20.2%	19.2%	23.8%
どちらともいえない		3	4.8%	6.6%	5.2%	5.7%	3.9%	3.8%	5.0%	6.9%
やや不適切である		2	0.8%	0.9%	0.6%	0.9%	1.3%	0.6%	0.8%	1.1%
不適切である		1	0.4%	0.9%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	1.6%
計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼ 令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問1】 授業準備 回答割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	72.7%	69.0%	74.8%	69.8%	70.5%	77.1%	72.8%
ほぼ適切である		4	21.1%	21.3%	20.0%	22.9%	25.2%	17.5%	21.0%	25.9%
どちらともいえない		3	4.7%	6.5%	4.2%	5.7%	3.1%	4.2%	5.1%	0.0%
やや不適切である		2	1.0%	1.6%	0.6%	1.0%	1.1%	0.9%	0.8%	0.0%
不適切である		1	0.5%	1.6%	0.4%	0.6%	0.2%	0.4%	0.3%	0.0%
計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 【質問2】話し方について

教員の「話し方」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.3以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2トップ（回答の5と4）の割合は、すべての学部・センターにおいて80%半ば～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問2】話し方 回答割合

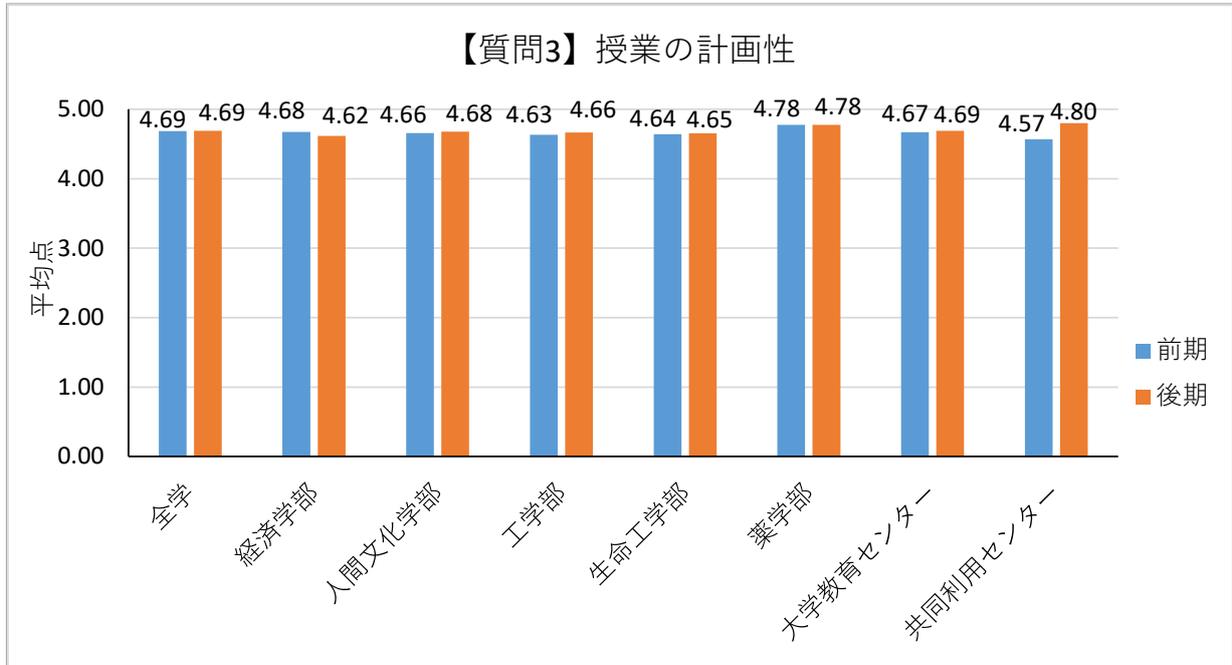
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			【質問2】話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	63.9%	64.5%	67.2%	58.8%	65.0%
	ほぼ聞き取りやすい	4	25.1%	22.5%	23.3%	27.1%	25.5%	25.7%	24.4%	28.6%
	どちらともいえない	3	6.5%	7.5%	6.3%	9.0%	4.9%	5.8%	5.9%	15.3%
	やや聞き取りにくい	2	3.5%	3.5%	2.4%	4.1%	3.6%	3.3%	4.3%	1.6%
	大変聞き取りにくい	1	1.0%	2.1%	0.7%	1.0%	1.0%	0.6%	1.3%	1.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問2】話し方 回答割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			【質問2】話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	64.7%	61.1%	69.2%	58.2%	66.5%
	ほぼ聞き取りやすい	4	24.8%	25.3%	24.0%	29.2%	25.1%	21.7%	24.4%	25.9%
	どちらともいえない	3	6.4%	8.7%	5.2%	8.2%	4.3%	5.8%	6.7%	11.1%
	やや聞き取りにくい	2	3.0%	3.2%	1.4%	2.9%	3.4%	3.1%	3.9%	0.0%
	大変聞き取りにくい	1	1.1%	1.7%	0.2%	1.4%	0.8%	1.6%	0.8%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 【質問3】授業の計画性について

教員の「授業の計画性」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.5以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2トップ（回答の5と4）の割合は、すべての学部・センターにおいて90%以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。シラバスを読んでいない学生の割合は全学平均で前期10.0%、後期9.0%であり、昨年度（前期12.0%、後期11.7%）と比べてやや改善した。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問3】授業の計画性 回答割合

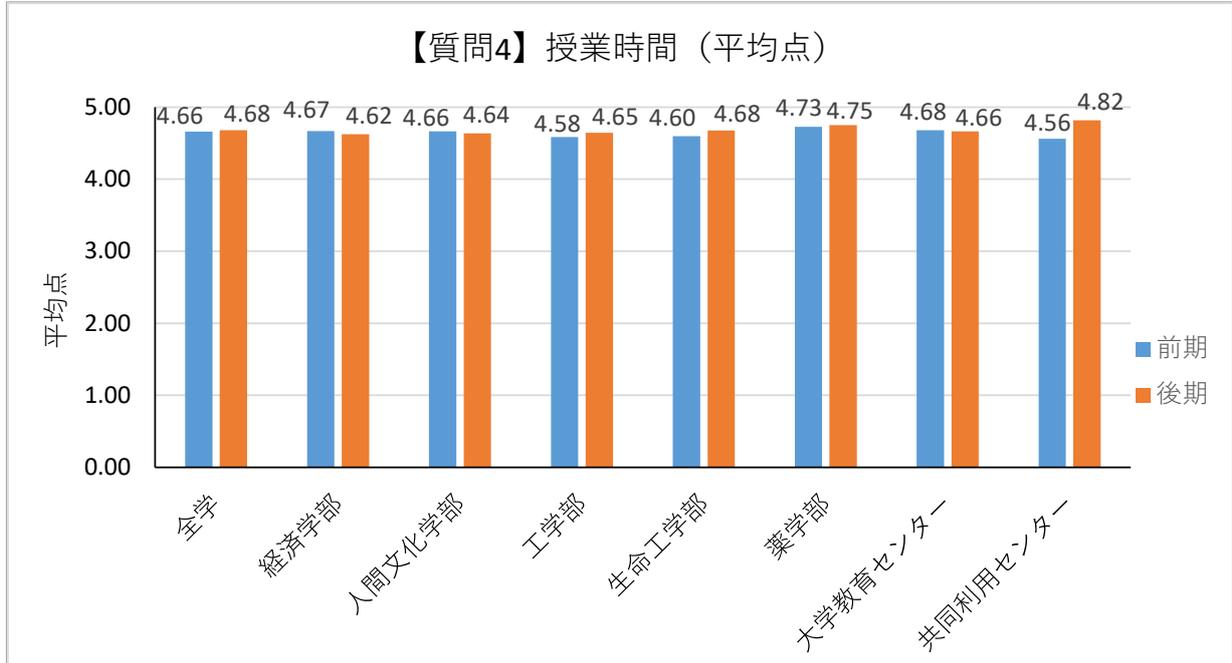
回答	回答数	回答割合								
		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
行われている	5	75.0%	75.0%	72.4%	71.2%	71.1%	81.7%	73.5%	68.5%	
ほぼ行われている	4	19.6%	18.8%	22.2%	21.7%	23.1%	14.7%	21.2%	22.5%	
どちらともいえない	3	4.5%	5.0%	4.2%	6.2%	4.8%	3.3%	4.3%	6.7%	
やや異なっている	2	0.7%	1.1%	0.9%	0.7%	0.6%	0.3%	1.0%	1.7%	
全く異なっている	1	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
シラバスを読んでいない	-	10.0%	8.1%	10.3%	7.2%	9.5%	14.2%	6.9%	5.8%	

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問3】授業の計画性 回答割合

回答	回答数	回答割合								
		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
行われている	5	75.2%	71.1%	74.7%	73.2%	70.8%	82.2%	75.1%	80.0%	
ほぼ行われている	4	19.6%	20.8%	19.9%	21.2%	24.5%	14.0%	20.1%	20.0%	
どちらともいえない	3	4.4%	7.0%	4.1%	4.8%	4.0%	3.4%	4.1%	0.0%	
やや異なっている	2	0.5%	0.6%	0.8%	0.8%	0.6%	0.3%	0.2%	0.0%	
全く異なっている	1	0.3%	0.5%	0.4%	0.1%	0.1%	0.2%	0.5%	0.0%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
シラバスを読んでいない	-	9.0%	10.1%	6.4%	6.7%	9.9%	10.7%	9.6%	7.4%	

④ 【質問4】 授業時間について

教員の「授業時間」については、全ての学部・センターにおいて前後期とも4.5以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2トップ（回答の5と4）の割合は、ほぼすべての学部・センターにおいてで80%台後半～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問4】 授業時間 回答割合

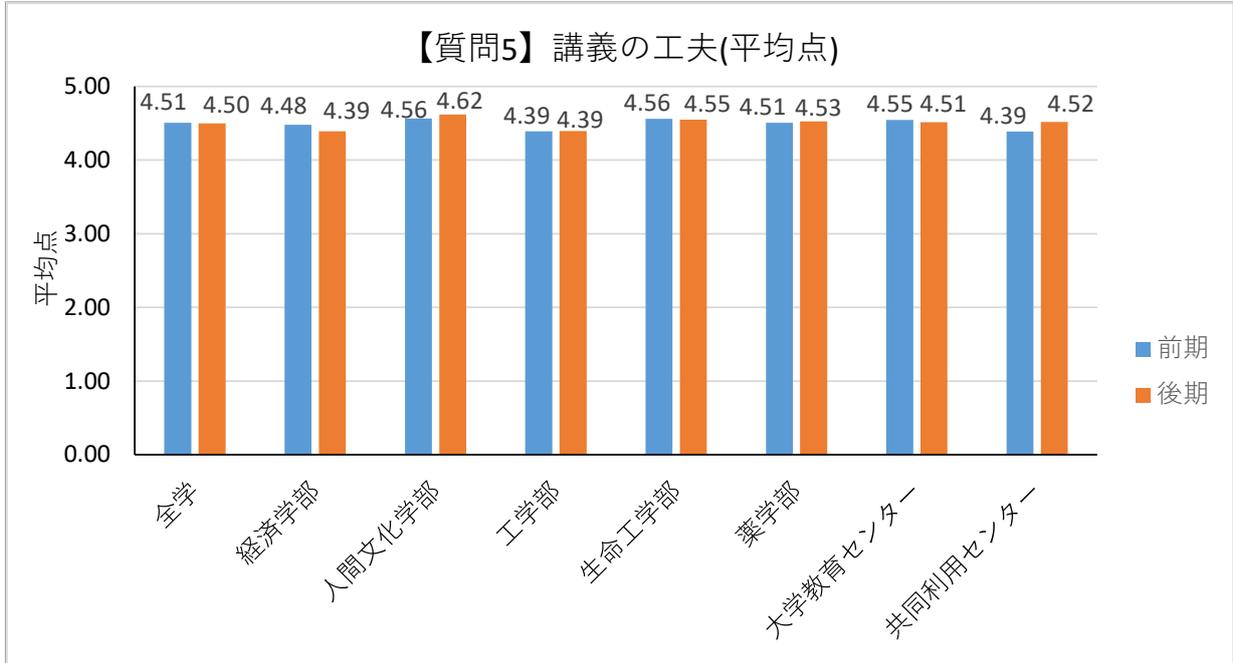
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	守っている	5	74.5%	75.5%	74.6%	69.0%	69.3%	78.2%	77.6%	69.7%
ほぼ守っている	4	19.1%	17.9%	19.0%	22.4%	24.0%	17.2%	15.2%	18.8%	
どちらともいえない	3	4.9%	5.0%	5.0%	6.8%	4.4%	3.8%	5.6%	9.7%	
やや守っていない	2	1.1%	1.0%	1.0%	1.4%	1.6%	0.7%	1.1%	1.8%	
守っていない	1	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.7%	0.1%	0.6%	0.0%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
この授業は遠隔授業なのでわからない	-	2.4%	3.8%	1.4%	4.4%	0.0%	1.2%	3.6%	14.5%	

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問4】 授業時間 回答割合

【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	守っている	5	74.5%	71.7%	70.8%	72.4%	72.2%	80.1%	74.2%	86.4%
ほぼ守っている	4	20.2%	20.4%	23.5%	20.8%	24.4%	15.9%	20.2%	9.1%	
どちらともいえない	3	4.2%	6.8%	4.2%	5.8%	2.5%	3.1%	4.0%	4.5%	
やや守っていない	2	0.9%	0.7%	1.3%	0.9%	0.7%	0.8%	1.0%	0.0%	
守っていない	1	0.2%	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.6%	0.0%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
この授業は遠隔授業なのでわからない	-	9.0%	10.1%	6.4%	6.7%	9.9%	10.7%	9.6%	7.4%	

⑤ 【質問5】 講義の工夫について

教員の「講義の工夫」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.3 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいてで 80% 台半ば～90% 台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問5】 講義の工夫 回答割合

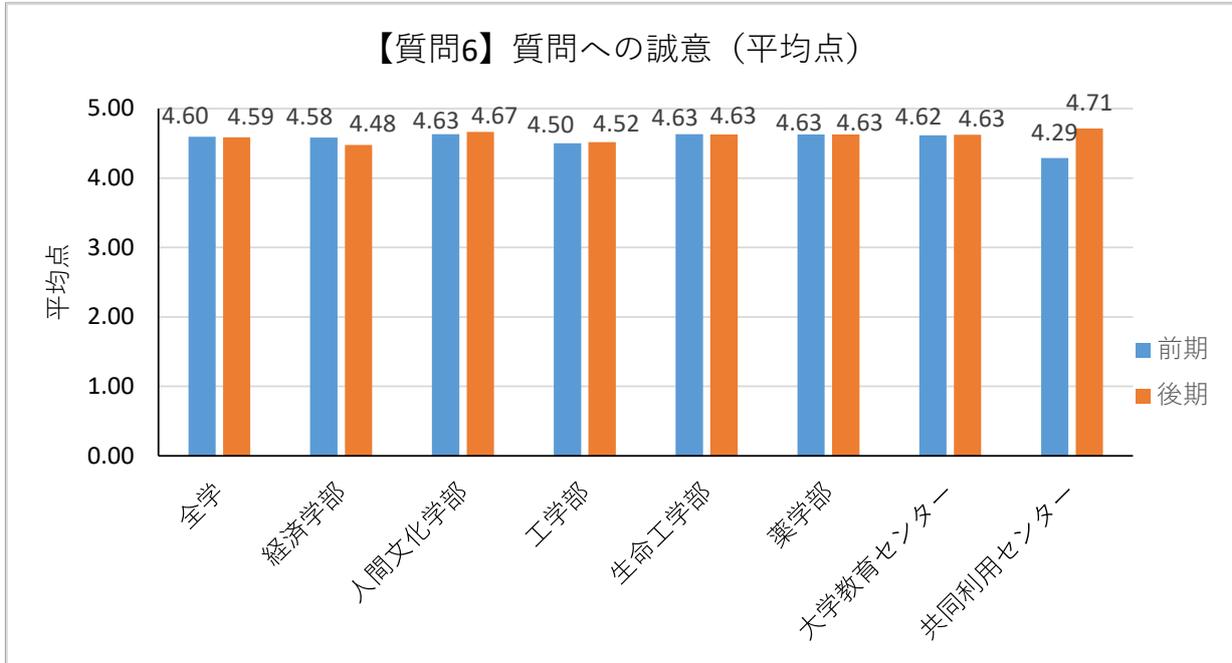
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	回答	割合	割合							
思う	5	64.7%	64.7%	65.2%	66.9%	58.5%	67.7%	64.3%	66.9%	59.8%
やや思う	4	25.1%	25.1%	24.4%	25.2%	27.1%	23.9%	25.8%	24.0%	23.3%
どちらともいえない	3	7.0%	7.0%	6.0%	5.9%	10.0%	5.9%	6.5%	6.6%	13.2%
あまり思わない	2	2.3%	2.3%	2.3%	1.4%	3.1%	1.6%	2.7%	1.8%	3.2%
全く思わない	1	0.9%	0.9%	2.2%	0.6%	1.2%	0.8%	0.6%	0.7%	0.5%
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問5】 講義の工夫 回答割合

【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	回答	割合	割合							
思う	5	64.7%	64.7%	62.1%	70.0%	58.1%	66.0%	66.6%	65.4%	70.4%
やや思う	4	24.6%	24.6%	21.9%	23.0%	28.2%	26.1%	23.9%	24.3%	18.5%
どちらともいえない	3	7.3%	7.3%	10.9%	6.1%	9.7%	5.2%	5.7%	7.2%	3.7%
あまり思わない	2	2.4%	2.4%	3.0%	0.6%	3.0%	2.1%	2.9%	2.1%	7.4%
全く思わない	1	0.9%	0.9%	2.1%	0.4%	1.0%	0.6%	0.9%	0.9%	0.0%
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ 【質問6】 質問への誠意について

教員の「質問への誠意」については、すべての学部・センターにおいておよそ 4.3 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%後半～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。共同利用センターの前期では 70%台と低かったが、後期には 90%台に改善された。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問6】 質問への誠意 回答割合

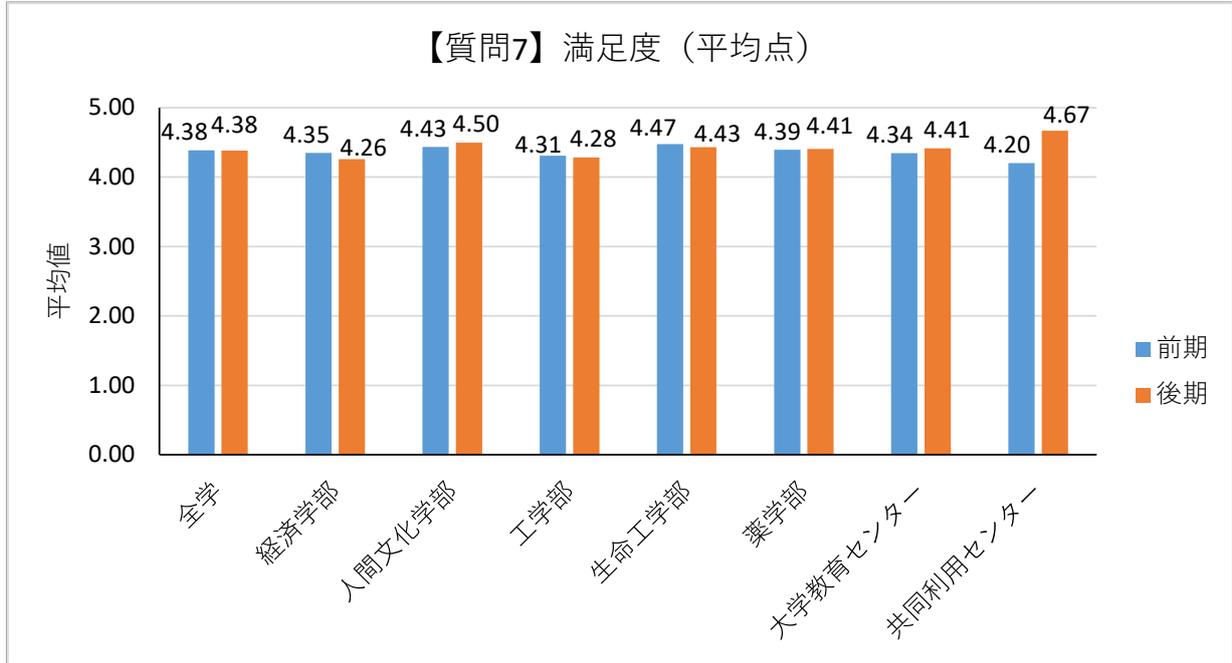
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	誠意をもって答える	5	71.2%	70.4%	73.5%	65.4%	71.9%	73.4%	73.6%	54.4%
ほぼ誠意をもって答える	4	19.0%	19.1%	17.8%	22.3%	20.7%	17.5%	16.5%	23.5%	
どちらとも言えない	3	8.4%	9.3%	7.5%	10.1%	6.6%	8.0%	8.5%	19.1%	
やや誠意が感じられない	2	0.9%	0.8%	0.7%	1.3%	0.7%	0.7%	0.9%	2.2%	
誠意が感じられない	1	0.5%	0.4%	0.5%	0.9%	0.2%	0.4%	0.5%	0.7%	
計	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
質問したことがない			28.9%	21.8%	17.1%	24.3%	21.6%	47.5%	19.6%	28.0%

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問6】 質問への誠意 回答割合

【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	誠意をもって答える	5	70.0%	66.2%	74.4%	64.7%	70.0%	73.2%	73.1%	76.2%
ほぼ誠意をもって答える	4	20.7%	18.7%	19.2%	24.5%	23.5%	18.7%	18.7%	19.0%	
どちらとも言えない	3	7.8%	13.0%	5.4%	9.0%	5.9%	6.8%	6.4%	4.8%	
やや誠意が感じられない	2	0.9%	0.8%	0.7%	1.3%	0.6%	0.4%	1.3%	0.0%	
誠意が感じられない	1	0.6%	1.3%	0.4%	0.5%	0.0%	0.9%	0.5%	0.0%	
計	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
質問したことがない			29.5%	25.0%	17.6%	21.4%	26.3%	51.3%	20.6%	22.2%

⑦ 【質問 7】 講義の満足度について

教員の「講義の満足度」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.2 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ (回答の 5 と 4) の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%~90% 台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 7】 満足度 回答割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	【質問 7】 授業への満足度	満足	5	55.6%	56.8%	56.7%	51.9%	60.9%	54.4%	55.0%
	ほぼ満足	4	31.3%	28.5%	32.1%	32.7%	29.4%	33.1%	29.8%	36.0%
この授業に対する総合的なあなたの満足度を 5 段階で示してください	どちらとも言えない	3	9.8%	9.2%	9.6%	11.1%	6.6%	10.3%	11.0%	16.9%
	やや不満	2	2.4%	3.6%	1.2%	2.8%	2.5%	1.7%	3.0%	2.6%
	不満	1	0.9%	1.9%	0.4%	1.5%	0.6%	0.5%	1.1%	0.5%
	平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

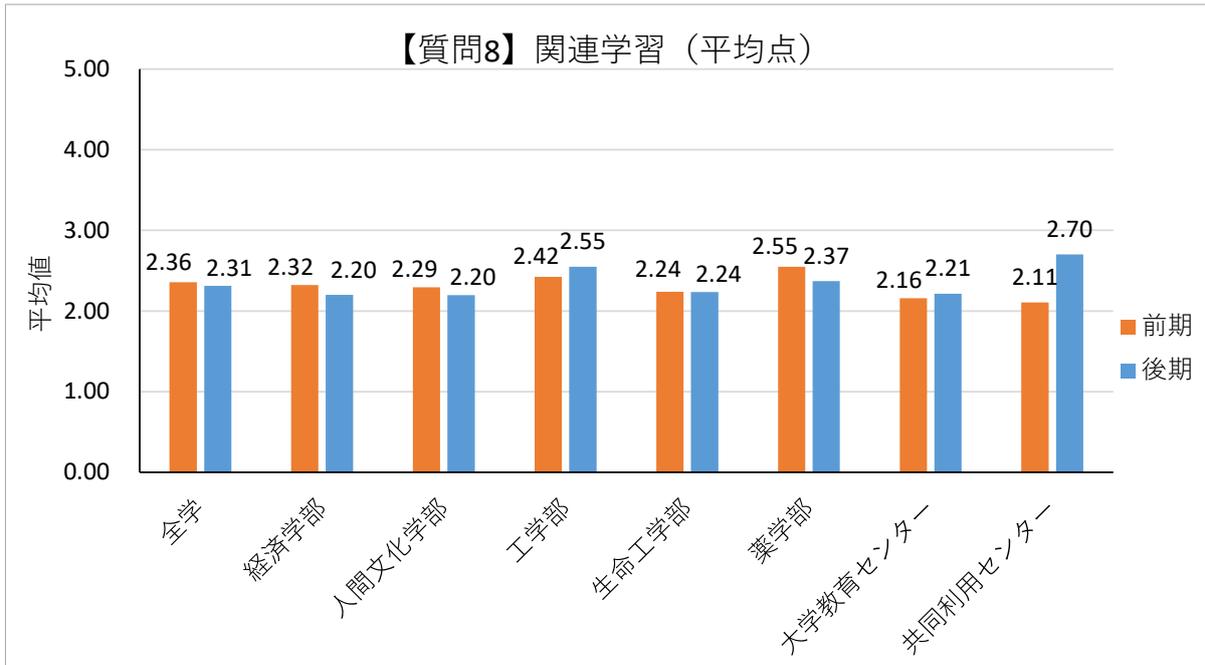
▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 7】 満足度 回答割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	【質問 7】 授業への満足度	満足	5	55.3%	51.0%	61.0%	50.1%	55.8%	55.9%	59.1%
	ほぼ満足	4	32.0%	32.2%	29.7%	33.3%	34.7%	32.4%	28.1%	33.3%
この授業に対する総合的なあなたの満足度を 5 段階で示してください	どちらとも言えない	3	9.4%	11.1%	7.8%	12.9%	6.7%	8.6%	8.8%	0.0%
	やや不満	2	2.2%	2.7%	0.8%	2.3%	2.2%	2.6%	2.9%	0.0%
	不満	1	1.1%	2.9%	0.7%	1.4%	0.6%	0.5%	1.1%	0.0%
	平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 調査結果の内容 (学生の自己点検について)

① 【質問8】 関連学習について

学生の「関連学習 (授業に関する予習や復習、あるいは関連の学習)」については、昨年度に続いてすべての学部・センターにおいて前後期とも 2.0~2.7 という低い値に留まった。また、「関連学習の時間が 30 分未満」の学生は、全学では前後期とも約 30%程度であり、令和 3 年度 (前期 21.0%、後期 23.7%) に比べて増加していた。今年度は対面で行う授業が昨年度より増え、遠隔授業に関する課題やレポート作成により増えていた授業時間外の時間が減少したためと考えられた。



▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問8】 関連学習 回答割合

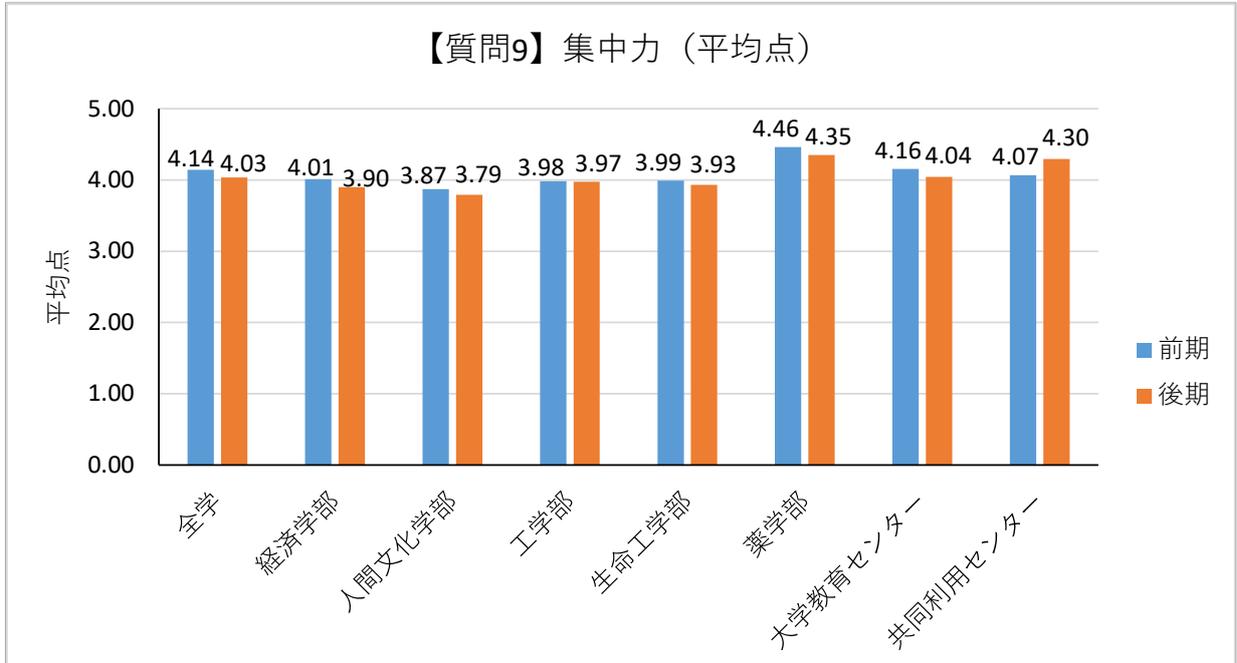
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	3時間以上	5	6.7%	7.9%	7.4%	8.9%	3.8%	8.0%	4.3%	3.7%
2~3時間未満	4	9.0%	8.3%	9.7%	9.0%	7.5%	11.2%	6.5%	7.9%	
1~2時間未満	3	24.8%	23.1%	19.7%	24.1%	24.2%	29.5%	22.5%	21.2%	
30分~1時間未満	2	32.4%	29.9%	31.4%	31.4%	37.6%	30.2%	34.3%	29.6%	
30分未満	1	27.1%	30.8%	31.9%	26.5%	26.9%	21.0%	32.4%	37.6%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問8】 関連学習 回答割合

【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	3時間以上	5	7.3%	7.0%	6.4%	11.9%	4.5%	7.4%	5.7%	18.5%
2~3時間未満	4	8.2%	6.1%	10.2%	9.1%	7.0%	8.1%	8.6%	11.1%	
1~2時間未満	3	23.3%	22.1%	17.9%	26.4%	24.5%	25.6%	20.3%	18.5%	
30分~1時間未満	2	30.9%	29.6%	27.9%	27.1%	35.5%	32.5%	32.0%	25.9%	
30分未満	1	30.3%	35.3%	37.6%	25.5%	28.5%	26.5%	33.3%	25.9%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

② 【質問9】集中力について

学生の「集中力」については、多くの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ4.0前後であり、おおむね良好であった。また、薬学部と共同利用センターでは、4.30～4.46と高い数値が認められた。2トップ（回答の5と4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて60%～70%台であったが、薬学部では90%近い数値が認められた。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問9】集中力 回答割合

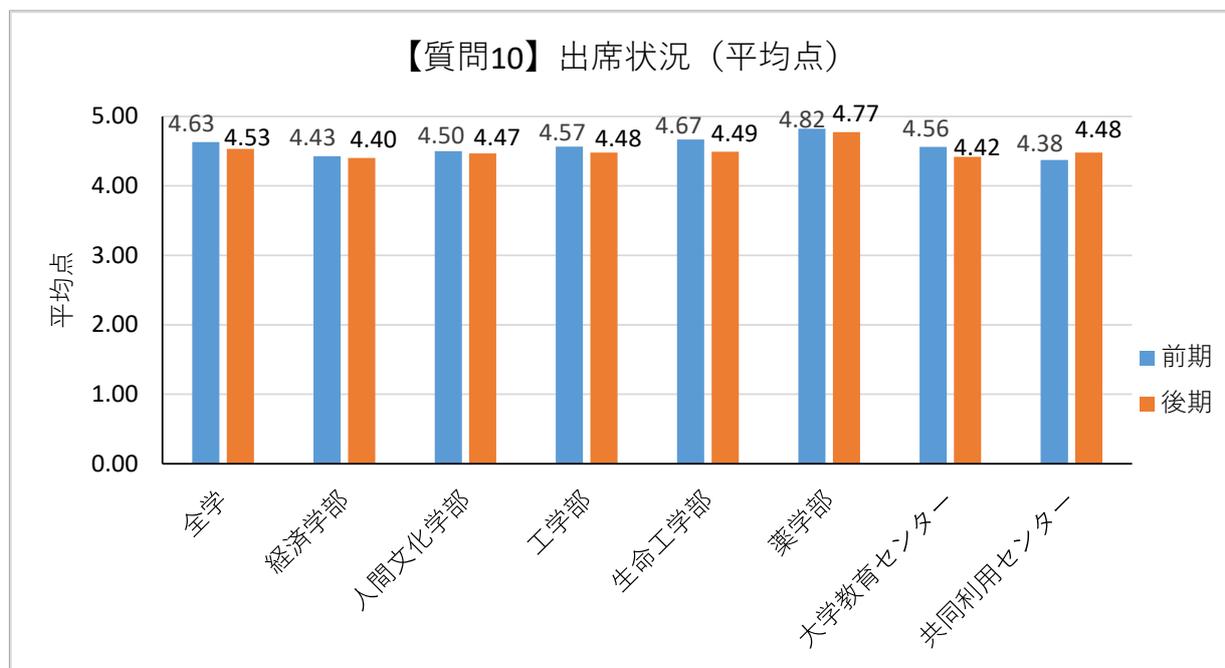
【質問9】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	全くない	5	44.7%	40.5%	32.2%	36.1%	34.8%	60.8%	45.4%	45.0%
ほとんどない	4	34.5%	32.8%	38.9%	37.5%	40.2%	29.0%	33.6%	28.0%	
どちらとも言えない	3	12.8%	15.8%	16.1%	16.9%	15.3%	6.5%	13.4%	18.5%	
しばしばある	2	6.6%	8.9%	9.7%	8.0%	8.6%	3.0%	6.5%	5.8%	
毎回ある	1	1.4%	2.0%	3.2%	1.6%	1.1%	0.6%	1.1%	2.6%	
計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問9】集中力 回答割合

【質問9】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	全くない	5	38.6%	34.7%	28.7%	37.0%	30.8%	51.7%	40.8%	63.0%
ほとんどない	4	36.9%	34.9%	37.3%	35.4%	43.0%	36.3%	33.6%	14.8%	
どちらとも言えない	3	15.5%	18.6%	21.2%	18.0%	15.6%	8.0%	16.4%	14.8%	
しばしばある	2	7.3%	9.1%	10.0%	7.2%	9.6%	3.3%	7.6%	3.7%	
毎回ある	1	1.7%	2.6%	2.8%	2.4%	1.0%	0.8%	1.6%	3.7%	
計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 【質問 10】 出席状況について

学生の「出席状況」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.3 以上であり、高い自己評価となっている。出席確認を厳密に行って授業回数の 1/5 以上欠席した学生については担当教員が担任に連絡するというシステムが有効に機能しているものと考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 90%前後であったが、生命工学部では 95%以上、薬学部では 97%以上の数値が認められた。



▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 10】 出席状況 回答割合

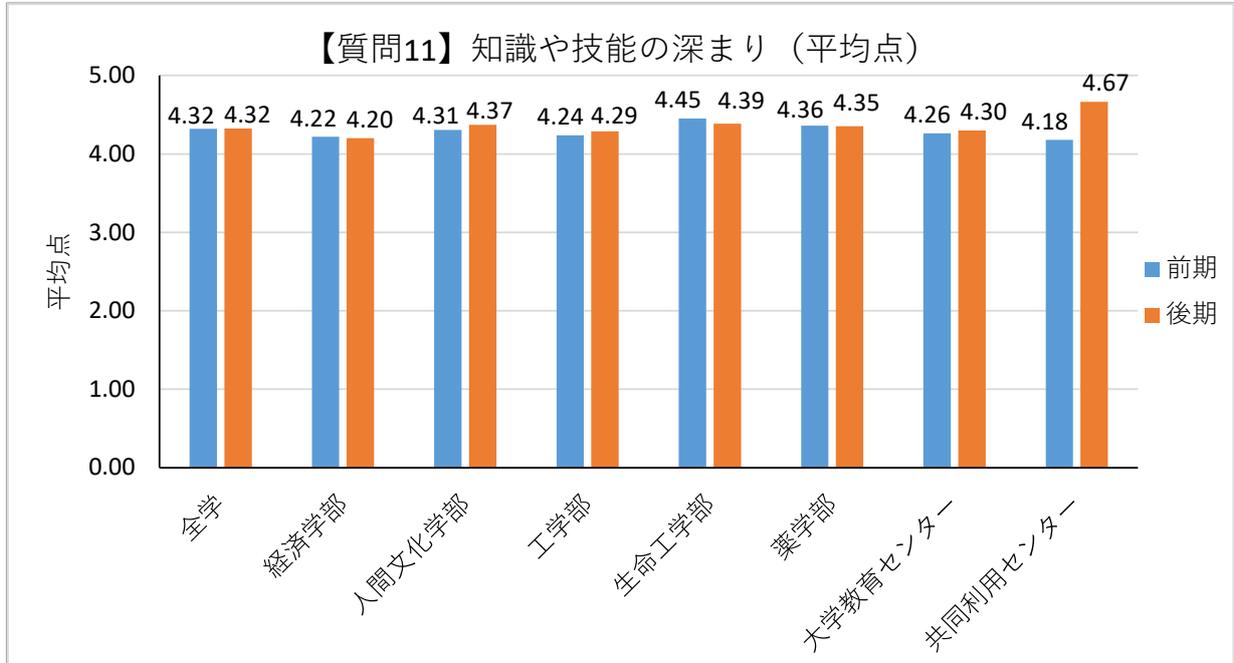
	回答	人数	回答割合 (%)							
			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	71.4%	57.2%	64.1%	65.5%	73.6%	85.0%	66.3%	52.4%
	ほぼ出席	4	22.6%	31.9%	26.9%	27.3%	21.5%	12.9%	26.8%	36.0%
	ときどき欠席する	3	4.3%	7.9%	5.4%	6.0%	3.6%	1.7%	4.3%	8.5%
	やや欠席が多い	2	1.3%	2.5%	2.3%	1.0%	0.9%	0.4%	1.8%	3.2%
	欠席が大変多い	1	0.4%	0.5%	1.3%	0.2%	0.5%	0.1%	0.8%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 10】 出席状況 回答割合

	回答	人数	回答割合 (%)							
			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	64.3%	55.3%	60.5%	59.8%	60.4%	81.3%	56.7%	59.3%
	ほぼ出席	4	27.6%	33.6%	29.4%	31.1%	30.6%	15.8%	32.4%	33.3%
	ときどき欠席する	3	5.9%	8.1%	6.9%	6.6%	7.2%	1.8%	7.6%	3.7%
	やや欠席が多い	2	1.9%	2.1%	2.6%	2.3%	1.5%	1.0%	2.5%	3.7%
	欠席が大変多い	1	0.4%	0.9%	0.6%	0.2%	0.3%	0.1%	0.8%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 【質問 11】 知識や技能の深まりについて

学生の「知識や技能の深まり」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおよそ 4.2 以上であり、高い自己評価となっている。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 80%以上であり、中でも、生命工学部では 90%以上、共同利用センターでは 100%の数値が認められた。



▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 11】 知識や技能の深まり 回答割合

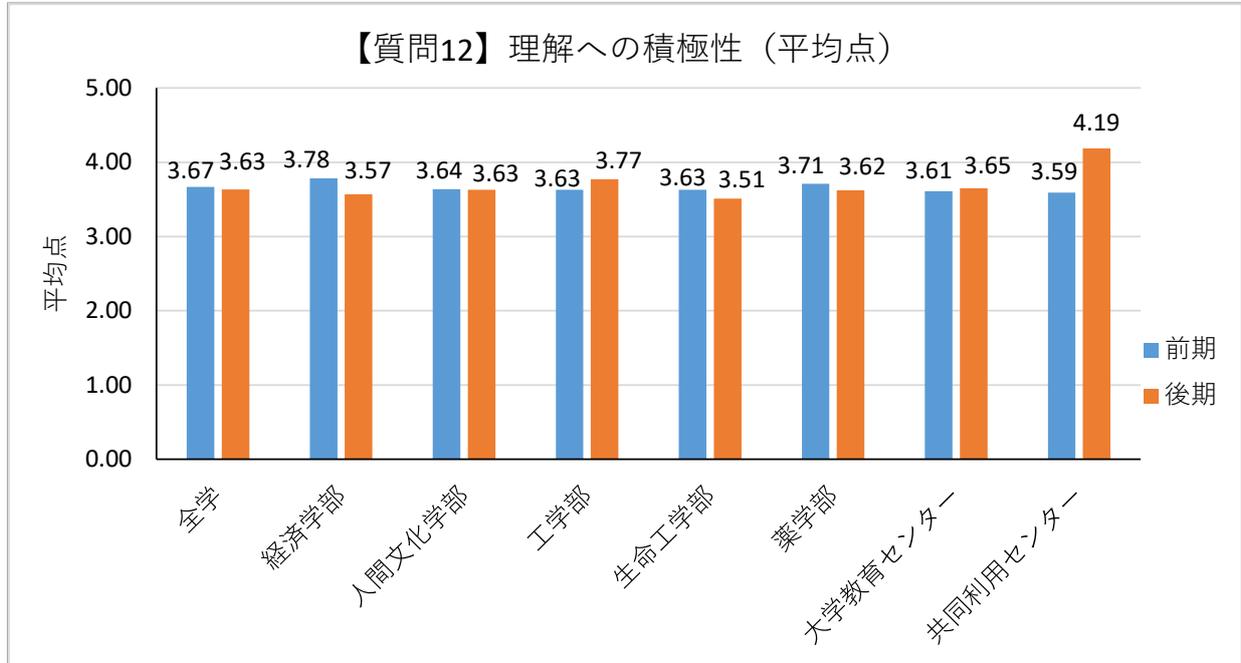
【質問11】 知識の深まり この科目を受 講して、あな たの知識や技 能は深まっ ていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	大いに深まっている	5	46.9%	43.6%	44.7%	43.1%	54.6%	48.2%	43.9%	41.8%
やや深まっている	4	41.6%	41.0%	44.4%	42.5%	38.2%	41.4%	43.3%	40.7%	
どちらとも言えない	3	8.7%	10.7%	8.5%	10.3%	5.4%	8.7%	9.0%	12.7%	
あまり深まっていない	2	2.1%	3.2%	1.8%	3.1%	1.2%	1.5%	3.0%	3.2%	
全く深まっていない	1	0.7%	1.5%	0.6%	0.9%	0.6%	0.2%	0.8%	1.6%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 11】 知識や技能の深まり 回答割合

【質問11】 知識の深まり この科目を受 講して、あな たの知識や技 能は深まっ ていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	大いに深まっている	5	47.5%	43.8%	50.0%	45.8%	49.3%	48.9%	47.2%	66.7%
やや深まっている	4	40.9%	39.1%	39.7%	41.3%	42.2%	40.5%	40.0%	33.3%	
どちらとも言えない	3	8.8%	12.3%	8.4%	9.7%	6.5%	8.3%	9.1%	0.0%	
あまり深まっていない	2	2.2%	2.7%	1.8%	2.5%	1.8%	1.9%	2.8%	0.0%	
全く深まっていない	1	0.7%	2.0%	0.2%	0.8%	0.2%	0.5%	0.9%	0.0%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 【質問 12】 授業内容理解への積極性について

学生の「授業内容理解への積極性」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ 3.0 点台の自己評価となっており、改善の余地が認められた。後期の共同利用センターでは、4.19 と一番高い自己評価であった。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいておおよそ 50%前後であったが、共同利用センターの後期では 70%と高値であった。



▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 12】 理解への積極性 回答割合

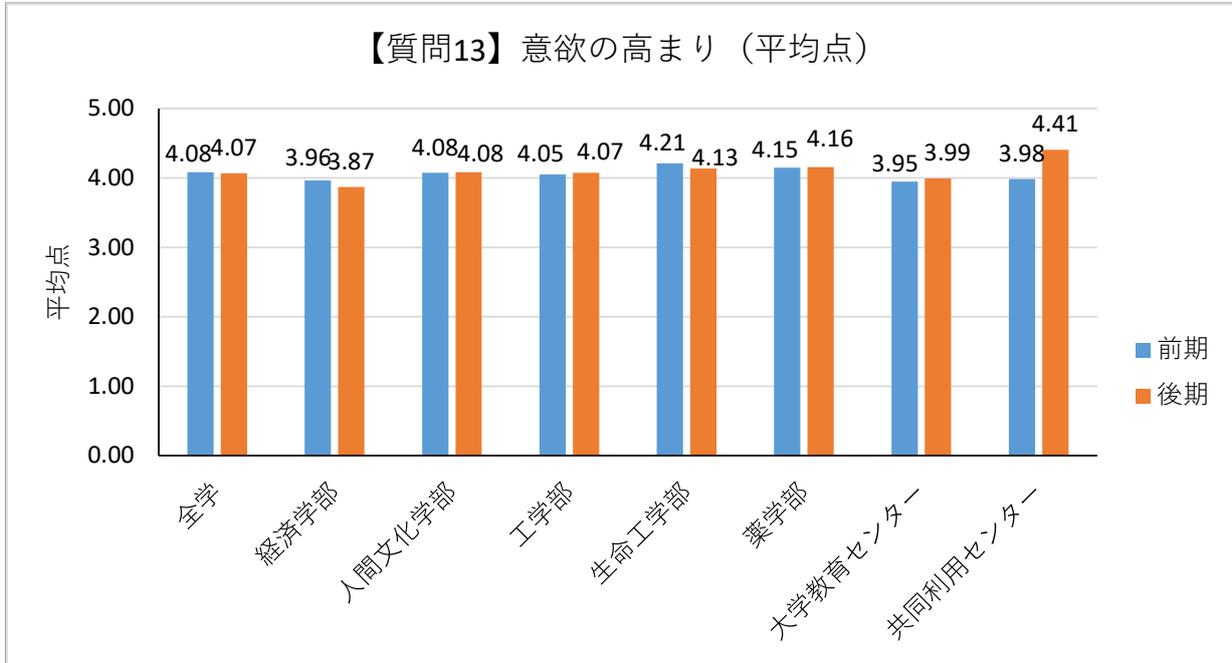
【質問 12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	ほぼ全てしている	5	30.7%	35.2%	30.2%	29.1%	28.3%	32.3%	29.6%	26.5%
頻繁にしている	4	22.3%	23.0%	22.7%	22.8%	22.6%	21.6%	21.2%	25.4%	
ときどきしている	3	34.7%	29.9%	33.6%	35.5%	37.0%	35.0%	35.0%	36.5%	
ほとんどしていない	2	7.8%	8.6%	7.3%	7.2%	8.3%	7.2%	9.4%	4.2%	
全くしていない	1	4.5%	3.3%	6.1%	5.4%	3.9%	3.9%	5.0%	7.4%	
平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 12】 理解への積極性 回答割合

【質問 12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	ほぼ全てしている	5	29.8%	28.7%	28.4%	33.4%	24.4%	30.7%	32.2%	59.3%
頻繁にしている	4	21.4%	20.3%	22.6%	24.3%	21.2%	18.4%	21.9%	11.1%	
ときどきしている	3	35.7%	35.3%	37.2%	31.8%	40.0%	38.3%	30.5%	22.2%	
ほとんどしていない	2	8.6%	10.9%	7.1%	7.1%	10.1%	8.0%	9.4%	3.7%	
全くしていない	1	4.5%	4.9%	4.6%	3.4%	4.3%	4.6%	6.0%	3.7%	
平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

⑥ 【質問13】意欲の高まりについて

学生の「意欲の高まり」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ 4.0 前後の自己評価となっており、おおむね良好であった。また、共同利用センターの後期では、4.41 と高い値が認められた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 70% 台であった。



▼令和4年度学生による授業評価アンケート 前期【質問13】意欲の高まり 回答割合

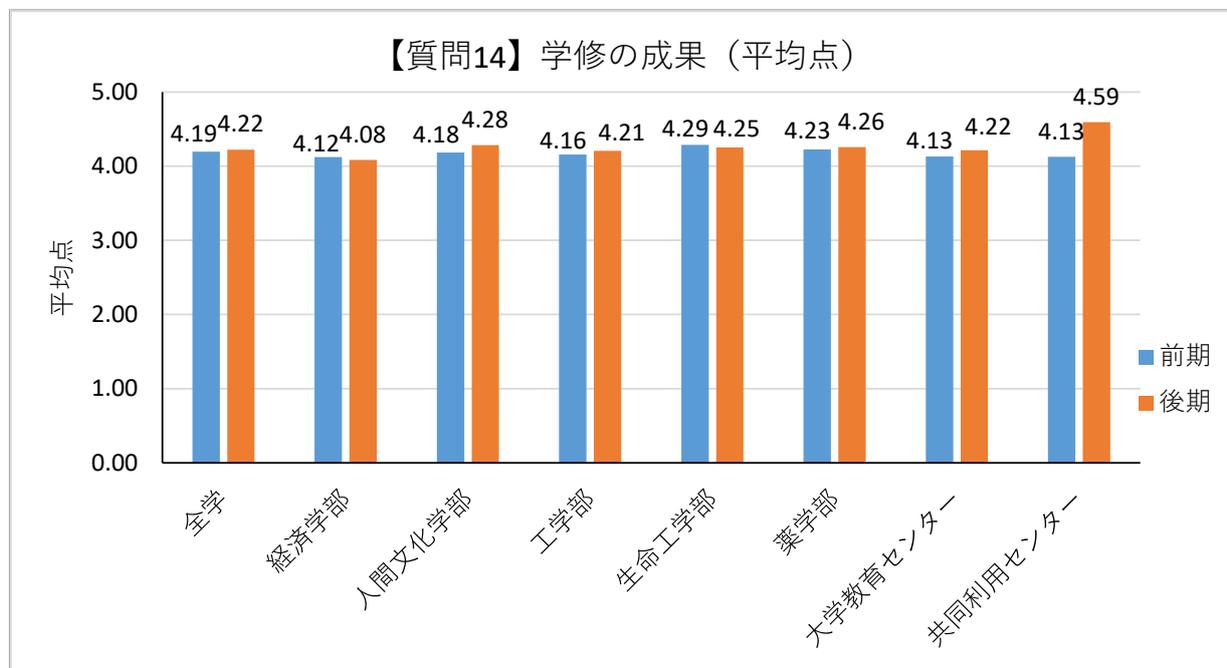
【質問13】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	回答	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
【質問13】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	39.0%	36.9%	37.2%	39.1%	43.7%	40.6%	34.0%	32.3%
	やや思う	4	38.1%	34.5%	39.4%	36.7%	39.4%	38.9%	37.8%	41.3%
	どちらともいえない	3	16.6%	19.7%	18.4%	16.6%	12.3%	15.7%	19.6%	21.2%
	あまり思わない	2	4.7%	5.8%	3.9%	5.5%	3.6%	4.1%	6.5%	3.2%
	全く思わない	1	1.6%	3.1%	1.1%	2.3%	1.1%	0.7%	2.2%	2.1%
	計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和4年度学生による授業評価アンケート 後期【質問13】意欲の高まり 回答割合

【質問13】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	回答	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
【質問13】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	37.8%	33.2%	38.7%	37.6%	39.2%	39.8%	36.9%	51.9%
	やや思う	4	39.2%	35.6%	38.1%	39.5%	42.0%	40.7%	36.3%	37.0%
	どちらともいえない	3	16.7%	20.3%	16.8%	17.0%	12.9%	15.4%	18.7%	11.1%
	あまり思わない	2	4.8%	7.2%	5.3%	4.4%	4.7%	3.5%	5.3%	0.0%
	全く思わない	1	1.6%	3.8%	1.1%	1.5%	1.1%	0.5%	2.8%	0.0%
	計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 【質問 14】学修の成果について

学生の「学修の成果」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上であり、おおむね良好であった。中でも、共同利用センターの後期では、4.59 という高い数値が認められた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80% 台であったが、共同利用センターの後期では 90% 以上の数値が認められた。



▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 14】学習の成果 回答割合

【質問14】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を 5 段階で 自己評価して ください。	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	回答	割合	割合							
大いに思う	5	38.8%	38.8%	37.2%	37.9%	42.8%	39.0%	36.3%	34.4%	
やや思う	4	46.0%	41.8%	47.4%	45.3%	46.2%	47.2%	45.8%	48.1%	
どちらともいえない	3	11.7%	13.6%	12.8%	12.4%	8.4%	11.5%	13.2%	14.3%	
あまり思わない	2	2.8%	4.2%	1.8%	3.4%	2.1%	2.2%	4.0%	2.1%	
全く思わない	1	0.7%	1.6%	0.8%	0.9%	0.6%	0.1%	0.7%	1.1%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

▼令和 4 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 14】学習の成果 回答割合

【質問14】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を 5 段階で 自己評価して ください。	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	回答	割合	割合							
大いに思う	5	40.7%	37.1%	42.9%	41.2%	40.3%	41.3%	41.4%	63.0%	
やや思う	4	44.6%	41.3%	44.9%	42.9%	47.4%	45.2%	43.3%	33.3%	
どちらともいえない	3	11.7%	16.4%	10.3%	12.1%	9.9%	11.3%	11.6%	3.7%	
あまり思わない	2	2.3%	2.9%	1.5%	2.9%	2.2%	2.0%	3.1%	0.0%	
全く思わない	1	0.6%	2.2%	0.4%	0.8%	0.3%	0.2%	0.7%	0.0%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

4. 全学、学部・センターの全体総括

全学、学部・センターレベルでの授業評価アンケート結果（前後期平均）を整理すると以下のようになる。

(1) 学生による授業評価結果（質問 1～質問 7、5 点満点）

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】 授業準備	4.65	4.65	4.67	4.60	4.65	4.70	4.66	4.63
【質問2】 話し方	4.48	4.42	4.57	4.39	4.51	4.51	4.46	4.42
【質問3】 計画性	4.69	4.65	4.67	4.65	4.65	4.78	4.68	4.68
【質問4】 授業時間	4.67	4.65	4.65	4.61	4.64	4.74	4.67	4.69
【質問5】 授業の工夫	4.50	4.43	4.59	4.39	4.55	4.52	4.53	4.45
【質問6】 質問への誠意	4.59	4.53	4.65	4.51	4.63	4.63	4.62	4.50
【質問7】 授業への満足度	4.38	4.30	4.47	4.30	4.45	4.40	4.38	4.43

- すべての質問項目で 4.3 以上あり、学生の評価は全体的に高いと考えられる。
- 学部・センター間での大きな相違は認められない。

以上の結果は、学生の授業に対する評価が、昨年度に引き続き全体として高い状態を維持していることを示している。今後も、自己点検・評価を繰り返しながら、さらなる向上を目指して授業に取り組んでいきたい。

(2) 学生の自己点検（質問 8～14、5 点満点）

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習	2.33	2.26	2.25	2.49	2.24	2.46	2.19	2.40
【質問9】 集中力	4.09	3.96	3.83	3.98	3.96	4.41	4.10	4.18
【質問10】 出席状況	4.58	4.42	4.48	4.52	4.58	4.80	4.49	4.43
【質問11】 知識や技能の深まり	4.32	4.21	4.34	4.26	4.42	4.36	4.28	4.42
【質問12】 授業内容理解への積極性	3.65	3.68	3.63	3.70	3.57	3.67	3.63	3.89
【質問13】 意欲の高まり	4.08	3.92	4.08	4.06	4.17	4.15	3.97	4.20
【質問14】 学修の成果	4.10	4.10	4.23	4.18	4.27	4.24	4.17	4.36

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 8 の「関連学習」については平均点が 2 点台、「授業内容理解への積極性」が 3 点台となっており、改善の必要がある。
- その他の質問項目については、4 点台であり、おおむね良好と考えられる。
- 学部・センター間での大きな相違は認められない。

学生の自己点検結果は、全体的には昨年度に引き続きおおむね良好であると判断できる。しかし、質問 8 の「関連学習」に関しては、昨年度よりも点数が低下している。今年度は対面で行う授業が昨年度より増え、遠隔授業に関する課題やレポート作成により増えていた授業時間外の時間が減少したためと考えられる。学科によっては授業数・授業コマ数が多すぎて学生が関連学習まで手が回っていないという可能性も否定できない。この問題の解決にはカリキュラムの精査が必要かもしれない。

また質問 10 と 12 の結果は、授業には真面目に出席するものの、授業内容理解への積極性は必ずしも

十分ではないことを示している。学生は自己学習、教員や友人に質問をして授業の疑問を解決しているが、教員への質問をしやすくするためには、ハード面（ICT を用いた質問方法の工夫など）やソフト面（学生と教員の距離感を近づけるコミュニケーションの工夫など）を改善し、より質問しやすい環境づくりが必要かもしれない。

各学科・センターごとの詳細な分析と総括は、「5. 学科の授業評価アンケート結果（p.26～29）」および「6. 学科、センターの個別総括（p.30～77）」を参照していただきたい。今後も、学科・センターレベルでの授業改善を通して、全学的な授業の向上を目指していきたい。

5. 学科の授業評価アンケート結果

(1) 学科の集計結果一覧

各学科の前期の集計結果を表 5-(1)-1、表 5-(1)-2 に、後期の集計結果を表 5-(1)-3、表 5-(1)-4 に示す。なお、全学の各種値は、各センターと RI 室を含めた値のため、本表の全学科の合計値とは一致していない。

表 5-(1)-1

講義番号		係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
学部	学科															
			971	465	382	522	627	551	703	564	455	297	359	320	1,411	5,279
			552	237	213	232	375	375	471	380	298	226	306	210	1,083	2,689
			56.8%	51.0%	55.8%	44.4%	59.8%	68.1%	67.0%	67.4%	65.5%	76.1%	85.2%	65.6%	76.8%	50.9%
【質問1】 授業準備 授業の準備は適切になされていると思いますか？	適切である	5	396	166	154	183	279	256	335	265	209	131	210	158	797	2,019
	ほぼ適切である	4	118	40	42	41	72	90	104	95	67	71	75	41	229	544
	どちらとも言えない	3	31	21	14	7	20	24	28	19	15	16	11	8	44	102
	やや不適切である	2	5	3	1	1	3	2	4	1	4	4	6	3	11	17
	不適切である	1	2	5	2	0	1	3	0	0	3	4	4	0	2	7
	平均点		4.63	4.53	4.62	4.75	4.67	4.58	4.63	4.64	4.59	4.42	4.57	4.69	4.67	4.69
【質問2】 教員の話方 教員の話は聞き取りやすいですか？／ (音声のない遠隔授業の場合は)資料は聞き取りやすいですか？	聞き取りやすい(読みやすい)	5	362	148	136	160	250	250	290	218	184	116	165	148	726	1,736
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	127	50	48	55	80	94	134	100	67	72	92	44	272	691
	どちらとも言えない	3	38	22	15	9	29	24	34	43	27	20	23	9	46	156
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	16	9	10	5	13	6	12	17	15	12	17	7	34	89
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	9	8	4	3	3	1	1	2	5	6	9	2	5	17
	平均点		4.48	4.35	4.42	4.57	4.50	4.56	4.49	4.36	4.38	4.24	4.26	4.57	4.55	4.50
【質問3】 授業の計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	389	157	145	165	251	222	312	261	198	138	194	148	687	1,883
	ほぼ行われている	4	101	37	35	46	79	71	100	79	49	49	81	39	214	339
	どちらとも言えない	3	21	15	10	5	15	17	30	21	15	13	14	8	48	76
	やや異なっている	2	3	4	3	1	3	4	1	7	1	0	2	0	7	7
	全く異なっている	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	2	3	1
	平均点		4.70	4.61	4.67	4.73	4.66	4.60	4.62	4.61	4.69	4.61	4.60	4.68	4.64	4.78
【質問4】 授業時間 授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	守っている	5	399	178	152	175	288	259	307	269	188	145	199	167	742	2,078
	ほぼ守っている	4	90	39	44	40	64	80	97	83	58	57	84	31	269	456
	どちらとも言えない	3	25	13	10	4	18	26	30	23	21	16	13	7	50	101
	やや守っていない	2	5	0	5	1	4	5	4	5	3	7	6	5	15	18
	守っていない	1	2	1	2	1	1	2	2	0	2	0	4	0	7	3
	平均点		4.69	4.70	4.59	4.75	4.69	4.58	4.60	4.62	4.57	4.51	4.53	4.71	4.59	4.73
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	359	152	142	166	258	233	296	235	161	113	178	144	761	1,729
	やや思う	4	145	51	48	54	88	105	120	93	84	76	90	46	246	695
	どちらとも言えない	3	28	18	14	9	18	31	43	36	41	18	26	15	54	176
	あまり思わない	2	10	7	6	1	8	5	9	15	5	14	7	4	15	72
	思わない	1	10	9	3	2	3	1	3	1	7	5	5	1	7	17
	平均点		4.51	4.39	4.50	4.64	4.57	4.50	4.48	4.44	4.30	4.23	4.40	4.56	4.61	4.51
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	297	142	113	133	232	233	232	218	140	91	160	116	625	1,036
	ほぼ誠意をもって答える	4	84	28	38	37	46	62	80	62	41	49	59	34	166	247
	どちらとも言えない	3	43	16	14	8	32	21	38	28	22	17	16	12	55	113
	やや誠意が感じられない	2	4	0	2	2	2	2	1	7	1	5	3	2	4	10
	誠意が感じられない	1	2	0	1	1	1	2	3	2	1	3	1	0	1	5
	平均点		4.56	4.68	4.55	4.65	4.62	4.63	4.52	4.54	4.55	4.33	4.56	4.61	4.66	4.63
【質問7】 授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	304	134	131	146	211	200	267	210	143	94	150	129	695	1,464
	ほぼ満足	4	173	57	56	64	119	132	147	107	109	86	116	55	299	889
	どちらとも言えない	3	49	29	14	18	37	39	46	52	30	25	25	19	61	277
	やや不満	2	18	9	9	4	5	3	7	9	10	13	11	6	23	46
	不満	1	8	8	3	0	3	1	4	2	6	8	4	1	5	13
	平均点		4.35	4.27	4.42	4.52	4.41	4.41	4.35	4.25	4.08	4.30	4.45	4.53	4.39	
【質問1】～【質問7】の平均			4.56	4.51	4.54	4.66	4.59	4.55	4.54	4.51	4.48	4.35	4.46	4.61	4.61	4.60

表5-(1)-2

講義番号	学部	学科	年限	主担当教員	実施教員	科目名	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
								971	465	382	522	627	551	703	564	455	297	359	320	1,411	5,279
								552	237	213	232	375	375	471	380	298	226	306	210	1,083	2,689
								56.8%	51.0%	55.8%	44.4%	59.8%	68.1%	67.0%	67.4%	65.5%	76.1%	85.2%	65.6%	76.8%	50.9%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	44	23	12	11	26	36	35	57	19	12	13	6	42	216					
	2～3時間未満	4	43	25	15	23	34	38	44	42	22	16	24	10	86	301					
	1～2時間未満	3	122	70	39	39	78	76	110	83	69	69	71	35	281	794					
	30分～1時間未満	2	167	68	65	90	96	122	173	97	108	54	106	70	425	813					
	30分未満	1	176	51	82	69	141	103	109	101	80	75	92	89	249	565					
	平均点		2.30	2.58	2.11	2.21	2.22	2.42	2.41	2.62	2.30	2.27	2.22	1.92	2.30	2.55					
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	231	98	77	108	107	101	179	130	105	82	123	66	368	1,636					
	ほとんどない	4	182	71	76	85	161	136	178	145	114	78	105	88	450	780					
	どちらとも言えない	3	81	42	35	21	53	84	78	67	51	36	41	36	167	175					
	しばしばある	2	51	21	17	17	40	38	32	32	20	26	34	15	88	81					
	毎回ある	1	7	5	8	1	14	16	4	6	8	4	3	5	10	17					
	平均点		4.05	4.00	3.92	4.22	3.82	3.71	4.05	3.95	3.97	3.92	4.02	3.93	4.00	4.46					
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	303	141	129	140	254	235	324	232	194	150	217	146	814	2,286					
	ほぼ出席	4	189	63	68	72	88	104	115	120	81	60	75	51	217	346					
	ときどき欠席する	3	43	24	12	15	18	20	27	21	20	14	12	12	33	45					
	やや欠席が多い	2	15	6	4	3	12	8	3	6	3	2	2	1	11	10					
	欠席が大変多い	1	2	3	0	2	3	8	2	1	0	0	0	0	8	2					
	平均点		4.41	4.41	4.51	4.49	4.54	4.47	4.61	4.52	4.56	4.58	4.66	4.63	4.68	4.82					
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	240	106	91	115	165	159	218	173	121	81	141	106	626	1,296					
	やや深まっている	4	234	87	90	100	162	174	205	152	128	100	138	84	389	1,114					
	どちらとも言えない	3	61	23	23	15	37	31	38	44	31	29	17	15	55	235					
	あまり深まっていない	2	11	15	6	2	9	7	8	10	14	11	8	4	7	39					
	全く深まっていない	1	6	6	3	0	2	4	2	1	4	5	2	1	6	5					
	平均点		4.25	4.15	4.22	4.41	4.28	4.27	4.34	4.28	4.17	4.07	4.33	4.38	4.50	4.36					
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	191	87	75	83	97	117	140	139	62	59	91	57	304	869					
	頻繁にしている	4	131	56	43	49	84	90	100	82	79	53	72	36	254	580					
	ときどきしている	3	160	74	66	74	125	131	178	126	111	73	107	74	410	940					
	ほとんどしていない	2	54	11	21	11	38	23	27	22	30	20	21	28	83	194					
	全くしていない	1	16	9	8	15	31	14	26	11	16	21	15	15	32	106					
	平均点		3.77	3.85	3.73	3.75	3.47	3.73	3.64	3.83	3.47	3.48	3.66	3.44	3.66	3.71					
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	203	82	85	98	125	142	177	177	112	71	114	78	506	1,093					
	やや思う	4	185	85	76	81	152	154	173	125	120	86	139	82	409	1,046					
	どちらとも言えない	3	116	43	38	38	78	65	93	56	37	42	35	38	123	422					
	あまり思わない	2	33	16	9	13	15	10	22	19	16	18	10	12	35	109					
	全く思わない	1	15	11	5	2	5	4	6	3	13	9	8	0	10	19					
	平均点		3.96	3.89	4.07	4.12	4.01	4.12	4.05	4.19	4.01	3.85	4.11	4.08	4.26	4.15					
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果があがっている	5	213	91	85	107	119	139	197	145	98	81	117	82	486	1,049					
	少し成果があがっている	4	242	89	88	99	189	177	217	168	153	85	145	97	496	1,268					
	どちらとも言えない	3	69	38	29	22	56	48	48	53	31	39	31	22	81	310					
	あまり成果があがっていない	2	22	11	9	2	8	8	9	12	11	15	11	7	15	58					
	全く成果があがっていない	1	6	8	2	2	3	3	0	2	5	6	2	2	5	4					
	平均点		4.15	4.03	4.15	4.32	4.10	4.18	4.28	4.16	4.10	3.97	4.19	4.19	4.33	4.23					
【質問8】～【質問14】の平均								3.84	3.84	3.82	3.93	3.78	3.84	3.91	3.94	3.80	3.74	3.88	3.80	3.96	4.04

表5-(1)-3

講義番号	学部	学科	年限	主担当教員	実施教員	科目名	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
								1.359	492	357	649	937	496	611	781	310	594	335	269	1,249	3,729
								646	165	145	300	492	247	312	430	167	353	236	137	772	1,836
								47.5%	33.5%	40.6%	46.2%	52.5%	49.8%	51.1%	55.1%	53.9%	59.4%	70.4%	50.9%	61.8%	49.2%
【質問1】 授業準備 授業の準備は適切になされていると思いますか？	適切である	5	459	95	106	216	401	160	211	300	123	247	150	101	556	1,415					
	ほぼ適切である	4	136	44	24	67	81	60	77	88	36	88	74	28	186	321					
	どちらとも言えない	3	39	14	9	16	8	20	18	32	6	16	7	6	22	77					
	やや不適切である	2	5	7	3	1	1	4	3	6	2	1	4	2	7	16					
	不適切である	1	7	5	3	0	1	3	3	4	0	1	1	0	1	7					
	平均点		4.60	4.32	4.57	4.66	4.79	4.50	4.57	4.57	4.68	4.64	4.56	4.66	4.67	4.70					
【質問2】 教員の話し方 教員の話し方は聞き取りやすいですか？ (音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	聞き取りやすい(読みやすい)	5	396	91	97	200	360	159	183	234	106	212	140	100	521	1,246					
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	175	38	29	75	111	63	92	125	47	105	71	28	188	398					
	どちらとも言えない	3	52	19	12	20	16	18	26	42	11	24	10	6	33	106					
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	16	10	5	5	4	6	8	19	2	8	12	2	25	57					
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	7	7	2	0	1	1	3	10	1	4	3	1	5	29					
	平均点		4.45	4.19	4.48	4.57	4.68	4.51	4.42	4.29	4.53	4.45	4.41	4.64	4.55	4.51					
【質問3】 授業の計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	425	94	92	195	392	140	214	298	108	241	140	97	494	1,348					
	ほぼ行われている	4	113	39	27	68	69	57	60	84	32	73	67	18	168	229					
	どちらとも言えない	3	37	11	12	15	9	16	11	27	5	13	8	7	26	55					
	やや異なっている	2	3	0	2	3	1	4	0	5	1	4	0	0	6	5					
	全く異なっている	1	0	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	3					
	平均点		4.66	4.50	4.54	4.59	4.80	4.52	4.71	4.62	4.69	4.66	4.61	4.74	4.65	4.78					
【質問4】 授業時間 授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	守っている	5	452	114	91	193	387	151	197	318	114	240	166	99	562	1,463					
	ほぼ守っている	4	125	31	31	75	90	78	64	72	41	73	62	32	185	291					
	どちらとも言えない	3	40	8	14	20	11	12	12	31	12	14	7	4	18	56					
	やや守っていない	2	2	1	3	5	4	4	4	4	0	3	0	2	6	15					
	守っていない	1	2	0	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1					
	平均点		4.65	4.68	4.46	4.54	4.75	4.52	4.64	4.65	4.61	4.67	4.66	4.66	4.69	4.75					
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	416	81	97	200	368	159	184	250	103	196	131	93	532	1,223					
	やや思う	4	143	39	27	72	108	59	90	114	39	113	78	35	186	439					
	どちらとも言えない	3	64	24	16	25	15	23	28	45	16	34	17	5	37	105					
	あまり思わない	2	15	12	2	2	1	3	9	14	8	7	8	3	13	53					
	思わない	1	8	9	3	1	0	3	1	7	1	3	2	1	4	16					
	平均点		4.46	4.04	4.47	4.56	4.71	4.49	4.43	4.36	4.41	4.39	4.39	4.58	4.59	4.53					
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	310	74	91	163	334	140	148	238	91	165	118	64	409	654					
	ほぼ誠意をもって答える	4	93	25	16	52	65	47	65	84	31	63	51	23	124	167					
	どちらとも言えない	3	67	16	10	14	17	15	17	37	10	25	10	4	36	61					
	やや誠意が感じられない	2	2	1	3	2	2	2	4	4	2	3	4	1	0	4					
	誠意が感じられない	1	5	2	2	1	1	1	0	3	0	2	0	0	0	8					
	平均点		4.47	4.42	4.57	4.61	4.74	4.58	4.53	4.50	4.57	4.50	4.55	4.63	4.66	4.63					
【質問7】 授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	322	74	92	165	337	132	150	216	90	176	109	82	448	1,027					
	ほぼ満足	4	227	46	35	101	126	82	109	135	57	119	98	41	258	594					
	どちらとも言えない	3	72	25	9	30	26	25	44	57	15	47	18	12	47	158					
	やや不満	2	15	9	2	3	2	3	4	14	3	8	9	1	15	48					
	不満	1	10	11	7	1	1	5	5	8	2	3	2	1	4	9					
	平均点		4.29	3.99	4.40	4.42	4.62	4.35	4.27	4.25	4.38	4.29	4.28	4.47	4.41						
【質問1】～【質問7】の平均			4.51	4.30	4.50	4.57	4.73	4.49	4.51	4.46	4.55	4.52	4.50	4.63	4.61	4.61					

表5-(1)-4

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	業学科
								1,359	492	357	649	937	496	611	781	310	594	335	269	1,249	3,729
								646	165	145	300	492	247	312	430	167	353	236	137	772	1,836
								47.5%	33.5%	40.6%	46.2%	52.5%	49.8%	51.1%	55.1%	53.9%	59.4%	70.4%	50.9%	61.8%	49.2%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	36	14	17	8	45	13	36	66	7	41	14	3	35	135					
	2～3時間未満	4	29	23	6	20	61	25	26	42	18	29	18	12	50	148					
	1～2時間未満	3	141	40	30	57	88	41	65	137	57	74	57	22	201	470					
	30分～1時間未満	2	200	39	44	92	124	74	86	93	50	113	73	40	294	596					
	30分未満	1	240	49	48	123	174	94	99	92	35	96	74	60	192	487					
	平均点		2.10	2.48	2.31	1.99	2.35	2.15	2.40	2.76	2.47	2.45	2.26	1.96	2.28	2.37					
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	209	67	56	89	154	55	118	136	60	153	90	45	218	949					
	ほとんどない	4	235	49	50	109	181	98	99	150	67	131	96	50	346	667					
	どちらとも言えない	3	125	30	23	57	98	65	89	28	45	32	27	120	146						
	しばしばある	2	63	13	11	33	50	21	22	42	10	17	16	14	80	60					
	毎回ある	1	14	6	5	12	9	8	8	13	2	7	2	1	8	14					
	平均点		3.87	3.96	3.97	3.77	3.86	3.69	3.95	3.82	4.04	4.15	4.08	3.91	3.89	4.35					
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	359	87	83	166	348	115	187	243	101	224	115	76	501	1,493					
	ほぼ出席	4	217	61	43	102	106	97	92	142	55	103	94	39	217	290					
	ときどき欠席する	3	53	14	10	26	25	21	21	34	8	20	20	18	44	33					
	やや欠席が多い	2	14	2	4	6	8	13	10	11	2	6	5	3	9	19					
	欠席が大変多い	1	3	1	5	0	5	1	2	0	1	0	2	1	1	1					
	平均点		4.42	4.40	4.34	4.43	4.59	4.26	4.45	4.43	4.51	4.54	4.33	4.36	4.56	4.77					
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	292	58	69	135	271	113	127	208	90	153	99	49	417	897					
	やや深まっている	4	257	66	51	121	190	101	146	163	58	154	117	69	297	743					
	どちらとも言えない	3	72	29	17	36	22	29	29	46	13	34	12	16	46	152					
	あまり深まっていない	2	16	5	5	7	9	3	8	10	3	10	7	3	11	35					
	全く深まっていない	1	9	7	3	1	0	1	2	3	3	2	1	0	1	9					
	平均点		4.25	3.99	4.23	4.27	4.47	4.30	4.24	4.31	4.37	4.26	4.30	4.20	4.45	4.35					
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	155	55	64	74	139	82	85	160	59	117	58	33	188	563					
	頻繁にしている	4	135	41	18	54	120	61	70	101	50	86	51	26	166	337					
	ときどきしている	3	256	44	37	128	175	84	124	130	47	100	92	54	312	704					
	ほとんどしていない	2	71	16	17	25	37	12	23	29	7	31	26	19	71	147					
	全くしていない	1	29	9	9	19	21	8	10	10	4	19	9	5	35	85					
	平均点		3.49	3.71	3.77	3.46	3.65	3.80	3.63	3.87	3.92	3.71	3.52	3.46	3.52	3.62					
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	200	56	61	99	215	88	87	193	77	117	70	48	331	731					
	やや思う	4	234	59	47	125	167	104	145	140	61	153	94	60	327	748					
	どちらとも言えない	3	143	28	23	49	84	42	64	73	21	57	50	23	75	282					
	あまり思わない	2	50	10	9	21	24	10	13	16	6	20	16	5	33	65					
	全く思わない	1	19	12	5	6	2	3	3	8	2	6	6	1	6	10					
	平均点		3.85	3.83	4.03	3.97	4.16	4.07	3.96	4.15	4.23	4.01	3.87	4.09	4.22	4.16					
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果があがっている	5	235	58	62	107	231	108	112	188	73	147	85	41	335	759					
	少し成果があがっている	4	279	61	55	147	211	108	151	166	74	151	117	70	356	830					
	どちらとも言えない	3	104	30	23	40	42	25	41	59	14	39	25	23	65	208					
	あまり成果があがっていない	2	18	7	3	5	7	4	6	14	3	14	8	3	14	36					
	全く成果があがっていない	1	10	9	2	1	1	2	2	3	3	2	1	0	2	3					
	平均点		4.10	3.92	4.19	4.18	4.35	4.28	4.17	4.21	4.26	4.21	4.17	4.09	4.31	4.26					
【質問8】～【質問14】の平均								3.72	3.75	3.83	3.72	3.92	3.79	3.83	3.94	3.97	3.90	3.79	3.72	3.89	3.98

6. 学科、センターの個別総括

令和4年度の授業評価アンケートについて、学科長・センター長が総括し、報告書を作成した。今後、この自己点検・評価を基に、さらなる授業改善が期待される。

① 経済学部経済学科

令和5年3月3日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部経済学科

学科長 佐藤 彰三

令和4年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）
後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、経済学部では前期24科目、後期20科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

質問1～7について、前期は「教員の話し方」「授業の計画性」「授業時間」が全学平均を上回り、「授業準備」「質問への誠意」「授業への満足度」が全学平均を下回り、後期においては7項目全てが全学平均を下回っている。しかしながら、すべての項目が4段階以上の評価となっており、「授業準備」「授業の計画性」「授業時間」の3項目は前期後期ともに4段階後半の高い評価となっている。

後期の評価については、【質問15】自由記述欄のコメント「スクリーンが遠くて見えにくい時がある。」

「みんなが同じ資料を見たりすることでWiFiやパソコンの動きが遅くなった。」「課題提出の仕方とか統一してほしい。」「早く対面授業にして欲しい。」などから、受講者が多い科目を評価対象としたこと、対面授業と遠隔授業が混在したこと等の影響もあったものと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

経済学科の教員の授業評価結果は4段階以上の評価を受けているが、「授業への満足度」に関して全学平均同様に4段階の前半の評価となっている。前年度と同様の結果ではあるが「教員の話し方」「講義の工夫」「質問への誠意」など4段階前半の評価となっている項目についての改善が「授業への満足度」の改善につながるものとする。併せて、遠隔授業についてはその特性を活かす取り組みが必要である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期、後期ともに質問7～14について、前期の【質問12】「授業内容理解への積極性」以外の項目で全学平均を下まわっている。特に「関連学習」「授業内容理解への積極性」「意欲の高まり」について自己評価が低い。

「関連学習」について1時間以下の層は、昨年度同様に前期も後期も6割以上となっており、学生達が「関連学習」にそれほど時間を掛けていない。

分析結果を踏まえた改善方策：

「授業内容理解への積極性」「意欲の高まり」等の自己評価向上のためには、準備や復習など「関連学習」を充実する必要がある。多くの学生がアルバイトを行っていることから、アルバイトの時間が過剰にならないよう引続き指導して、「関連学習」に時間とエネルギーを振り向けるよう指導していきたい。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員（専任・非常勤を含め）全員に対して全ての集計結果をフィードバックしており、今回の「点検報告書」についても、学科内で共有する。

【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義中または最終回、定期試験実施時、あるいはCerezoを通じて当該授業科目担当教員が行った。その詳細は、提出された報告書に記載している通りである。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

○高く評価されたことについて

(1) コロナ禍で入学以来同級生はもちろん先輩・後輩とも全くかかわりが無いという学生も多く、こうした活動を通して交流を深め「楽しかった」「自分も！」と来年度のゼミを志望する学生も何人かおり、

とてもうれしい。

(2) 講義資料やレポートの事前準備をしっかりと行ったことが評価されたのではないかと。また、満足度も高く評価され、準備だけでなく授業内容も一定の評価を得られたことは自身の成果である。

(3) 今年は、対面を基本としつつも、学生個人の感染対策意識を尊重し、遠隔での授業も認めたという意味で、授業参加方法は学生の自主性に任せたことが個別コメントでも評価された。

(4) 本講義は5名の教員が3回ずつ担当するオムニバス形式である。それぞれの教員が工夫を凝らして講義している点がこの評価につながったと考えている。

(5) アクティブ・ラーニング形式を採用し、グループワークとプレゼンテーションを中心に展開。通常の講義より準備に入念に行っているため講義の工夫及び、満足度が高まったと考える。

○今後の授業改善の計画について

(1) 本科目について今年度はカリキュラムの過渡期にあたり、来年度からは、R3カリキュラムのもとで、本科目は「上級」の内容に大幅に内容を変更する予定である（今年度の受講生にはその旨を通達済み）。

(2) 苦手なスポーツや初めてのスポーツの技術における出来る・出来ないではなく主体的に新しい技術を身につける姿勢を醸し出す工夫をしたいと思う。

(3) 遠隔授業と対面授業を交互に行う形式となっていたため、それぞれに柔軟に対応できる教材を再度見直す必要がある。

(4) 後期に対面授業になっても、解説動画のUPやドリルの出題などを続けていきたいと考える。

(5) YouTubeに動画があると、倍速で講義動画を見ることができると良いようである。また、入れ替え型授業等の対応を検討したい。

(6) 期末テストを最後の授業回に行ったり、16週目に行ったり、授業毎に実施方法が違うので学生が混乱しがちである。したがって、期末テストの有無や日時を前もってアナウンスするつもりである。

(7) 授業の大部分は、未来創造館2Fでの対面授業で、各自PCを準備させ、パワーポイントのスライドをYouTubeに掲載し、更にPDF資料も準備したため学生の繰り返しの学習が可能になり、理解度は深まった。

(8) 授業を講義パートと演習パートに分けたのが良かったと思われる。引き続き継続していきたい。

(9) 遠隔授業では、学生の反応が分からないので講義が単調になってはならない。また授業への関心を持たせるよう身近な事例を交えるなど工夫した授業に努める。

○学修成果に関わる内容について

(1) 大学生活の最後の中心的授業であることを意識させ、最上級生としての責任の自覚を自主的に形成できるような内容を多用した。

(2) 予習、復習に費やす時間が少ないことから、知識や技能の深まり等が限定的になっている。

(3) 授業で考えてもらったことをより深めるために、座学、課外活動やアクティブ・ラーニングの質を高めて、授業効果をより向上させたい。

(4) 事前に調査・研究すべき書籍を今回は教員側で手配、貸与することにした。実社会では書籍の探索、図書館での調達という手続きが必要であり、このこと自体を履修生に経験させることも教育との考え方もあるが、履修生の限られた生活時間・学習時間の効率的活用という点で一つの試みと考えている。

(5) 7月のキャンパス見学会に5名が参加。当日参加しない人も、動画や卒業生へのインタビューなど

裏方支援。準備は大変だったが、異学年で結束力が強まり仲も深まった。実際発表してみて、こちらの助言の意味や必要性を理解したという人もおり、うれしかった。見学会での経験はそれぞれにとって大きな自信になったようで、その後とても生き生きしている。

(6) アクティブ・ラーニング形式を継続しつつ、より主体的に学修できるよう教員側と協力団体側の連携を更に高めていきたい。講義時間外にもグループワークを進め、フィールドワークに赴いた学生は最後のアウトプットも質の高いものとなっている。机上の思考にとどまらずより実践的で主体的な学修になるよう様々な仕掛けを検討していきたい。

(7) 各回の授業の初めに、達成したい目標を明確にし、授業内容の流れを簡単に確認し、授業の終わりに、授業内容の要点を整理するよう心掛けていきたいと考える。

(8) 従来の受動的なやられている授業感覚から、新しいことを自分から修得する主体性を作り出す工夫を授業時間以外にも実施できるような環境を提供したいと思う。

【9】総括

授業評価アンケート調査により、本学科における授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと考える。

多人数の授業が実施している経済学科において、依然としてコロナの影響から対面授業と遠隔授業が混在している。これまで遠隔授業に慣れていたことから、混在により教員側も学生側も多少混乱している状況も垣間見える。引続き対面授業、遠隔授業それぞれの特性を活かす取組み・工夫を行い、授業の改善に努めて参りたい。

以上

令和 5 年 3 月 10 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部 国際経済学科

学科長 足立 浩一

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）

後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期 10 科目、後期 11 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期においては、「授業時間」と「質問への誠意」以下の項目、後期においては、「授業時間」以外の項目について全学平均より劣っている。教員間で非常に大きなばらつきがあるが、前期には 10 科目中 2 科目、後期には 11 科目中 4 科目経済学演習（ゼミナール）が含まれているにもかかわらず、非常に低い評価となった。来年退職する非常勤教員を除くと【質問 1】～【質問 7】の平均は全学平均とほぼ同じになる。

分析結果を踏まえた改善方策：

常勤教員についても複数の項目で改善が必要であるが、非常勤講師 1 名が前期の【質問 1】～【質問 7】の平均点が 3.88、後期が 3.36 と非常に低く学生の不満も大きかった。来年度からは当該科目を新任教員が担当するので、授業評価向上のため学科内で情報共有を行う。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期・後期ともに「関連学習」と「授業内容理解への積極性」については、全学平均より高く、その他の項目については、全学平均を下回っている。これについても「授業評価アンケート」結果同様、教員間で非常に大きいばらつきがある。来年退職する非常勤教員を除くと【質問 8】～【質問 14】の平均は全学平均とほぼ同じになる。

分析結果を踏まえた改善方策：

前述の非常勤講師 1 名が前期の【質問 8】～【質問 14】の平均点が 3.57、後期が 3.37 と非常に低く学生の不満も大きかった。来年度からは当該科目を新任教員が担当するので、授業評価向上のため学科内で情報共有を行う。常勤教員に関しても【質問 14】学修の成果をどうやって向上させるか、学科内で議論する必要がある。

【6】教員へのフィードバックについて

個人の評価結果だけでなく、学科教員全員の評価や全学平均、学部平均などのデータも閲覧できるようにシェアしている。これにより自分の授業の問題点を認識する機会としている。学科会議等で改善策を考える機会にしたい。

【7】学生へのフィードバックについて

教員によりさまざま対面授業でのフィードバックとセレッソを利用したフィードバックを行った。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) 学びの喜びを自覚願うとの観点から、個々の学生を担当・指導するチューター制度の拡充（チューター 1 名につき学生 8 名位が限度か？若しくはゼミの拡充とその担当教員のチューター兼務）を提案する。

(2) 関連学習については、課題を出してグループワークをさせるなどしており、教室外でも学修をさせているつもりであったが、これまで以上に課題等を出し、教室外で考え、行動する時間を増やしたい。

(3) 改善方法として、学生が興味を持つような資料を追加したり、課題を増やしたりすることで、「学習時間」と「授業内容理解への積極性」を改善していきたいと思えます。

(4) キャンパスに足を運んでの「授業」を聴講することの効率性や面白さを感じてほしい。そのためには「出欠管理」を更に厳格化することも一つの方策であろうが、その匙加減の難しさも感じている。

【9】総括

新型コロナ感染拡大により、前期はオンライン授業が多かったが、後期にはほとんどの授業が対面となり、対面授業に慣れていない学生には一部困惑もあった。学生による授業評価アンケートの学科平均については、全学、学部 に比して低く反省すべき点が多々ある。ただし、非常勤講師が特別な事情（医療機関に勤務している）により、オンライン授業を継続した科目があり、非常に低い評価となっている。来年度以降は、当該科目について新規に採用した専任教員が担当することになっており、学科内でディスカッションがしやすい環境となる。3 年間で各教員が担当するすべての科目につきアンケートを実施するというのであるが、経済学演習について、回答者数が少ないこともあり実施するのが適当かどうかは疑問がある。

以上

③ 経済学部税務会計学科

令和5年3月10日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部税務会計学科

学科長 白木 康晴

令和4年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）
後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、税務会計学科では前期9科目、後期8科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

【前期】

- ・「質問7 講義の満足度」では、全学（4.38）、経済学部（4.35）と比較して、税務会計学科は、4.42と満足度が高くなっている。
- ・「質問1～7の平均」は、全学（4.57）、経済学部（4.54）と比較して、税務会計学科は、4.54となっている。

【後期】

- ・「質問7 講義の満足度」では、全学（4.38）、経済学部（4.26）と比較して、税務会計学科は、4.40と満足度が高くなっている。
- ・「質問1～7の平均」は、全学（4.57）、経済学部（4.47）と比較して、税務会計学科は、4.50となっている。

いる。

分析結果を踏まえた改善方策：

【前期及び後期】

・評価科目「質問 7 講義の満足度」は、全学、経済学部と比べて高いものの、「質問 1～7 の平均」は、経済学部より高いが、全学よりは低くなっている。各教員が継続して改善を行った結果、一定程度、学生に評価されているのではないかと考える。改善方策としては、特に、税法科目の評価が低いことから、講義の満足度を上げるような取り組みを行うことが必要である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

【前期】

・「質問 8～14 の平均」は、全学 (3.91)、経済学部 (3.84) と比較して、税務会計学科は、3.82 と低くなっている。
・税法の評価は全学、学部より高いが、教養ゼミ、財務会計 I、税務会計 I が、全学、学部より低くなっている。これらの 3 つの科目について、特に、関連学習の評価が低くなっている。

【後期】

・「質問 8～14 の平均」は、全学 (3.88)、経済学部 (3.75) と比較して、税務会計学科は、3.83 となっている。
・特に、経営組織論 II の評価が 3.17 と低く、関連学習、授業内容理解への積極性の項目の評価が低くなっている。

分析結果を踏まえた改善方策：

【前期及び後期】

改善方策としては、①関連学習の時間を増やすために、課題や事前学習を学生に課す、②授業が一方向的にならないよう、学生に質問をしたり、グループワークなど学生の興味を引くような内容の講義にすること、③フィードバックに時間をかける等が挙げられるのではないかと考える。

【6】教員へのフィードバックについて

【前期及び後期】

教員へのフィードバックは、メールで各教員へ送付し、各教員から結果報告書を受け取っている。

【7】学生へのフィードバックについて

【前期及び後期】

各教員が、授業時間内、セレッソで学生へのフィードバックを行っている。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

【前期】

<提案>

(1) 1・2年次の専門科目の教育強化が必要。

<意見>

(1) マスクを着けて長時間話していると、声が聞きづらくなるだけでなく、段々と呼吸が苦しくなってくる。

(2) 目標もなく、ただ漠然と授業を受けているだけでは学修効果が上がらない。

(3) 当初クーラーの効きが悪く暑い中での授業のため集中力が途切れたと考えられる。

(4) 関連学習につながるよう、授業内容を動画化し、授業後にアップロードして繰り返し授業内容を確認できるようにしている。

(6) 会社決算書アナリスト検定の受験を促していきたい。

(7) 学習時間を増やすために、課題を出すようにしたい。

(8) 興味がない生徒にも興味が出るように分かりやすい授業を心掛けたい。

(9) 課題と解決方法を与え、グループで調査・報告する取り組みを検討したい。

(10) 授業中に質問を投げかけ答えてもらうような進め方を行い、緊張感を保てる授業としたい。

(11) 学生が「消化不良」にならないような講義にしたい。

【後期】

<提案>

(1) 1・2年次の専門科目の教育強化が必要。

<意見>

(1) 毎回、課題を課してレポートを提出させていたため関連学習の評価が高くなった。

(2) テキストやノートも持たず、スマホのみで漠然と授業を受けているだけでは学修効果が上がらない。

(3) グループごとに調査、プレゼンを行う授業であったため満足度が高くなった。これからも、この授業方法を継続していきたい。

(4) 最後の講義で授業に対するアンケートを取った。

(5) 時事問題を交えながら説明したことで学生たちの注意を引くことができた。

(6) 授業内で具体的な事例を取り上げ、授業後に小テストを実施したい。

(7) 授業内での内容と自宅学習の関連性、連携について強化し、関連学習への誘いを強化する必要がある。

(8) 関連学習に取り組むことができるよう、課題やレポートを出題したい。

- (9) グループ課題を設定し、グループ学修を取り入れ満足度を高めたい。
- (10) フィードバックに時間をかける授業構成としたい。

【9】 総 括

評価科目「質問 7 講義の満足度」は、全学、経済学部と比べて高いものの、「質問 1～7 の平均」は、経済学部より高いが、全学よりは低くなっている。各教員が継続して改善を行った結果、一定程度、学生に評価されていると考えられるが、特に、税法科目の評価が低いことから、講義の満足度を上げるような取り組みを行うことが必要である。

また「質問 8～14 の平均」は、全学と比較して、低くなっている。特に、関連学習の評価が低くなっていることから、関連学習の時間を増やすための取り組みが必要である。

以上

④ 人間文化学部心理学科

令和 5 年 3 月 1 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部心理学科

学科長 赤澤 淳子

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期 17 科目、後期 18 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

令和 4 年度前期における「授業評価アンケート」質問項目 7 項目の全学平均が 4.57 で、心理学科の平均は 4.59 であった。また、後期の全学平均は 4.57 で、心理学科の平均は 4.79 であった。質問項目別にみると、前期はほぼ全学平均と違いがなく、いずれの項目の平均値も 4.5 点以上であった。後期は全ての項目で全学平均を上回っており、平均値も 4.5 点以上であった。以上の結果より、心理学科の「授業評価アンケート」結果は、全ての項目においても 4.5 点以上であり、特に後期は全学平均より高い値を示していることから、総じて高評価が得られたといえるだろう。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述したように、現在の高い水準を保つことが今後の課題といえる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

令和4年度前期における「学生の自己点検」質問項目7項目の全学平均が3.91で、心理学科の平均は3.78であった。また、後期の全学平均は3.88で、心理学科の平均は3.92であった。いずれも4.0未満の値を示していることから、学生の自己点検は高いとはいえない。各項目別にみると、平均値が4.0に達しない項目は、前期・後期ともに「関連学習（前期：2.22；後期2.3）」「集中力（前期3.82；後期3.86）」「授業内容理解への積極性（前期3.47；後期3.65）」であった。以上の結果より、学生の自己点検評価については、「関連学習」において特に平均値が低く、平均値を下げる要因となっている。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述したように、学生の自己点検における平均値を下げている要因は、「関連学習」の低さである。これについては、予習・復習を課題として課すことが改善策として考えられるが、すべての科目において1時間以上の予習・復習が可能であるかについては検討する必要があるだろう。

【6】教員へのフィードバックについて

各教員に授業評価アンケート結果を送る際に、大学全体の授業評価アンケート結果を一緒に送付し、心理学科の全体における位置づけについて周知している。また、各々の教員に個々で結果を送付する時に、気づいた点についてコメントを付けている。

【7】学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、個々の教員が対面やCerezoを通して、それぞれの方法で行っている。

【8】学科教員からの提案、意見

<意見>

(1) 自発的に調べる行動がとれている学生とそうでない学生に分かれているため、後者の学生に対し、自発的な学修行動を促すように関わる必要がある。

(2) 毎回の授業でレポート課題を出しているので関連学修時間が1時間未満となることはあり得ない(毎回、その次の週で添削も行い確認しているため)が、1時間未満と回答したものが6名(うち30分未満は3名)いた。そのため、学生自身の回答態度の改善が必要だと感じた。

<提案>

(1) 積極性の向上については、授業の後に質問の時間を設けるなどの工夫が必要である。

(2) 課題をどのようにクリアするべきかの手段や方法がわからない学生が多いと感じるため、授業内で具体的な手段、方法を提示しながら、どこまでどう努力すべきかについての指針も示す。

(3) 指導意図の明確化と、達成感や満足感が得られる課題出題の計画性が必要である。

(4) 学生が積極的に自主学習できるように、セレッソなどを活用し、反転学習等を取り入れる。

(5) 少しでも意欲や積極性を向上させるために、学生が興味を持ちそうな身話題や事例の紹介を増やす等の工夫をする。

【9】 総 括

令和4年度「学生による授業評価アンケート」における心理学科教員の集計結果を分析した結果、「授業評価」については、ほとんどの教員が高い評価を得ていることが明らかとなった。今後もこの結果を維持することを課題とする。「学生の自己点検」については昨年度と同様に、学生の関連学習時間が少ないことが挙げられる。課題を単に増やすだけでなく、学生が積極的に自主学習に取り組めるような方策が求められる。また、学生がアンケート項目の内容について正確に理解し評価できているのかどうかについての検証も必要である。

以上

⑤ 人間文化学部人間文化学科

令和 5 年 3 月 11 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部人間文化学科

学科長 小原 友行

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期 16 科目、後期 18 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- ① 質問 1～7 の平均は、前期は 4.66（全学 4.57、学部 4.59、前年度 4.58）、後期は 4.57（全学 4.57、学部 4.63、前年度 4.58）であった。
- ② 質問 7（満足度）に焦点をあてると、前期は 4.52（全学 4.38、学部 4.43、前年度 4.47）、後期は 4.42（全学 4.38、学部 4.50、前年度 4.44）であった。
- ③ このように、前期に比べて後期の結果は少し低めではあったが、全学および学部の平均や前年度とも比べても低くはないので、全体としては概ね良好であったと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ① 本年度も、コロナ禍の中での対面型と遠隔型の両面実施であり、フィールドワークも自由に実施できない状況ではあったが、前年度よりは数値は上昇傾向にあり、工夫の成果はある程度みられたのでは

ないかと考えられる。

- ② さらに成果を上げるためには、前年度と同様ではあるが、受講生の好奇心や探究心を高めるような授業になるように内容や教材の工夫・改善を図っていくことが求められる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- ① 質問 8～14 の平均は、前期は 3.93（全学 3.91、学部 3.84、前年度 4.10）、後期は 3.72（全学 3.88、学部 3.83、前年度 3.91）であった。
- ② 質問 14（学修の成果）に焦点をあてると、前期は 4.32（全学 4.19、学部 4.18、前年度 4.37）、後期は 4.18（全学 4.22、学部 4.28、前年度 4.23）であった。
- ③ このように、前期に比べて後期の結果は低めであった。また、全学および学部の平均との比較では、前期は高いのであるが後期は少し低めである。さらに、前・後期ともに前年度より少し低めであった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ① 前年度と比較して、本年度は後期の数値が低く、年間を通しての自主的な学習態度の喚起に課題が残ると考えられる。その要因の一つとして、教員・学生のコロナ禍疲れもあると考えられる。
- ② その改善のためにも、コロナの状況次第ではあるが、フィールドワーク等の積極的な学びへつながっていくような授業の工夫が求められる。
- ③ これらを踏まえると、地域の事例や国際的な時事問題に関連づける教材化の工夫、図書館の積極的な活用、新聞・テレビ・インターネット等の多様なメディアを活用した指導法の工夫が、今後も引き続き求められていると考えられる。

【6】教員へのフィードバックについて

- ① 本年度も、「学生による授業評価アンケート」のデータを、常勤および非常勤の教員にメール添付で送付し、各授業科目に関する点検・分析・評価と今後の学習指導の改善策についての回答を求めた。
- ② 常勤教員に対しては、学科会議において検討を行い、次年度に向けての改善点について話し合い、確認した。

【7】学生へのフィードバックについて

- ① 本年度も、コロナ禍の影響もあり、常勤および非常勤の多くの教員が、セレッソを通してフィードバックを行った。
- ② 新年度 4 月の学科のオリエンテーションの場で、学生全体に対してのフィードバックを行う予定である。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 全員の読解力がある程度のレベルに達することを目標とする授業を展開することが一つの方策であろう。ただ、これについては、読解力の基礎となる語彙力や漢字の判読能力が前提として必要であり、これは個々人の努力によるしかない。現状では、半数以上の学生が高いレベルの解説を求めているため、そのレベルを下げることはできない。多様な読解能力を持つ集団全体の読解能力を引き上げる方法を探したい。
- (2) 内発的動機づけを高める方策については万策尽きた感がある。ただ、教員（＝脇）の認識が内発的・外発的という「動機の出自」から脱することで、何らかの光明が見出せるかもしれない。すなわち、内発的であれ外発的であれ（外発的な介入には慎重を期すべきだが）、学生の自律的な省察を促すコンテキスト（≠コンテンツ）が継続的に提供できれば、「進展」につながるように思う。
- (3) 課題を増やすことで関連学習時間も増えると推測できる。また受講者が図書館に足を運び、自ら関心のある主題についての本を手にとって読んでもらうことが望ましい。しかし、そのための方法を見つけられていない。
- (4) 時には学生への課題を出して、学生主体の研究発表も採り入れていきたい。それにより学生自らが主体的・積極的に思想や思想家に取り組むようになることが期待される。
- (5) 今回の授業評価の対象とした科目は通年科目であるため、前期の結果を踏まえて、後期の授業においても、より実践的な内容について、研究・発表・討議という演習的な形態での授業を目指していきたい。そのためにも、受講生の授業デザイン力を高めるような学習活動の開発に一層の磨きをかけてゆきたい。
- (6) 授業中の発言はないものの、出席票をかねたコメントシートには感想や質問が多く寄せられる。自由記述の欄をみると、こちらが反応して取り上げること、質問に答えてもらえることは学生のやる気につながっていると思うので、今後も可能な限り答えたいと思う。参考となる書籍やデータベースなどをいくつか紹介したが、そういったものも積極的に紹介していきたい。
- (7) パワーポイントなどを使用し、絵図や地図、写真を提示して講義を行った。また、広島県や岡山県の遺跡、瀬戸内海など地域に関わる題材を取り入れることで学生に授業に対して関心を持ってもらう。また、鞆の浦、尾道など港町がどのように形成されたのかを学修してもらうことで、現在に至までの瀬戸内海地域の展開を考えてもらうようにしたい。また、授業で扱った史跡や遺物などが広島県立博物館（福山市）で収蔵・展示していることを紹介し、実見してもらうように心掛ける。
- (8) 授業初回に、授業の方針を説明すると同じタイミングで、学生たちが持つ論文読解や論文執筆に対する課題意識をアンケート形式で集計する。そして、それらの結果に基づいた小さな課題に毎週・もしくは隔週のペースで取り組むような授業設計をしていくことなどが考えられる。
- (9) 教室設備の改善や壊れた機器の迅速な修理が求められる。

【9】 総 括

全体として総括すれば、本年度もコロナ禍の下で、対面型を基本としながらも遠隔型との両面実施という状況ではあったが、前期については、「学生による授業評価アンケート」の結果を見る限りでは、学科の授業に対する評価は概ね良好と考えられる。しかし、後期については、前年度と比較して少し課題が残った。今後も、コロナ禍の終息が見通せない中で、現状に満足することなく、引き続きもう一步の工夫・改善を行っていくことが必要である。

そのためにも、昨年度・一昨年度と同様ではあるが、各教員の研究内容に基づいた質の高い授業内容の工夫・改善、学生の興味・関心や知的好奇心・探究心、さらには感動や共感を喚起するような教材の開発・導入、学生による主体的な学びを保障するような学習のアクティブ化、可能なところからのフィールド・ワークの導入、セレッソ等を活用した学生間の討論や議論を引き出す授業の工夫・改善等に、さらに磨きをかけていきたい。

以上

令和5年3月8日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部メディア・映像学科

学科長 安田 暁

令和4年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）
後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期14科目、後期11科目について調査を行った。一部の科目については複数の教員がアンケートを実施した。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

大学全体の平均と比べても概ね問題ない、もしくは良い評価を得ている。学科全体としての問題はあまりないように思われる。その中で、特に専門性の高い実習科目において、やや低い評価を受けているものがあった。

分析結果を踏まえた改善方策：

専門性の高い実習科目においては学生それぞれの興味や資質により、得意・苦手の差が出やすいものではある。これらを丁寧にケアしていくことで、授業がより充実したものになると考えている。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

授業時間外の学修に関する部分が低く表れている傾向があるように見える。そのほかの部分については概ね問題ないものと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

学生の学修環境の変化から、授業時間外の学修をどのように展開するかは難しい面も大きい。しかし、事前学修資料の充実やセレッソでの共有などを進めることなどの事例を学科で共有している。また、現在学科での学修支援として開催している「レポート相談会」を、学修目標への到達度の高い学生に対して更なる目標を提示するなど想定した、「学修支援相談会」へと発展させつつ実施することを申し合わせている。これらの方策により、学生の自己点検結果も向上することを期待している。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート結果及び報告書は学科教員共通で見ることができる共有ファイルとし、相互閲覧を可能にしている。またこの報告書も同様に共有する。

【7】 学生へのフィードバックについて

授業内でのフィードバック、もしくはセレッソ上でのフィードバックを行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) リサーチやレポート執筆、分析など、複数の課題を織り交ぜるなど、授業での課題の出し方の改善。加えて、強化された課題からドロップアウトする可能性のある学生へのフォローアップの形も同時に検討する。課題ごとのフィードバックを充実させることでの学生とのコミュニケーションの充実。

(2) LMS を活用した事前学習や復習などを工夫することにより、学生の授業準備、関連学修が改善されると考える。

(3) 学修内容の実社会での活用、他の講義との関連について示すことで学生の目標を持たせやすくする。

(4) 対面授業でのグループディスカッションの活用を進めることで、対面実施の意味が学生に伝わるようにする（知識の伝達的側面が大きい授業において、対面学修に意味を見いだせないという学生からの意見があった）。

(5) アンケートに回答のなかった学生をケアすること。解答率の低さから、授業参加度の低い学生の存在も想像できる。これらの学生を取りこぼすことのないような指導が必要。

【9】 総括

学生への積極的な関与が求められている本学においてこれらのアンケートをもとに授業改善への方策を探ることは重要である。ただそれにとどまらず、学科全体の授業をどのように構成していくかなどについても、学科会議などを中心に検討し進めていきたい。

以上

⑦ 工学部スマートシステム学科

令和5年3月20日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部スマートシステム学科

学科長 香川 直己

令和4年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）
後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、スマートシステム学科では前期21科目、後期15科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

質問1～質問7の各項目に於いて、全学、学部、学科で評価点を比較した場合、全学及び、学部は、前期と後期の間でのポイント差は0.1ポイント未満であるが、当学科に着目すると、質問7の満足度に於いて、前期に比べ後期の方が0.14ポイント低くなっている。全体の傾向から見ると、大きな低下と考えられる。

また、前期、後期を通じて言えることだが、自由記述に於いて質問2（授業の明瞭性）などを中心に今までになく辛辣な苦情コメントが寄せられていたことが印象的であった。

分析結果を踏まえた改善方策：

話し方、書く文字、教員の立ち居振る舞いに対する批判的な指摘が印象的であった。これについては、同じ教員の同じ講義方法に対して、これまでの配当学年（上級生）からは寧ろ好意的な評価を得ていた場合もある。教員の講義の資質が極端に劣化したとは考えられず、オンライン中心から対面中心の授業に

なってきたことにより、受講者が自分のペースで進行する事や、活字を中心とした授業に慣れてきたことにより、受講者の聴解、読解の冗長度が下がってきたことが一因ではないかと懸念している。

やはり、丁寧に対面の講義を実施することが必要であると考ええる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期と後期を比較すると、質問 11 の知識や技能の深まり、質問 13 の意欲の高まり、質問 14 の学習の成果が、0.1 ポイント以上低下している。これらの項目は、全学及び、学部においては、前後期で同等もしくは、後期の方が上昇している場合もある。

分析結果を踏まえた改善方策：

後期になると全学、学部、学科の全てにおいて、出席状況は悪化しており、冬に向かう気候もあるので理解できるが、その上で、上述の 3 項目に関して、全学、学部では評価が低下していない。一方で、当学科に関しては、授業に対するモチベーションに大きく関連する 3 項目が低下している。特に後期においては、講義に対する学生の状況を丁寧に確認することが良いと思われる。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。学生に対するフィードバックは各期終了までに科目ごとに行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義中に、または定期試験実施時に授業科目担当教員が行った。また、その折に追加の意見聴取も行っている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

同じ教員が、同様の講義手法を行っても、学年によって良し悪しの評価が大きく割れる。高等学校から受けてきた講義形態の相違が原因になっている可能性がある。対面かつ筆記による受講形態にも、慣れて行くように仕向ける必要があると考える。

【9】 総括

当学科では、「授業評価アンケート」では、前期に比べ後期の低下が認められた。併せて、「学生の自己点検」においても、受講のモチベーションに関連する 3 項目での低下が認められる。自由記述においても、批判的なコメントが散見され、対面座学での受講スキルが低下してきている可能性が懸念される。加えて、教員と学生間の意思の疎通も希薄になっていることも一因であると考えられる。授業以外でのコミュニケーションを図るなど、相互の信頼関係を再構築する努力が必要であると考えている。 以上

⑧ 工学部建築学科

令和 5 年 3 月 10 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部建築学科

学科長 梅國 章

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期 1 4 科目、後期 1 4 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期後期とも、全学平均 4.57 に比べると 4.49 と少し低く、工学部平均と同等だった。

科目の特性による分析では、演習系の授業評価が高く、特に前期では学科平均を 0.17 上回る結果となった。学生のニーズや興味に授業内容や授業方法が合致しているものと考えられる。また、受講生 10 人以下の授業では、学科平均を 0.29 上回る一方、受講生 50 人以上の授業では、学科平均を 0.07 下回り、受講生数により層別できる。受講生が少ない場合評価も高い結果となった。例年評価の低い傾向のあった理数系の授業評価でも少人数の場合高い評価を得られる例があり、受講生 10 人以下の授業では、学科平均を 0.30 上回る一方、受講生 50 人以上の授業では、学科平均を 0.19 下回ること、アンケートに関するバイアスも考慮する必要があるが、今後の対策のヒントになるものと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

高評価の演習系の授業は、建築志望者の最も重要と考える授業であるので、実務者である非常勤講師と専任教員による授業を継続するとともに、実務経験のある専任教員を授業に配置していく。

評価の低い理数系で50人を越える受講者の難易度の高い授業については、基礎的な力をつけ、復習しやすいデジタルコンテンツや小テストなどを活用した授業方法としていく。また、学習範囲について検討するとともに、小人数授業と大人数の相違についてさらに分析する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期後期の全学平均3.90、工学部平均3.89に比べると3.94と少し高い結果となった。

科目の特性による分析では、ここでも、演習系授業での数値が高く、特に前期では学科平均を0.20上回る結果となった。学生のニーズや興味に授業内容が集中力や学修成果に結びついたものと考えられる。授業アンケート同様、例年評価の低い傾向のあった理数系の授業評価でも少人数の場合高い評価を得られる例があり、受講生10人以下の授業では、学科平均を0.34上回る一方、受講生50人以上の授業では、学科平均を0.29下回することは、アンケートに関するバイアスも考慮する必要があるが、今後の対策のヒントになるものと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

演習系授業では、学生のニーズや興味に授業内容が集中力や学修成果に結びついており、継続して学生のニーズや興味に合致した授業内容及び授業方法を継続する。

一方、理数系授業では建築士など資格と授業科目の関連性などを説明し、科目の必要性を理解した上で、学修意欲を高め、学修成果に繋がるように工夫すると同時に、小人数授業と大人数の相違についてさらに分析する。

【6】教員へのフィードバックについて

対象科目のアンケート集計結果を担当教員にフィードバックし、担当教員はそれを基に授業アンケート実施報告書を作成した。実施報告書の提出率は、前期・後期ともに100%であった。

また、アンケート結果をもとに授業改善に関するFDを実施した。

【7】学生へのフィードバックについて

アンケート対象全28科目のうち、96%の科目でセレッソ、または授業中に学生に対し、フィードバックがなされていた。1科目のみでフィードバックがなされていなかった。100%のフィードバックとなるようにする。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) IR室からのR4(2021)年度成績データによる分析

- 仮説 建築学科では計画系の演習科目の授業アンケート結果が、エンジニアリング系の座学科目の授業アンケート結果よりも、学生評価が高いのは、平均点などによるものである。
 - 結果1 平均点、標準偏差とも過去3年間に設計系科目とエンジニアリング科目には差はなかった。
 - 結果2 平均点、標準偏差とも、計画系科目、エンジニアリング系科目、アンケート項目での層別の分析も行ったが、授業アンケート評価点と平均点、標準偏差には相関はなかった。
 - 結果3 計画系、エンジニアリング系科目とも、受講者数が少ないと、同じ教員による科目であっても授業アンケート評価点が高い傾向がある。
- (2) 平均点が高い（理解度が高い／評価が厳しくない）ことが、必ずしも高い授業アンケート評価には繋がらない。
 - (3) 教え方や評価方法などの手法ではなく、自分の将来などの目的との合致度が重要。
 - (4) 授業人数と授業アンケート結果には、授業種別、教員によらず授業人数が少ないと授業アンケート結果がよくなる傾向がある。
 - (5) 演習系授業で高評価の科目が多いのは、(3)と(4)（複数教員による指導）が影響していることも考えられる。
 - (6) 理数系など他受講者の他の科目でも、TA、SAなどの活用の検討の必要性がある。また、ICTの活用、例えばセレッソなどを活用した質問のフォローも検討する。
 - (7) 授業時間外に学内施設（PC室）の利用が制限される場合は、学生自身が自分のPCにCG制作で利用するソフトウェアを用意させるなど対策を検討する。
 - (8) 数式は必要最小限にして、できるだけ数式を使わない説明に置き換える方向で改善を試みる。
 - (9) 理解度に応じた授業範囲の見直しも検討する。
 - (10) 資格と授業科目の関連性などの説明を行う。

【9】総括

建築学科では、授業の特性から比較的対面の授業が多かった。今回のアンケート結果からも、対面かつ演習系の授業評価、自己点検のポイントが高いことがわかった。これらの高いポイントが直接学生の学修レベルの向上に繋がらない場合もあるが、一定の評価をし、これを継続していきたい。

一方、例年、授業評価、自己点検のポイントの低い傾向を有する理数系でも、少人数の場合は両方のポイントで高い評価を得られる例も見られた。アンケートに関するバイアスも考慮する必要があるが、少人数授業の評価の分析を行い、今後の授業改善の対策に活かしていきたい。

以上

⑨ 工学部情報工学科

令和 5 年 3 月 20 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部情報工学科

学科長 金子 邦彦

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期 8 科目、後期 7 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

授業評価アンケートは、学生が匿名で講義に対する意見や評価を提出し、その後教員が学生にフィードバックするものである。このアンケートは、教員が授業の改善点を把握することや、学生が学習法の改善点や問題点を考察するために、重要なデータとして、毎年利用している。

令和 4 年度の評価結果は、従来と同様に良好であり、問題は見られない。

分析結果を踏まえた改善方策：

令和 4 年度の評価結果から、改善を迫られている事例はない。授業評価アンケートは、全教員が授業を自己点検し、改善策を考察する機会としている。その具体的内容については、「8」に示す。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

令和4年度の評価結果は、従来と同様に良好であり、問題は見られない。

分析結果を踏まえた改善方策：

令和4年度の評価結果から、改善を迫られている事例はない。授業評価アンケートは、今後、情報工学科の学生が学んでいく上で、どのようなアドバイスを与えていくかについて考察する機会としている。その具体的内容については、「8」に示す。

【6】 教員へのフィードバックについて

教員へのフィードバックは、電子メールによるオンラインで実施した。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、セレッソによるオンラインや対面での説明で実施した。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

情報工学科でも、アンケートの結果をもとに授業改善に取り組んでいる。令和5年度においても、情報工学科の教員が授業改善を立案した。それをまとめたものが以下のとおりである。これは、学科FDで学科教員全員で共有している。

① 授業の質の向上について

- ・ 反応を見ながら丁寧に話すことや、学生の意見に対処することなど、学生の理解度に合わせた授業進行を行う
- ・ 高度な内容を理解できるような資料の提示、その改善の継続
- ・ 演習と説明の組み合わせ
- ・ 直感的な理解ができるように、数式と図解を活用する

② 学習環境の改善について

- ・ 課題の難易度や締め切りについて、学生の意見を反映させる、学生の受講状況に合わせて授業の進度を調整するなど、学生の学習動機を高める工夫をする
- ・ セレッソを用いたオンラインでの質問回答や、質問しやすい環境作成

③ 実践的な学びの実現、充実について

- ・ 実務経験に基づいた学ぶ内容の有用性を伝えることで、学生の満足度を高める
- ・ 演習での課題のヒントは、学生の様子を見ながら積極的に提供することで、学生の理解を深める
- ・ 動作原理の説明と実践的な演習を同時に進めることで、学生の実践的なスキルの向上を促進す

る

情報工学科の学生の学修の改善については、学科教員の提案を集約し、次の①から⑨にまとめる。以下の内容を、情報工学科全教員が、講義等で学生に伝えるなどで、活用することになっている。

① クラウドの利用を自在にできるようにする

クラウドの利用を自由自在にするために、学生は在学中にクラウドの利用を学び、習得することをお勧めします。これにより、クラウドを使えるスキルを身につけることができます。このスキルは就職において優位に立つことができます。

② 情報工学科の特色を知り、幅広い知識とスキルを取得する

情報工学科には、多彩な授業があります。学生はそれらを通じて、幅広い知識やスキルを身につけることができます。学生自身が得意分野を持ち、自信を深めることも大切です。特色ある授業としては、資格取得対策（情報処理技術者試験）、ゲームプログラミング、AI、HCI、実践的な IT システムの演習、クラウドについての授業などがあります。

③ 自分自身で興味、関心を持ち、学び続ける態度を持つ

情報工学の分野は急速に進化しているため、常に最新の知識や技術を学び続けることが大切です。将来の進路にもつながる資格取得も積極的に行い、楽しみながら学び、自信を持って自分の能力を高めましょう！

④ 課題等に積極的に取り組む

課題に積極的に取り組むことで、予習や復習を効率的に行うことができます。時間をうまく使い、学習の効率を上げることが大切です。

⑤ 質問に積極的に行う

講義中や課外授業でも、積極的に質問することが重要です。自分の理解度を深めることができるほか、他の学生にも貢献することができます。

⑥ タイピングの練習をする

キーボードのタイピングが苦手な場合は、自主的に練習することで、学習におけるストレスを減らすことができます。

⑦ セレソで公開される資料を活用する

多くの授業では、セレソで資料が公開されており、授業中の学習や、予習復習に役立つものである。時間をうまく使い、学習の効率を上げることが大切です。

⑧ 学修目標を定め、自己確認する

学修目標を自分で定め、自分自身が目指すべき学習の目標を明確にすることが大切です。自己確認をすることで、自信を深めることができます。「2年次の終了までに、ITパスポート合格の能力」のように考えてみてください。

⑨ 予習、復習を増やす

授業前に予習し、復習をすることで、授業の理解度を高めることができます。自分で勉強する習慣を身につけることが重要です。

【9】 総 括

授業評価アンケートの分析結果により、令和4年度の授業評価アンケート対象の授業において問題点は見られなかった。今後も引き続き学生の評価を参考にし、授業改善のための再考や学生の学修改善のためのアドバイスのまとめとして活用していく。また、教員や学生へのフィードバックについては問題なく実施されていることも確認した。情報工学科教員から提案された改善策を集約し、学科教員で共有することで、具体的な授業改善の取り組みを継続していく。

以上

令和 5 年 3 月 10 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部機械システム工学科

学科長 木村 純壮

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、機械システム工学科では前期 14 科目、後期 14 科目について調査を行った。

令和 2 年度から 3 年間で全授業科目のアンケートを行う予定。今年度は最終の 3 年目であり、実施漏れのないように確認作業を行い、計画的にアンケート科目の選定を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

総合的満足度を問う設問 7 は、全体的に見て 2.86～4.65 まで分布している。その中で、2.86 と 3.17 で不評な 2 授業があるが、これらを除けば大半の授業において、ある程度良好な範囲の評価結果に収まっている。教員の授業評価に関する 6 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。これらの設問 1～設問 6 までに関して学科平均を全学平均と比較してみると、前期結果ではどれも下回っているが、後期結果ではほぼ同程度になっているか、やや下回る結果である。いくつかの授業の低評価が影響して、学科全体の結果がやや低めになっていると考えられる。また、授業ごとに全学平均と比較してみた場合、いくつかの授業において低評価が見受けられるが、大半の授業で概ね平均周辺に分布している。これらのことから、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術はある程度の平

均レベルに達していると考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

本学科教員の授業技術について、いくつかの授業を除き、大半の授業で概ね平均程度の評価を受けており、ほぼ許容範囲内の状況にあると判断できる。これまで、学科全体、学科各教員においてアクティブラーニング等の導入を推進し、恒常的に授業技術・授業手法の改善・向上に取り組んできており、その効果による結果と思われる。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一昨年度、昨年度と2年間遠隔授業を多用してきた後、今年度は大半が対面授業であった。遠隔授業中のセッションやメディア教材を活用した授業技術・授業手法の改善取り組みは、今年度の対面授業でも有効に活用できていると思われる。低評価等の問題が見受けられた授業に関しては、他教員が授業参観して意見を伝えたり、学科FD・SDにおいて授業研究テーマに取り上げて検討するなどして、意識を高めるように努めている。このような活動を通して、さらなる改善取り組みが必要である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

学科平均を全学平均と比較すると、学科平均が全学平均を上回ったのは次である。前期結果ではない。後期結果の「関連学修」、「集中力」。逆に、学科平均が全学平均を下回ったのは、前期結果のほぼすべて「関連学修」、「集中力」、「知識や技能の深まり」、「授業内容理解への積極性」、「意欲の高まり」、「学習の成果」。後期結果ではない。前期はいくつかの授業において低評価の項目が散見され、これらの影響により学科平均は低調な結果となっている。その中に、特に多数の低評価項目を抱える1授業があり、今後注意を払う必要がある。前期、後期を通して学科全体をみれば、低評価項目が見られるもののその数は限定的であり、概ね許容範囲と判断している。

分析結果を踏まえた改善方策：

一部の授業ではやや低調傾向もみられるが、学科全体として概ね許容範囲の結果にあり、学生が学修の必要性を自ら理解し、学ぶ姿勢を見せているものと考えられる。学生が主体となり、授業に参加できるようにアクティブラーニングの導入を促進してきた成果や、ICT活用を進めた成果と考えている。さらに、アクティブラーニング・ICT活用の質を高めて、学生の自主性、主体性を引き出すように改善を進めようになりたい。

【6】教員へのフィードバックについて

前期は7月21日(木)、後期は1月22日(日)、学科長からメールにより全ての集計結果を学科教員・非常勤講師へ配布伝達。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】学生へのフィードバックについて

前期は7月25日(月)～8月12日(金)の3週間、後期は1月23日(月)～2月10日(金)の3週間、当該授業科目担当教員から、講義・試験の時間に直接フィードバックあるいはCerezo等を用いてフィー

ドバックした。各教員は、それぞれの結果を真摯に受けとめ評価しており、それぞれの場合に応じて、これからの対応を検討したりしている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 演習課題の解答状況を分析して次回以降の授業に反映させ、専門的知識・技術の定着とその活用が自主的に進むように授業改善する。
- (2) 演習や実験とリンクしたわかりやすい教材を作成し、学習意欲の向上を図る。
- (3) 学生の中には、学習するのが早い人と遅い人が混在することを前提として、学生ひとりひとりの理解度にも配慮した、きめ細かな指導をする。
- (4) 学生の理解度の検証を行って、関連学習の評価を向上させる。また、学生が興味を抱くように、多くの箇所での学習の動機づけや学習の意義を説明し、意欲の高まりの評価を向上させる。
- (5) 資格試験と授業内容との関連性をより明確にして、学修意欲の向上を図る。
- (6) 調査課題を多くしたりすれば、学生が興味をもって取り組んでくれると期待する。
- (7) 授業評価アンケートを実施した授業において、成績評価結果の教員間のばらつきが問題化した。そこで、授業改善のため学科 FD・SD においてテーマとして取り上げ、意見交換して、教員の自覚を求める対応をとった。

【9】 総括

学科教員全員が、授業評価アンケートの結果を冷静に分析し、各自の授業の問題点と原因究明、問題解決方針の検討等に関して記述し、積極的に取り組む姿勢を示している。これまで、全学方針に沿い、各授業担当者によりアクティブラーニング・PBL 等の導入に積極的に取り組み、学生の学修成果向上のために努力している。ICT 活用、メディア教材活用も進んできていると考えられる。これらに伴い、授業評価アンケート結果も学科全体的には向上傾向にあると思われる。しかしながら、いくつかの少数授業において低評価に止まる傾向も残っている。また、3 年間ですべての学科授業に関して授業評価アンケートを実施して、評価結果を得ているが、その中で特別大きな問題点は見られていない。個々の授業での改善により評価結果に対応可能と考えられる。学科全体では、不定期ではあるが学科 FD・SD を開催し、授業研究（授業参観）や授業評価アンケート結果の意見交換等もテーマとするように対応している。今後も、授業評価アンケート結果を利用し、学科授業の改善に取り組んで行く方針である。

以上

令和 5 年 3 月 1 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部生物工学科

学科長 岩本 博行

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～令和 4 年 7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生物工学科では前期 12 科目、後期 12 科目について調査を行った（いずれも教職科目 1 科目を含む）。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- ・回答率は全学平均に比べて高く、学部内でも高かった。
- ・授業準備、授業の計画性、授業時間、質問への誠意、授業の満足度は全学平均（と学部平均）に比べて有意な差は認められなかった。
- ・教員の話し方は、全学・学部平均に比べてやや低い値であった（前期のみ）。後期は有意差が無かった。また授業の工夫も僅かに低い傾向が見られたが、僅差なので有意かどうかは不明である。
- ・全体的に、顕著に低い評価項目は見られなかった。
- ・全学や学部平均に比べて、著しく評価の高い項目も見られなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ・学科としてやや低く評価されたのは教員の話し方であった（前期のみ）。

- ・次年度から従来の授業形態に戻ることが予定されており、対面とリモートが入り交じることによる混乱は解消される見込みである。
- ・リモートやオンデマンドにはそれ相応のメリットがあり、今後も引き続き活用する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- ・集中力、知識や技能の深まり、授業内容理解への積極性、学修の成果の項目は全学平均と同程度であった。
- ・関連学修（前期）、出席状況（後期）、意欲の高まり（後期）の項目は全学平均に比べるとやや低い傾向が見られた。
- ・全体に、顕著に全学・学部平均と評価の異なる項目は見られなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ・全体に、積極的な学修姿勢をつけさせ、学修の意欲を高め、それによって学習成果をアップして学生自身の成長につなげるような教育が必要である。
- ・そのためには一方的な授業ではなく、双方向授業や学生に考えさせる課題の設定、グループディスカッション、課題解決型授業の設定、プレゼンテーションなどのアクティブラーニングを積極的に授業に取り入れる事が重要だと考えられる。

【6】 教員へのフィードバックについて

- ・教員へのフィードバックは全学の資料を各教員に提示し、自身のアンケート結果と比較してもらうことにより授業の反省と学生へのフィードバックを行って頂いた。
- ・オンデマンドで行われた授業の一部を他の教員が視聴し、コメントを交換してフィードバックとした（学部 FD 報告書を参照）。

【7】 学生へのフィードバックについて

- ・学生へのフィードバックは、それぞれの授業について教員が個別に行った。
- ・フィードバックは授業中に行ったり、セレッソを通じてフィードバックしたりするなどの方法があった。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 話し方を改善し、学生さんにわかりやすいよう丁寧に説明する。
- (2) セレッソなどを活用して、質問しやすい環境を整備する
- (3) 動画等の AV 教材をもっと利用したほうがよかった。

- (4) セレソンで小テストたくさん行い、理解度を高める。
- (5) 理解度を把握するためレスポンスを活用する。
- (6) 講義以外でも学習を促すような方法を考える。
- (7) SGD や PBL で参加する学生としない学生の差が大きいので、この差を埋める。
- (8) 講義内容に関する宿題や課題を出して、自宅での学習意欲を高める。
- (9) 講義にできるだけアップトゥーデートな話題を導入する。
- (10) 学生実験の授業評価は、講義の授業評価と同様にはできない。オムニバス授業も。
- (11) より適切なテキストを選ぶ。
- (12) 1721 教室のマイクが故障しているので修理してほしい。
- (13) 授業改善の良いアイデアがあれば非常勤講師も参加できる FD 研修を行ってほしい。

【9】 総 括

新型コロナウイルス Covid-19 も 4 年目となり、教員、学生ともかなり落ち着いた。授業はほぼ対面に戻った。教員のリモート・オンライン・オンデマンド授業スキルが上がって安定した運用ができるようになり、活用範囲が広がった。対面には対面の、リモートにはリモートの良さがあり、これからもこの両方を活用していきたい。一方、コミュニケーションに難があるのでリモート授業のほうが望ましいという学生の声もあった。

授業評価結果に対する分析や改善点については上述した。教員も学生も多様性があり、色々な意見やアイデアがあって、どれが最適かを判断することは難しい。本授業評価アンケートは半期に一度行い、その都度報告や総括をしているが、教員・学生ともにマンネリ化しており新たな提案やアイデアは出難い。一方、全く別の取り組みを取り入れると時間的・労力的に負担が増すばかりである。

最後に、この 3 年間は全ての授業科目を授業評価するという方針に基づき授業評価アンケート科目を選定してきたが、複数教員で担当する科目や学生実験など、アンケート実施方法に問題がある科目も多く、また全ての授業科目のアンケート実施もできなかった。本方針は教員に評判が悪く、新年度以降は撤廃されることを希望する。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部生命栄養科学科

学科長 石井 香代子

令和4年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）
後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生命栄養科学科では前期11科目、後期9科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期は学科全体の平均値として、質問1～7の各項目について全学・学部の平均値より高値となった。回答率が学部平均より低値であった(65.6%)。後期科目の平均値は、前期と同様に質問1～7の各項目について全学・学部の平均値より高値となった。回答率が学部平均より50.9%で低値であった。

分析結果を踏まえた改善方策：学生からの授業に対する評価は、比較的良好であった。

各教科においては、一部やや低値を示す科目もあったので学生の理解が得られるよう、より授業の改善に努力することが必要である。回答率が65.6%であったので、100%を目指して回答のタイミングや実施についてを工夫する必要がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析： 回答率が学部平均より低値であった(65.6%)。質問 8 は全学・学部から大きく低値であった。質問 9、質問 12 も同様の結果であった。質問 10・11・13・14 では学部と比べ低値となった。後期科目の平均値は、質問 8～14 の全項目で、全学・学部よりも低値になった。回答率も 50.9%で低い。

分析結果を踏まえた改善方策： 学生の自己学習ができていないことが関連学修の低値から推察される。授業前の自習・復習など学修内容に対する準備とともに確認できていないことが分かった。負担にならない程度の宿題(課題)を提示して、次の授業で答え合わせをするなど、振り返りもしながら進めていく。授業時間以外での学修機会の創出で、学修の成果も向上するのではないかと考える。

【6】 教員へのフィードバックについて

- ・各科目の結果についてお知らせし、自己評価をお願いした。

【7】 学生へのフィードバックについて

- ・最終の授業時及び試験時に口頭で伝えた。(50%)
- ・セレッソに掲載して、結果と今後の取り組みについて知らせた。(50%)

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 身近な例を具体例としてあげ、言葉だけでは理解しにくい現象について提示していた。
- (2) 興味の持てる分かりやすい事例の話を交える。
- (3) 暗記すべき箇所と理論的な箇所が混在した内容で学習し難いと考えられ、端的にポイント(まとめ)を示したい。
- (4) 身近なニュースや話題と結びつけて学べるように授業を進める。

【9】 総括

各科目の授業の特性も関連しているが、授業内容の評価は比較的評価は高かったと考えられた。しかしながら、学生の自己評価からは、授業に関連する学修時間が極端に少なく、最終的な学習成果につながりにくい傾向であった。意欲は有っても勉強していない様子がみて取れた。また、回答率が 70%を切っており、全員の意見を取り入れるようアンケートの回答方法・タイミングは授業中に時間を取るなどの改善が必要である。

以上

令和 5 年 3 月 14 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部海洋生物科学科

学科長 北口 博隆

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期 21 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

質問 1 から質問 7 までが授業への評価に当たる項目であるが、これらの項目の平均は、海洋生物科学科は全学を前期・後期とも 0.04 ポイント上回っており、各項目の平均も多くは全学平均・学部平均よりも高かった。また、【質問 7】（授業への満足度）は、当学科の平均は全学平均を前期 0.15 ポイント、後期 0.09 ポイント上回っていた。これらの結果から、当学科で開講している授業科目は学生から概ね満足できると評価されていると考えられた。一方、【質問 3】（授業の計画性）、前期の【質問 4】（授業時間）は全学平均を下回っていた。授業の計画性については、一部の講義で「ほぼ行われている」と答えた学生の割合が比較的高かったために 5 より 4 に近い値となったためである。授業時間は、一部延長があったことが影響したためである。今年度は、多くの講義で昨年までの遠隔から対面に形式が戻ったために、講義内容・時間配分の再修正が必要であったことが理由であろう。

分析結果を踏まえた改善方策：

次年度は、ウィズコロナ・アフターコロナへの対応として授業形式の見直しを行う必要が生じると考えられる。その際に、学生への説明を丁寧に行うとともに、LMS の活用を含めた授業改善に取り組み、授業の計画的な実施を進めていく。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

【質問 11】(知識や技能の深まり)、【質問 13】(意欲の高まり)、【質問 14】(学修の成果)、はいずれも全学平均を上回っており、本学科の学生にとって授業内容には魅力があり、学生が学修成果を実感していると判断された。一方、【質問 8】(関連学習)【質問 9】(集中力)は全学平均を下回っていたが、これは授業のレベル設定がやや平易であることが原因の一つであると考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

LMS を活用した関連学習への誘導を行うことで予習・復習時間の改善を図る。

各授業のレベルを見直すことや対面授業の中での LMS 活用により学生の授業参加を促すことなどで、学生の集中力を維持する工夫をする。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、全ての集計結果を学科専任教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、すべての集計結果に目を通したうえで自己評価を行い、それに基づいた授業評価アンケート実施報告書の作成を促している。

【7】 学生へのフィードバックについて

講義の際、定期試験実施時、あるいは Cerezo を通じて当該授業科目担当教員が行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) 自己学習によるレポートを課題として提示することで多くの学生はしっかりとした内容を報告してきたが、一部はまだ指導の余地ありと感じている。

(2) 授業で話せる内容には限りがあるため、来年以降は講義動画に補遺的な内容を含めることで、学生に復習時間を多く割いてもらい、関連学習の意欲も高めたい。

(3) 今年度は、遠隔授業で導入して好評かつ復習時に効果的であった、毎回のテキストをセレッソ上で学期終了まで公開することを対面授業時に継続した。また板書することをやめ、パワーポイント資料をスクリーンに映し、学生にはセレッソ上で配布した資料を PC、タブレット、あるいはスマホで開き、手元で補助的に使用することも許可した。この方法が効果的であったと考えられるので、次年度以降も継続する。

(4) 遠隔授業で培った授業技術と対面授業をミックスしたので、教育効果は上がった。しかし、セレッソ

ソへ提示した資料へのアクセスを促す方策が必要である。

(5) 「関連学習」の改善策として、毎回の授業テキスト等に復習重点項目と次回の講義内容を具体的に示すとともに、予習事項を掲げ、学習してもらいたい内容を明確に伝えたい。

(6) 講義中の学生の表情や様子をさらに意識し、問いかけの時間を増やすなど授業への参加意識を高めるようにする。

(7) 学生からの質問や疑問を時間内に受けられるように、双方向のやり取りをさらに活発にする。

(8) 小テストで授業への質問やコメントを記入させているが、on time 参加型の内容をもっと取り入れていきたい。

【9】 総 括

学科が提供しているカリキュラムはおおむね学生のニーズに合っていると評価しているが、授業に関する関連学習の不足や集中力の維持など、学生の学習意欲を高める工夫が求められる。各教員の授業評価アンケート報告書にも、改善案としてそのような取り組みについて多く言及されていた。学科 FD などを通じて、それらの実践事例の効果について情報共有を行い、学科全体の教育改善に努めたい。

以上

⑭ 薬学部薬学科

令和5年3月8日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

薬学部薬学科

学科長 佐藤 英治

令和4年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和4年6月24日（月）～7月15日（金）

後期：令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期50科目、後期43科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期授業評価では、教員の授業評価に関する7項目のうち、全学平均を上回っているものは6項目（授業準備、教員の話し方、計画性、授業時間、質問への誠意、授業への満足度）、全学平均と同じであったものが1項目（授業の工夫）であった。基本的にはすべての項目において、ほぼ全学平均と同程度であった（授業準備：全学4.65、薬学4.69、話し方：全学4.47、薬学4.50、計画性：全学4.69、薬学4.78、授業時間：全学4.66、薬学4.73、講義の工夫：全学4.51、薬学4.51、質問への誠意：全学4.60、薬学4.63、授業への満足度：全学4.38、薬学4.39）。後期授業評価では、7項目すべてが全学平均上回っていた。前期と同様、すべての項目において、ほぼ全学平均と同程度であった。（授業準備：全学4.64、薬学4.70、話し方：全学4.49、薬学4.51、計画性：全学4.69、薬学4.78、授業時間：全学4.68、薬学4.75、講義の工夫：全学4.50、薬学4.53、質問への誠意：全学4.59、薬学4.63、授業への満足度：全学4.38、薬学4.41）。これらの値は例年とほぼ同様であり、年度間での相違は認められない。

分析結果を踏まえた改善方策：

全体的にはすべてが 4.3 点以上の高得点であり、問題ないと考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期授業評価では、学生の自己点検に関する 7 項目はすべてが全学平均上回っていた。(関連学習：全学 2.36、薬学 2.55、集中力：全学 4.14、薬学 4.46、出席状況：全学 4.63、薬学 4.82、知識の深まり：全学 4.32、薬学 4.36、授業内容理解への積極性：全学 3.67、薬学 3.71、意欲の高まり：全学 4.08、薬学 4.15、学修の成果：全学 4.19、薬学 4.23)。基本的にはすべての項目において、全学平均と同程度であるが、集中力は薬学生が高い傾向にあった。また、関連学習は対面授業が増加したためか、昨年度 (2.80) よりも低下した。後期授業評価でも同様の結果であった(関連学習：全学 2.31、薬学 2.37、集中力：全学 4.03、薬学 4.35、出席状況：全学 4.53、薬学 4.77、知識の深まり：全学 4.32、薬学 4.35、授業内容理解への積極性：全学 3.63、薬学 3.62、意欲の高まり：全学 4.07、薬学 4.16、学修の成果：全学 4.22、薬学 4.26)。関連学習以外の値は例年とほぼ同様であり、年度間での相違は認められない。

分析結果を踏まえた改善方策：

関連学習の値が低い傾向にあるが、自宅学習を増やす学修方略が必要かもしれない。令和 6 年度からカリキュラム変更する予定であるが、その際にはカリキュラムの在り方について検討する。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、Cerezo のいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 本講義では、授業の準備の項目が低評価であった。講義で使用する資料の事前配布が方策の一つとなると考える。
- (2) 学生にとって身近ではない分野に関心を持ってもらえるように、薬剤師業務と関連付けて教える。
- (3) 実際の医療現場の具体例を用いて授業を行ったが、背景知識も含めて体系的に説明することで関連学習の興味に繋がるよう工夫したい。
- (4) 学習成果について学生自身自覚させるため、確認テストを毎回授業の最後に実施する。
- (5) 意欲の高まりを向上させるため、冒頭で講義内容の必要性について述べ、講義を行う。

- (6) 本講義は2名の教員が分担している。これを、一人の教員が責任もって担当するよう変更すれば、アンケートの各項目について一貫性を持った教育ができるようになり、その結果として学生の学習成果が望ましい方向に進展すると考える。
- (7) 授業毎に確認試験をおこなうことは、学生および教員がお互いに理解度を把握しながら進行でき、理解不足の項目を補足説明しながら進行できる。

【9】総 括

薬学部のアンケート結果は、概ね全学平均よりも高く高得点であり、大きな問題はないと考える。令和6年度から新カリキュラムを開始する予定である。令和5年度には、カリキュラムを作成するが、より効果的・効率的なカリキュラムとなるよう検討する必要がある。

以上

⑮ 大学教育センター

令和 5 年 3 月 17 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

大学教育センター

センター長 鶴田 泰人

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、大学教育センターでは前期 49 科目、後期 49 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。

各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとしたが、【質問 3】授業の計画性では「シラバスを読んでいない」、【質問 4】授業時間では「この授業は遠隔授業なのでわからない」、【質問 6】質問への誠意では「質問したことがない」が設けられており、6 つの選択肢としている。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。調査結果は集計後、各回答に係数を乗し全回答数で除すことで、5 点満点で評価した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、標準値は 3.5 となる。

調査結果は、大学教育センター教育開発部門から、大学教育センター長経由で配布されたものを受理した。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。

点検結果の分析：

(R4 前期)

本センター平均 4.57 (昨年 4.52) 全学平均 4.57 と同じ

全学平均より低い設問

「教員の話し方」 (本センター4.46<全学 4.47) 0.01 ポイント低い

「授業の計画性」 (本センター4.67<全学 4.69) 0.02 ポイント低い

「授業への満足度」 (本センター4.34<全学 4.38) 0.04 ポイント低い

(R4 後期)

本センター平均 4.58 (昨年 4.55) 全学平均 4.57 より 0.01 ポイント高い

全学平均より低い設問

「教員の話し方」 (本センター4.47<全学 4.49) 0.02 ポイント低い

「授業時間」 (本センター4.66<全学 4.68) 0.02 ポイント低い

分析結果を踏まえた改善方策：

下線を引いたように、前期・後期を通じて「教員の話し方」で全学平均よりも低いことが判った。同設問は「教員の話は聞き取りやすいですか？／（音声のない遠隔授業の場合では）資料は読みやすいですか？」と問うものである。

たしかに同平均値で見れば低いが、個々の教員でその結果は異なるであろう。

とはいえ、全体で見た場合の結果を所属教員へ伝えることで、これへの意識を高めてもらい、今後も聞き取りやすくしたり読みやすくしたりするような工夫を続けてもらうようにする。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

(R4 前期)

本センター平均 3.83 (昨年 3.90) 全学平均 3.91 より 0.08 ポイント低い

全学平均より低い設問

「関連学習」 (本センター2.16<全学 2.36) 0.20 ポイント低い

「出席状況」 (本センター4.56<全学 4.63) 0.07 ポイント低い

「知識や技能の深まり」 (本センター4.26<全学 4.32) 0.06 ポイント低い

「授業内容理解への積極性」 (本センター3.61<全学 3.67) 0.06 ポイント低い

「意欲の高まり」 (本センター3.95<全学 4.08) 0.13 ポイント低い

「学修の成果」 (本センター4.13<全学 4.19) 0.06 ポイント低い

(R4 後期)

本センター平均 3.83 (昨年 3.93) 全学平均 3.88 より 0.05 ポイント低い

全学平均より低い設問

「関連学習」 (本センター2.21<全学 2.31) 0.10 ポイント低い

「出席状況」 (本センター4.42<全学 4.53) 0.11 ポイント低い

「知識や技能の深まり」 (本センター4.30<全学 4.32) 0.02 ポイント低い

「意欲の高まり」 (本センター3.99<全学 4.07) 0.08 ポイント低い

分析結果を踏まえた改善方策：

全体的には、前期に比べて後期のほうが全学平均との差が縮小したように見える。

ここでは、個別に見た場合に、全学平均との差が比較的大きい「関連学習」「意欲の高まり」の2つに注目してみたい。この他「出席状況」もその差が大きいと見られるが、コロナ禍で欠席届が緩やかに扱われたことから、ここでは言及しないこととする。

本センターにおける「関連学習」「意欲の高まり」の各平均は、たしかに全学平均に比べれば低いと言えるが、見方を変えて本センターの前期と後期で比べてみると、各設問とも後期では該平均の上昇していることが判る。

翻って元へ戻すと、この2つの設問において全学平均との差が大きいの、学生の本センターが担う全学共通教育への興味・関心や意欲が各学部・学科における専門教育へのそれらとは異なると考えられる点に、その理由があると思われる。ならば、全学共通教育に属する各科目が専門教育とどう繋がるのかが問われなければならない。

専門教育との関係で、とりわけ共通基礎や教養教育の各科目群の意義を問うて、関係の教員間で議論するところから始めたい。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。

非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、そもそもインターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手許に届けること自体に大変な労力を要する。

しかし、最終的には全ての教員に各自の授業評価の結果を知らせることができた。

【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、あるいは定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行うこととした。これについても非常勤講師に関しては連絡などに手間取ることもあり、所定の期間内に学生へのフィードバックが困難なケースも生じたようである。また、そもそもすべての授業を遠隔で実施した科目もあり、この場合も含めて、多くの科目担当者が Cerezo 上に掲載することで学生へのフィードバックを行った。

このフィードバック結果に基づき、対象科目担当教員には授業評価アンケート実施報告書の提出を求めた。最終的に全ての大学教育センター関係教員からフィードバック報告書が提出された。

【8】大学教育センター関係教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) 意見

検討を必要とする問題を指摘していると思われる意見を、以下に挙げる。

- ・全 15 回の授業を待たずに途中でアンケートを実施するのは、映画の感想を最後まで見ずに途中 7、8 割の段階で聞くことと同じであるので、アンケートは授業回数の最後近辺でとるべきである。

(2) 提案

本センター関係教員にとって有用であると思われる提案を抜粋し、以下に列挙する。

- ・もっと本を読み、人と話すことでさらに自分自身の知識を増やし、より魅力的な授業への糧とする。また、予備知識の幅が大きく厳しい状況ではあるが、何か改善の余地はないかと自らを省み、工夫しようとする態度をもつ。
- ・机間巡視を積極的に行い、学生の理解度を頻繁にはかるとともに、質問しやすい雰囲気作りを心がける。

【9】 総 括

本センター関係教員は、今年度の授業評価アンケートの結果を振り返り、それぞれに問題点を見出し、見つけた問題点を真摯に受けとめて、よりよい授業実践へと繋げようとしている。

ある教員が持っている課題を、自身の課題とも受けとめ、ともに授業力の向上に努めて参りたい。そのために、各々の結果の開示のあり方を検討したり、すでに本センター内で実施が続けられている「授業研究」の充実を図ったりしていくことが考えられる。

ともあれ、対面授業が本格的に戻るところで、コロナ禍で進んだオンライン授業の活用は、どう展開するのか。次年度における関係の実践に関する評価結果が、さっそく気になるところである。

以上

⑩ 共同利用センター

令和 5 年 3 月 8 日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

共同利用センター

センター長 鶴崎 健一

令和 4 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和 4 年 6 月 24 日（月）～7 月 15 日（金）
後期：令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者 6 名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、共同利用センターでは前期 2 科目（8 時間分）、後期 2 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学修支援システム Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

今回、アンケートを実施した科目（前期 2 科目、後期 2 科目）のうち、3 科目は全学平均と同程度か上回る評価であり、全体的には良い評価であったと思われる。一方、比較的評価の低かった前期の 1 科目（衛生学）は経済学部専門科目であるが、受講学生の学修意欲を高める工夫が必要と考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述のように、アンケート対象のうちの 4 分の 3 が全学平均を超えているので、継続して高い評価が得られるよう、慢心せずに授業を実施する。評価が比較的低かった衛生学については、経済学部の経済学部専門科目でスポーツマネジメントコースの授業で教職に必須であるため、その対象者をターゲットにした授業と課題を提示していたが、それが負担と感じる受講生がいたように思うので、受講生の学修意欲等を見定め、授業内容の難易度を調整する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

今回、アンケートを実施した科目（前期 2 科目、後期 2 科目）のうち、3 科目は全学平均と同程度か上回っていた。評価が比較的良かった衛生学については、授業への集中力を欠き、積極的に学修に取り組んでいない受講生が比較的多くおり、受講生の興味関心と授業内容にミスマッチがあったようである。

分析結果を踏まえた改善方策：

評価の低かった衛生学については、学修課題の適切性を再検討し、「知識の深まり」や「意欲の高まり」を感じられるように工夫する必要がある。その他の科目については、昨年までに比べ「関連学習」の時間は平均を満たしたが、必ずしも十分とは言えないため、受講生への負担とならないように注意を払いながら、適切な課題の提示による「関連学習」の増加のためのさらなる工夫を各教員に促したい。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果を各教員個別にフィードバックした。

【7】学生へのフィードバックについて

各教員が、授業時間内（主に最終回）に Cerezo のグラフデータを利用してフィードバックを行った。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 後期の面談形式の授業について、今回は受講生の学修意欲がもともと高く、それをうまく活用できた結果、高い評価を得たがと、過去の受講生を考えると必ずしも興味関心が高くない場合もあるので、いかに受講生自身の学修意欲を引き出すかを念頭に置いた指導を行いたい。
- (2) 後期のアンケートの回答率が比較的低い科目について、学生の負担感を考えて強く回答を要望しなかったことが原因と考えられ、回答率を上げるためには回答をより強く促すように働きかける必要がある。

【9】総括

共同利用センターは、センター独自の授業科目を開講しておらず共通教育科目や学科の専門科目の一部を担当している、また、授業内容が教員間で大きく異なるため、本センター全体としての評価は難しい。また、今回のように同じ教員でも科目によって評価が大きく異なることがあるため、平準的な評価や改善の提案は難しい部分がある。一方で、教員の勤めとして、学生のための効果的な授業展開は必要であるため、真摯に学生の評価を受け止める必要がある。次年度以降、通常の授業形態で展開されると思うが、新型コロナウイルス感染防止対策などで普及した ICT の積極的な活用など、SD などを通じて継続的に教員としての資質を高める努力を本センターにおいても怠らないようにしたい。

以上

7. 令和4年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	楠田 昭二		経済学演習Ⅰ	E06CMS310a	木	4時限	11
経済学部	経済学科	北浦 孝		体育実技Ⅰ（体づくり運動）	EE6SPM1550	火	2時限	18
経済学部	経済学科	佐藤 彰三		経済学演習Ⅰ	E06CMS310c	金	2時限	13
経済学部	経済学科	佐藤 彰三		卒業論文	EE6THE415c	その他	その他	12
経済学部	経済学科	三川 敦		経済数学	E05MBS1451	水	2時限	62
経済学部	経済学科	李 森		経済学（1）	G03SSL1400	月	4時限	101
経済学部	経済学科	吉田 卓史		スポーツマネジメント論	EE6SPM2200	木	3時限	67
経済学部	経済学科	石丸 敬二		経済学演習Ⅱ	EE6THE410g	火	3時限	11
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ		経済学演習Ⅰ	E06CMS310h	火	3時限	14
経済学部	経済学科	中村 和裕		体育実技Ⅵ（武道）	EE6SPM2630	金	2時限	24
経済学部	経済学科	野田 光太郎		コーチ学Ⅰ	EE6SPM2400	水	3時限	49
経済学部	経済学科	藤本 倫史		経済学演習Ⅰ	E06CMS310k	火	3時限	9
経済学部	経済学科	村松 悠次		マクロ経済学入門	E05MBS1121	木	2時限	134
経済学部	経済学科	田中 征史		上級マクロ経済学	EE6GME2750	木	1時限	14
経済学部	経済学科	櫻木 規美子		保健体育科教育法Ⅰ	QC7TTC2500	水	2時限	8
経済学部	経済学科	助田 暁		コーポレートファイナンス	EA6ABA2350	月	4時限	98
経済学部	経済学科	藁谷 達至		経済統計学Ⅰ	EE6GME2100	月	3時限	100
経済学部	経済学科	勝矢 倫生		日本経済史	EE6GME2300	金	2時限	42
経済学部	経済学科	新谷 士朗		スポーツ心理学	EE6SPM3450	金	1時限	41
経済学部	経済学科	岡本 昌規		体育実技Ⅲ（陸上競技）	EE6SPM2600	金	1時限	15
経済学部	経済学科	田邊 一洋		スポーツとメディア	EE6SPM3400	金	1時限	17
経済学部	経済学科	畑本 佳恵		情報処理基礎	G02INL110p	木	4時限	32
経済学部	経済学科	畑本 佳恵		情報処理基礎	G02INL110j	水	4時限	50
経済学部	経済学科	王 佳子		民法Ⅰ	E06CMS2250	月	2時限	29
経済学部	国際経済学科	足立 浩一		専門英語	G02ENG350o	木	4時限	56
経済学部	国際経済学科	早川 達二		経済学演習Ⅰ	E06CMS310p	火	3時限	13
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James		国際金融論	EE6IEC3200	月	1時限	76
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎		アメリカ経済論Ⅰ	EI6IEC2180	木	3時限	61
経済学部	国際経済学科	呉 青姫		経済学演習Ⅰ	E06CMS310s	月	3時限	7
経済学部	国際経済学科	白 映旻		専門英語	G02ENG350n	木	3時限	36
経済学部	国際経済学科	佐野 穂先		専門英語	G02ENG350d	木	3時限	46
経済学部	国際経済学科	上林 篤幸		E U経済論Ⅰ	EE6IEC3250	月	3時限	95
経済学部	国際経済学科	向井 洋		金融から見える世界Ⅰ	EE6IEC2400	水	5時限	58
経済学部	国際経済学科	平山 亮		アジア直接投資論Ⅰ	EI6IEC3600	木	3時限	17
経済学部	税務会計学科	白木 康晴		税法概論Ⅰ	EA6ABA2760	月	3時限	41
経済学部	税務会計学科	小林 正和		販売管理論Ⅰ	EA6ABA2500	火	4時限	126
経済学部	税務会計学科	許 霽		国際会計論Ⅰ	EA6ABA3600	火	1時限	27
経済学部	税務会計学科	張 楓		備後経済研究Ⅰ	EA6ABA2820	木	5時限	24
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹		管理会計Ⅰ	EA6ABA3500	木	1時限	37
経済学部	税務会計学科	大城 朝子		経済学演習Ⅱ	EE6THE4106	金	3時限	14
経済学部	税務会計学科	堀田 彩		教養ゼミ（教養講座を含む）	G01FYE110c	火	5時限	40
経済学部	税務会計学科	長濱 照美		財務会計Ⅰ	EA6ABA2600	水	2時限	42
経済学部	税務会計学科	荒谷 隆紘		税務会計Ⅰ	EA6ABA3700	金	2時限	31
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行		社会・地歴科教育法	QC7TTC3450	火	2時限	8
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保		日本近現代文学研究 1	HA6LIT2160	火	3時限	29
人間文化学部	人間文化学科	原 千史		社会思想と倫理 1	HA6ETH3310	火	3時限	20
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司		専門英語	G02ENG350q	金	3時限	45
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子		基礎演習Ⅰ	HA6RPE2133	木	2時限	21
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸		日本語研究法 1	HA6ETH3130	火	4時限	17
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美		日本の歴史と文化 1	HA6HIC2100	火	5時限	39
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美		日本近世の政治と文化 1	HA6HIC3220	木	2時限	27
人間文化学部	人間文化学科	村上 亮		世界史（1）	G03HIC1200	火	5時限	110
人間文化学部	人間文化学科	古内 絵里子		東アジアの歴史と文化 1	HA6HIC2160	火	4時限	37
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子		中国近世文化研究 1	HA6LIT3260	金	4時限	14
人間文化学部	人間文化学科	竹村 信治		日本の中世文学 1	HA6LIT3420	月	2時限	21
人間文化学部	人間文化学科	佐藤 和博		文化企画実習Ⅱ	HA6RPE2100	水	4時限	55

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二		日本王朝文学研究 1	HA6LIT2100	木	1時限	19
人間文化学部	人間文化学科	鈴木 一生		ヨーロッパ美術史 1	HA6HIC2280	水	3時限	41
人間文化学部	人間文化学科	嶋村 佳奈		日本古代の社会と文化 1	HA6HIC3160	月	4時限	19
人間文化学部	心理学科	日下部 典子		コミュニティ心理学	HP6ADS3500	金	3時限	42
人間文化学部	心理学科	日下部 典子		コミュニティ心理学	HP6ADS3500	金	3時限	42
人間文化学部	心理学科	日下部 典子		健康心理学専門ゼミ	HP6SNS4820	水	5時限	6
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子		発達心理学	HP6CRS2350	木	2時限	53
人間文化学部	心理学科	山崎 理央		専門英語	G02ENG350c	金	1時限	56
人間文化学部	心理学科	松本 明生		心と健康	G03THC1200	火	1時限	151
人間文化学部	心理学科	枝廣 和憲		教育心理学専門ゼミ	HP6SNS4660	水	5時限	7
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹		認知心理学課題実習	HP6SNS3220	木	3時限	12
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹		心理学実験 1	HP6PRS2100	金	3時限	52
人間文化学部	心理学科	中野 美奈		心理演習	HP6PRS3250	金	5時限	16
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美		捜査心理学課題実習	HP6SNS3900	木	3時限	9
人間文化学部	心理学科	金平 希		障害心理学専門ゼミ	HP6SNS4740	水	5時限	7
人間文化学部	心理学科	福留 広大		心理学統計法 1	HP5BDS1150	月	2時限	50
人間文化学部	心理学科	福留 広大		教養ゼミ (教養講座を含む)	G01FYE1102	火	5時限	50
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓		医療心理学専門ゼミ	HP6SNS4860	水	5時限	6
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓		心理学とキャリア	HP5BDS1100	その他	その他	55
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓		基礎ゼミ 1	HP6SNS2101	水	2時限	17
人間文化学部	心理学科	神原 広平		人体の構造と機能及び疾病	HP6RLS3200	その他	その他	38
人間文化学部	メディア・映像学科	長尾 光徳		メディア応用実習	HM6EPS3350	火	3時限	40
人間文化学部	メディア・映像学科	西原 尚		サウンドデザイン	HM6EPS2450	金	3時限	31
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明		メディア実践 (企画)	HM6EPS2350	月	5時限	44
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		グラフィックデザイン	HM6EPS2100	木	1時限	44
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		メディア実践 (展示)	HM6EPS3250	月	5時限	40
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		専門演習	HM6IPS3100	水	2時限	39
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		教養ゼミ (教養講座を含む)	G01FYE1103	火	5時限	39
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広		情報処理基礎	G02INL110t	金	4時限	41
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男		情報セキュリティ	HM6RAS3150	月	3時限	29
人間文化学部	メディア・映像学科	丸山 友美		メディアと調査	HM6FSU2100	木	3時限	19
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司		ゲームメディア論	HM6FSU2150	火	1時限	71
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之		メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	43
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 敏恵		アナウンス	HM6EPS1100	水	1時限	32
人間文化学部	メディア・映像学科	村上 友重		写真論	HM6EPS2300	火	3時限	39
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一		電気材料	TA6PEC3100	木	4時限	8
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一		電子デバイス	TA6EEC3200	火	2時限	19
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一		計測工学	TA6COM2260	水	2時限	19
工学部	スマートシステム学科	香川 直己		制御工学 II	TA6COM3110	木	3時限	13
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之		防災工学	T06SSE2100	火	1時限	71
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之		物理学 I	TG5FUS1200	水	1時限	41
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之		測量学	TA6COM2150	金	3時限	10
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之		地域防災基礎	G03RST1250	水	4時限	207
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之		耐震構造	T06SSE3250	金	1時限	24
工学部	スマートシステム学科	田中 聡		電波工学	TA6EEC3150	金	2時限	19
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一		リスクマネジメント	T06SSE3100	水	3時限	53
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡		デジタルシステム	TA6COM2210	木	4時限	21
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡		パワーエレクトロニクス	TA6PEC3150	水	2時限	7
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡		シーケンス制御	TA6PEC2100	水	3時限	17
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任		みらい工学プロジェクト	T06PBL1101	月	5時限	10
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任		スマートシステム応用実験	TA6EXE3210	火	3時限	22
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典		ロボット制御	TA6EEC3260	金	4時限	16
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典		プログラミング実習	TA6EXE2300	金	1時限	11
工学部	スマートシステム学科	歌谷 昌弘		工業数学 I	TA5FUS1200	火	2時限	27
工学部	スマートシステム学科	歌谷 昌弘		専門英語	G02ENG350e	木	1時限	26

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
工学部	スマートシステム学科	鳴石 しのぶ		キャリアデザインエンジニア入門	T15FUS3100	木	2時限	62
工学部	建築学科	佐藤 圭一		日本建築史	TK6COM2500	月	2時限	68
工学部	建築学科	梅國 章		建築構法	TK6FUA2500	木	4時限	62
工学部	建築学科	大島 秀明		建築設計演習Ⅲ	TK6ARC3360	火	3時限	52
工学部	建築学科	田辺 和康		みらい工学プロジェクト	T06PBL1106	月	5時限	10
工学部	建築学科	都祭 弘幸		弾塑性解析学	TK6ARC3100	木	2時限	6
工学部	建築学科	藤原 美樹		生活デザイン演習Ⅰ	TK6LED2100	水	1時限	26
工学部	建築学科	佐々木 伸子		建築製図演習Ⅰ	TK6FUA1160	月	3時限	67
工学部	建築学科	伊澤 康一		建築設備	TK6COM3450	火	2時限	76
工学部	建築学科	山本 一貴		建築積算	TK6COM4150	火	1時限	17
工学部	建築学科	酒井 要		建築デジタルデザインⅡ	TK6COM3150	月	2時限	43
工学部	建築学科	島田 美和子		生活デザイン演習Ⅲ	TK6LED3100	水	3時限	19
工学部	建築学科	秋岡 昌彦		造形デザインⅠ	TK6FUA2200	木	1時限	29
工学部	建築学科	藤井 稔己		建築材料実験	TK6COM3600	木	3時限	36
工学部	建築学科	山田 明		建築数理	TK5FUS1150	木	3時限	53
工学部	情報工学科	尾関 孝史		情報工学入門(情報化社会と倫理)	T16COM1100	火	3時限	68
工学部	情報工学科	山之上 卓		コンピュータアーキテクチャ演習	T16HAR3200	金	4時限	35
工学部	情報工学科	金子 邦彦		コンピューターサイエンス	T16COM1150	金	2時限	67
工学部	情報工学科	中道 上		安全情報システム	T06SSE3150	火	1時限	88
工学部	情報工学科	中道 上		みらい工学プロジェクト	T06PBL1103	月	5時限	20
工学部	情報工学科	新谷 敏朗		離散数学	T15FUS2100	火	3時限	24
工学部	情報工学科	宮崎 光二		プログラミング応用	T16SOP2100	木	3時限	58
工学部	情報工学科	池岡 宏		画像処理	T16APP3400	木	4時限	27
工学部	情報工学科	森田 翔太		論理回路	T16HAR2100	水	2時限	68
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦		自動車力学	TG6AME3150	木	4時限	11
工学部	機械システム工学科	木村 純壮		卒業研究	TG6GRW4100	その他	その他	25
工学部	機械システム工学科	木村 純壮		制御システム設計	TG6MSA3250	月	4時限	21
工学部	機械システム工学科	木村 純壮		教養ゼミ(2022)	Mechanical 032	その他	その他	23
工学部	機械システム工学科	内田 博志		自動車整備検査実習Ⅱ	TG6CMT3100	火	3時限	8
工学部	機械システム工学科	内田 博志		自動車の強度	TG6AME3200	金	2時限	9
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司		入門数学Ⅱ	TA5FUS2900	木	5時限	12
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司		材料力学Ⅰ	TG6MSA2300	金	3時限	35
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次		熱力学	TG6MSA2500	月	3時限	34
工学部	機械システム工学科	関根 康史		専門英語	G02ENG3501	木	3時限	36
工学部	機械システム工学科	関根 康史		デジタルデザイン	TG6MSB2101	月	4時限	16
工学部	機械システム工学科	中東 潤		機能材料学	TG6MSA2400	水	1時限	29
工学部	機械システム工学科	小林 正明		自動車整備工学	TG6CMT3150	火	2時限	9
工学部	機械システム工学科	金谷 健太郎		流体工学	TG6MSA2450	金	2時限	29
生命工学部	生物工学科	山本 覚		動物生理学	LB6BII2420	月	1時限	26
生命工学部	生物工学科	岩本 博行		生命倫理	LB6BII4900	水	1時限	31
生命工学部	生物工学科	山口 泰典		動物機能利用学	LB6ABI3400	月	2時限	41
生命工学部	生物工学科	久富 泰資		分子生物学	LB6BII2100	金	2時限	27
生命工学部	生物工学科	広岡 和丈		バイオ演習Ⅱ	LB5PRA2900	木	1時限	26
生命工学部	生物工学科	吉崎 隆之		ワイン醸造学	LB6ABI3300	火	2時限	41
生命工学部	生物工学科	磯崎 哲夫		理科教育法Ⅰ	QC7TTC3820	火	3時限	12
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之		植物栽培実習	LB6EXE1500	その他	その他	22
生命工学部	生物工学科	原口 博行		生物観察実習	LB6EXE1400	その他	その他	22
生命工学部	生物工学科	松崎 浩明		遺伝子科学実験	LB6EXE3100	その他	その他	37
生命工学部	生物工学科	太田 雅也		環境分析学実験	LB6EXE3850	その他	その他	37
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳		生物多様性実習	LB6EXE3800	その他	その他	37
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至		健康情報演習	LN5SHE2100	火	1時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子		給食マネジメント実習Ⅱ	LN6FSM3150	金	3時限	30
生命工学部	生命栄養科学科	田中 信一郎		解剖生理学Ⅰ	LN5BMD1400	火	1時限	28
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良		基礎化学	LN5CHE1100	金	2時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	西 彰子		栄養教育論Ⅱ	LN6NUE3100	火	2時限	28

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
生命工学部	生命栄養科学科	吉田 純子		応用栄養学Ⅱ	LN6APN2150	木	2時限	35
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋		食品の製造と保存	LN5FOH3101	木	1時限	30
生命工学部	生命栄養科学科	山田 直子		健康管理概論	LN5SHE1100	木	1時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	杉本 浩章		社会福祉概論	LN5SHE2200	金	1時限	30
生命工学部	生命栄養科学科	福田 伸治		食品衛生学	LN5FOH2150	金	2時限	28
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子		臨床栄養学実習Ⅱ	LN6CLN3350	その他	その他	30
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司		バイオ情報処理演習	LM5BIS3150	水	3時限	21
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人		水生観賞生物の分類と飼育	LM6AQS3150	火	1時限	64
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明		国際化と地域創生	G03RST1500	水	3時限	180
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳		化学Ⅰ	LM5CHE1101	月	2時限	47
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦		バイオテクノロジー入門	LM5BIS3100	金	1時限	36
生命工学部	海洋生物科学科	太田 健吾		魚類解剖学	LM6MCS2250	火	1時限	112
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人		水産学概論	LM6MCS2450	金	1時限	114
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美		動物組織学	LM6MCS2300	水	1時限	105
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕		水産食品科学実習(1)	LM6MFS3400	木	3時限	26
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司		沿岸域の水産業	LM6FIE3200	金	1時限	90
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司		水産養殖の生理学	LM6RUD3150	木	2時限	94
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司		資源利用育成実習(1)	LM6RUD3450	木	3時限	32
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里		生物統計学	LM5BIO2100	水	2時限	93
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里		フィールド調査法	LM6FIE3150	火	2時限	97
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆		干潟と藻場の生物学	LM6FIE4100	水	1時限	20
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正		フィールド生態環境実習(1)	LM6FIE3400	木	3時限	33
生命工学部	海洋生物科学科	我如古 菜月		栄養学	LM6MCS2400	木	2時限	99
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人		博物館資料保存論	QC7CUC3250	月	2時限	46
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至		博物館実習	QC7CUC4102	その他	その他	24
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至		博物館展示論	QC7CUC3400	月	3時限	46
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴		アクアリウム科学実習(1)	LM6AQS3400	木	3時限	32
薬学部	薬学科	片山 博和		統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	101
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄		生体エネルギー代謝	PP6BIO2100	木	2時限	101
薬学部	薬学科	田中 哲郎		薬物の臓器への到達と消失	PP6CLP3180	火	1時限	111
薬学部	薬学科	井上 裕文		基礎分析化学A	PP5MBS1260	月	2時限	104
薬学部	薬学科	小嶋 英二郎		機器分析学	PP6PHY2200	木	1時限	104
薬学部	薬学科	石津 隆		薬学の基礎となる化学A	PP5MBS1340	木	2時限	104
薬学部	薬学科	数野 博		ファーマシューティカルケア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	その他	その他	125
薬学部	薬学科	岡田 昌浩		ファーマシューティカルケア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	その他	その他	125
薬学部	薬学科	尾上 洋		ファーマシューティカルケア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	その他	その他	125
薬学部	薬学科	杉原 成美		生体のなりたち	G03NAS1400	火	1時限	107
薬学部	薬学科	田村 豊		薬の効くメカニズム	PP6CLP2100	水	1時限	104
薬学部	薬学科	高根 浩		臨床推論演習	PP6CLP4260	月	3時限	106
薬学部	薬学科	猿橋 裕子		医薬品管理	PP6LAS4100	金	1時限	111
薬学部	薬学科	坂根 洋		社会・集団と健康	PP6HLS4150	木	1時限	80
薬学部	薬学科	赤崎 健司		社会・集団と健康	PP6HLS4150	木	1時限	80
薬学部	薬学科	杉原 成美		疾病の予防	PP6HLS4100	木	3時限	104
薬学部	薬学科	中村 徹也		薬物の臓器への到達と消失	PP6CLP3180	火	1時限	111
薬学部	薬学科	前田 頼伸		病原微生物と感染症	PP6BIO3150	水	2時限	102
薬学部	薬学科	前田 頼伸		統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	101
薬学部	薬学科	喜屋武 龍二		実習Ⅱ	PP6PET2100	月	3時限	97
薬学部	薬学科	町支 臣成		基礎有機化学Ⅰ	PP6CHE1100	火	2時限	104
薬学部	薬学科	西山 卓志		ターゲット分子の合成	PP6CHE3100	木	4時限	116
薬学部	薬学科	小川 祥二郎		薬局方収載の試験法	PP6PHY3150	水	1時限	98
薬学部	薬学科	秦 季之		物質の構造と相互作用	PP6PHY2150	火	1時限	96
薬学部	薬学科	秦 季之		化学反応速度	PP6PHY3100	木	3時限	107
薬学部	薬学科	秦 季之		物理へのファースト・ステップ	G03NAS1650	金	2時限	105
薬学部	薬学科	道原 明宏		バイオ・細胞医薬品	PP6CLP4340	金	2時限	26

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部	薬学科	道原 明宏		ゲノム情報と創薬	PP6BIO2150	月	2時限	105
薬学部	薬学科	松岡 浩史		バイオ・細胞医薬品	PP6CLP4340	金	2時限	26
薬学部	薬学科	松岡 浩史		ゲノム情報と創薬	PP6BIO2150	月	2時限	105
薬学部	薬学科	柴田 紗知		感染症の薬物治療	PP6CLP4300	木	2時限	109
薬学部	薬学科	今 重之		免疫のしくみ	PP6BIO3200	金	2時限	109
薬学部	薬学科	重永 章		有機化学Ⅰ	PP6CHE2100	月	1時限	98
薬学部	薬学科	佐藤 雄己		悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	2時限	95
薬学部	薬学科	山下 純		コミュニケーション交流学习	PP5MBS2100	木	3時限	97
薬学部	薬学科	志摩 亜季保		生体調節分子	PP6BIO3100	月	2時限	98
薬学部	薬学科	渡邊 正知		中枢神経系疾患の薬・病態・治療Ⅱ	PP6CLP4140	水	1時限	110
薬学部	薬学科	五郎丸 剛		医薬品の安定供給と社会保障制度	PP6LAS4150	月	2時限	107
薬学部	薬学科	井上 敦子		課題研究	PP6PET3200	その他	その他	125
薬学部	薬学科	井上 敦子		生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	102
薬学部	薬学科	大西 正俊		生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	102
薬学部	薬学科	上敷領 淳		情報処理基礎	G02INL110s	金	3時限	104
薬学部	薬学科	広瀬 雅一		生命倫理	PP5MBS3100	金	4時限	102
薬学部	薬学科	長崎 信浩		生命倫理	PP5MBS3100	金	4時限	102
薬学部	薬学科	稗田 雄三		物質の基本概念	G03NAS1600	水	1時限	105
薬学部	薬学科	白川 真		物質の状態	PP6PHY2100	金	1時限	120
薬学部	薬学科	白川 真		物質の状態(再履修)	PP6PHY2100	金	1時限	25
薬学部	薬学科	白川 真		物質の状態	PP6PHY2100	金	1時限	95
薬学部	薬学科	高山 健人		漢方医学概説	PP6CLP1100	水	2時限	104
薬学部	薬学科	半田 由佳		薬学総論	PP6PET6100	その他	その他	125
薬学部	薬学科	竹田 修三		薬学英語演習Ⅱ	G02ENG510b	その他	その他	125
薬学部	薬学科	木平 孝高		ファーマシューティカルケア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	その他	その他	249
大学教育センター	大学教育センター	地主 弘幸		物理の世界	G03NAS1251	水	3時限	43
大学教育センター	大学教育センター	今井 航		特別活動の指導法	QC7TTC2450	木	5時限	69
大学教育センター	大学教育センター	竹盛 浩二		日本語表現法	G02JNE110d	月	2時限	37
大学教育センター	大学教育センター	劉 国彬		中国語(Ⅰ)	G02CHI110a	火	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	小野 太幹		数学Ⅰ	T15FUS2200	月	4時限	27
大学教育センター	大学教育センター	Lowes Jason		英語Ⅰ	G02ENG110o	木	2時限	33
大学教育センター	大学教育センター	津田 将行		キャリアデザインⅡ	G04CAE2102	金	5時限	17
大学教育センター	大学教育センター	前田 吉広		キャリアデザインⅡ	G04CAE2101	木	3時限	27
大学教育センター	大学教育センター	若松 正晃		英語Ⅰ	G02ENG110h	木	2時限	23
大学教育センター	大学教育センター	Tang Warren		英語Ⅰ	G02ENG110k	木	2時限	32
大学教育センター	大学教育センター	記谷 康之		情報処理基礎	G02INL110k	木	1時限	36
大学教育センター	大学教育センター	SUZUKI HEATHER ANNE		英語Ⅰ	G02ENG110b	火	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	Diussi Cordelia		英語Ⅰ	G02ENG110g	火	4時限	33
大学教育センター	大学教育センター	梅木 璃子		英語表現法1	HA6ETH2280	月	4時限	54
大学教育センター	大学教育センター	道法 愛		日本語表現法	G02JNE110b	月	2時限	49
大学教育センター	大学教育センター	上村 崇		倫理学(Ⅰ)	G03THC1250	火	4時限	151
大学教育センター	大学教育センター	田中 宏和		憲法	G03SSL1151	金	1時限	55
大学教育センター	大学教育センター	下林 千賀子		英語Ⅲ	G02ENG210v	金	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	外林 省二		書道	G03AHS1122	火	4時限	12
大学教育センター	大学教育センター	高橋 実		特別支援教育	QC7TTC3850	金	5時限	34
大学教育センター	大学教育センター	張 治清		中国語(Ⅰ)	G02CHI110g	木	2時限	28
大学教育センター	大学教育センター	溝淵 裕		憲法	G03SSL1152	金	1時限	44
大学教育センター	大学教育センター	金子 直樹		日本語表現法	G02JNE110f	月	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	高橋 和久		剣道(Ⅰ)	G03AHS1360	金	4時限	10
大学教育センター	大学教育センター	神野 靖子		音楽	G03AHS1241	火	2時限	12
大学教育センター	大学教育センター	渋谷 清		絵画	G03AHS1161	火	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	バーデン 京子		英語Ⅰ	G02ENG110m	火	4時限	19
大学教育センター	大学教育センター	宮岡 弥生		日本語表現法	G02JNE110o	金	4時限	36
大学教育センター	大学教育センター	高垣 裕子		英語Ⅲ	G02ENG210h	火	2時限	27
大学教育センター	大学教育センター	大牛 英則		英語Ⅰ	G02ENG110c	火	4時限	33
大学教育センター	大学教育センター	齊藤 一彦		体育(Ⅰ)	G03AHS1444	火	4時限	38

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター	大学教育センター	平山 直樹		英語Ⅰ	G02ENG110w	金	4時限	33
大学教育センター	大学教育センター	藤井 晶子		日本語表現法	G02JNE110k	木	3時限	39
大学教育センター	大学教育センター	笠本 晃代		英語Ⅲ	G02ENG210e	火	2時限	25
大学教育センター	大学教育センター	藤本 路加		陶芸	G03AHS1201	月	3時限	29
大学教育センター	大学教育センター	遠藤 耕二		哲学(Ⅰ)	G03THC1100	火	2時限	94
大学教育センター	大学教育センター	森岡 悦子		英語Ⅲ	G02ENG210o	火	3時限	29
大学教育センター	大学教育センター	前村 晃子		ドイツ語(Ⅰ)	G02GER1103	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	Benjamin Soar		英語Ⅲ	G02ENG210x	金	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	谷川 充美		日本語表現法1	G02JNE1151	月	4時限	43
大学教育センター	大学教育センター	崔 眞英		韓国語(Ⅰ)	G02KOR1106	木	3時限	41
大学教育センター	大学教育センター	山本 賢太郎		囲碁から学ぶ人間学(Ⅰ)	G03AHS1800	火	4時限	24
大学教育センター	大学教育センター	齋藤 拓海		日本史(Ⅰ)	G03HIC1102	水	3時限	135
大学教育センター	大学教育センター	赤松 頌也		フランス語(Ⅰ)	G02FRE1102	火	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨		英語Ⅰ	G02ENG110v	金	4時限	34
大学教育センター	大学教育センター	崔 嶋汀		韓国語(Ⅰ)	G02KOR1105	木	3時限	40
大学教育センター	大学教育センター	操 智		中国語(Ⅰ)	G02CHI110h	木	2時限	33
大学教育センター	大学教育センター	田村 耕一		市民生活と法	G03SSL1101	金	1時限	172
大学教育センター	大学教育センター	Peter M. Skaer		英語Ⅰ	G02ENG110p	木	3時限	27
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一		衛生学	EE6SPM2550	木	1時限	69
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110a	月	2時限	28
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110d	月	3時限	22
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110e	月	4時限	19
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110r	金	3時限	35
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110n	木	3時限	37
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110f	火	3時限	24
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理基礎	G02INL110o	木	4時限	38
IR室	IR室	片桐 重和		情報処理基礎	G02INL110c	水	2時限	67

8. 令和4年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	平田 宏二		現代社会と経済	G03SSL1300	水	1時限	213
経済学部	経済学科	楠田 昭二		環境経済学	EE6GME3360	火	2時限	145
経済学部	経済学科	北浦 孝		経済学演習Ⅱ	EE6THE410b	火	4時限	14
経済学部	経済学科	佐藤 彰三		地方財政論	EE6GME2700	木	3時限	166
経済学部	経済学科	三川 敦		経済数学	E05MBS1452	水	2時限	19
経済学部	経済学科	李 森		経済学演習Ⅰ	E06CMS310e	水	3時限	12
経済学部	経済学科	吉田 卓史		体育理論	G03AHS1520	火	1時限	149
経済学部	経済学科	石丸 敬二		経済学演習Ⅰ	E06CMS310g	火	2時限	7
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ		経済学演習Ⅱ	EE6THE410h	火	4時限	18
経済学部	経済学科	中村 和裕		現代スポーツ論Ⅱ	EE6SPM1150	火	4時限	103
経済学部	経済学科	野田 光太郎		体育実技Ⅱ（器械運動）	EE6SPM1600	月	3時限	19
経済学部	経済学科	藤本 倫史		スポーツ経済学Ⅱ	EE6SPM2150	木	4時限	47
経済学部	経済学科	村松 悠次		マクロ経済学入門	E05MBS1122	木	2時限	128
経済学部	経済学科	田中 征史		経済学演習Ⅱ	EE6THE410m	火	4時限	15
経済学部	経済学科	櫻木 規美子		経済学演習Ⅱ	EE6THE410n	金	4時限	13
経済学部	経済学科	助田 暁		金融論	EE6GME2400	月	2時限	109
経済学部	経済学科	助田 暁		金融論特講	EE6GME3800	月	4時限	20
経済学部	経済学科	藁谷 達至		経済統計学Ⅱ	EE6GME2150	月	3時限	72
経済学部	経済学科	王 佳子		法学概論（2）	G03SSL1250	月	1時限	78
経済学部	経済学科	加藤 茂幸		スポーツ救急技法	EE6SPM3550	その他	その他	12
経済学部	国際経済学科	足立 浩一		経済学演習Ⅰ	E06CMS310o	木	3時限	9
経済学部	国際経済学科	早川 達二		日本経済論（平成期）	EE6GME3250	火	1時限	171
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James		英語ゼミナールⅡ	E16IEC1151	木	1時限	35
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎		中南米経済論	E16IEC3550	火	3時限	59
経済学部	国際経済学科	呉 青姫		中国経済論Ⅱ	EE6GME2880	火	4時限	45
経済学部	国際経済学科	白 映旻		経済学演習Ⅱ	EE6THE410t	月	4時限	5
経済学部	国際経済学科	白 映旻		経済学演習Ⅰ	E06CMS310t	月	3時限	3
経済学部	国際経済学科	佐野 穂先		経済学演習Ⅱ	EE6THE410u	水	3時限	10
経済学部	国際経済学科	上林 篤幸		E U経済論Ⅱ	EE6IEC3300	月	3時限	78
経済学部	国際経済学科	向井 洋		金融から見える世界Ⅱ	EE6IEC2450	水	5時限	50
経済学部	国際経済学科	平山 亮		アジア直接投資論Ⅱ	E16IEC3650	木	3時限	27
経済学部	税務会計学科	白木 康晴		税法概論Ⅱ	EA6ABA2790	月	3時限	38
経済学部	税務会計学科	小林 正和		販売管理論Ⅱ	EA6ABA2550	火	4時限	136
経済学部	税務会計学科	許 霽		国際会計論Ⅱ	EA6ABA3650	火	1時限	31
経済学部	税務会計学科	張 楓		備後経済研究Ⅱ	EA6ABA2850	木	5時限	13
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹		管理会計Ⅱ	EA6ABA3550	木	1時限	27
経済学部	税務会計学科	大城 朝子		国際経営論	EA6ABA3400	木	4時限	44
経済学部	税務会計学科	堀田 彩		経営組織論Ⅱ	EA6ABA3300	金	1時限	24
経済学部	税務会計学科	長濱 照美		財務会計Ⅱ	EA6ABA2650	水	2時限	44
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行		地誌	G03HIC1400	火	3時限	182
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保		日本近現代文学研究2	HA6LIT2190	火	3時限	30
人間文化学部	人間文化学科	原 千史		社会思想と倫理2	HA6ETH3340	火	3時限	15
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司		アメリカ文化入門	HA5BDS1300	金	2時限	53
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子		中国語（Ⅱ）	G02CHI115e	火	4時限	41
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸		文化リテラシー入門	HA6RPE1102	水	2時限	13
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美		日本の歴史と文化2	HA6HIC2130	火	5時限	15
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美		日本近世の政治と文化2	HA6HIC3250	木	2時限	22
人間文化学部	人間文化学科	村上 亮		ドイツ語（Ⅱ）	G02GER1151	火	3時限	21
人間文化学部	人間文化学科	古内 絵里子		東アジアの歴史と文化2	HA6HIC2190	火	4時限	26
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子		中国近世文化研究2	HA6LIT3280	金	4時限	11
人間文化学部	人間文化学科	山崎 桂子		日本文化入門	HA5BDS1200	金	3時限	56
人間文化学部	人間文化学科	竹村 信治		日本の中世文学2	HA6LIT3440	月	2時限	20
人間文化学部	人間文化学科	新本 万里子		日本民俗論	G03HIC1700	木	5時限	53
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二		日本王朝文学研究2	HA6LIT2130	木	1時限	19
人間文化学部	人間文化学科	鈴木 一生		ヨーロッパ美術史2	HA6HIC2310	水	3時限	43

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
人間文化学部	人間文化学科	嶋村 佳奈		日本古代の社会と文化 2	HA6HIC3190	月	4時限	10
人間文化学部	人間文化学科	白井 純		日本語の歴史	HA6ETH3100	金	3時限	19
人間文化学部	心理学科	日下部 典子		心理学的支援法	HP6CRS2400	金	2時限	51
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子		ジェンダーの心理学	G03THC1350	水	3時限	58
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子		心理的アセスメント	HP6PRS3200	火	4時限	54
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子		家族の人間関係	HP6ADS3350	月	2時限	59
人間文化学部	心理学科	山崎 理央		臨床心理学専門ゼミ	HP6SNS4780	水	5時限	7
人間文化学部	心理学科	山崎 理央		臨床心理学課題実習	HP6SNS3420	木	3時限	6
人間文化学部	心理学科	松本 明生		学習・言語心理学	HP6CRS2450	木	5時限	50
人間文化学部	心理学科	枝廣 和憲		教育心理学	QC7TTC1550	火	3時限	135
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹		心理学研究法	HP5BDS1250	月	1時限	53
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹		認知心理学専門ゼミ	HP6SNS4580	水	5時限	8
人間文化学部	心理学科	平 伸二		心理学総論	HP5BDS1300	木	1時限	62
人間文化学部	心理学科	濱本 有希		心理学総論	HP5BDS1300	木	1時限	62
人間文化学部	心理学科	中野 美奈		心理実習	HP6PRS4300	木	2時限	13
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美		司法・犯罪心理学	HP6ADS2150	火	4時限	43
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美		心理学実験 2	HP6PRS2150	金	3時限	50
人間文化学部	心理学科	金平 希		心理的アセスメント	HP6PRS3200	火	4時限	54
人間文化学部	心理学科	金平 希		卒業研究	HP6THE4100	その他	その他	64
人間文化学部	心理学科	福留 広大		社会心理学専門ゼミ	HP6SNS4620	水	5時限	7
人間文化学部	心理学科	福留 広大		心理学統計法 2	HP5BDS1200	水	2時限	51
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓		基礎ゼミ 2	HP6SNS2141	木	2時限	50
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		アニメ論	HM6EPS2250	金	2時限	44
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		専門演習	HM6IPS3100	水	2時限	39
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁		メディア発展実習	HM6EPS3400	月	3時限	39
人間文化学部	メディア・映像学科	岡田 秀一		メディア発展実習	HM6EPS3400	月	3時限	39
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広		情報処理応用	H05BFS1353	金	4時限	40
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男		メディア実践(調査)	HM6EPS2400	火	5時限	79
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司		C G 映像制作	HM6EPS2200	火	2時限	44
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明		C G 映像制作	HM6EPS2200	火	2時限	44
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之		e ラーニング論	HM6FSU2300	月	5時限	26
人間文化学部	メディア・映像学科	丸山 友美		社会学	G03SSL1350	火	4時限	20
人間文化学部	メディア・映像学科	村上 博郁		地域メディア論	HM6RAS3250	水	4時限	21
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 聡登		映画論	HM6FSU2200	木	1時限	37
人間文化学部	メディア・映像学科	松井 雄一郎		広告制作	HM6EPS3100	月	1時限	24
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一		入門数学 I	TA5FUS1900	火	5時限	7
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一		スマートシステム基礎実験 II	TA6EXE2250	月	4時限	26
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一		瀬戸内の里山・里海学	G03RST1450	水	4時限	227
工学部	スマートシステム学科	香川 直己		電子工学応用実験	TA6EXE3450	その他	その他	15
工学部	スマートシステム学科	香川 直己		制御工学 I	TA6COM2750	木	2時限	22
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之		地域防災応用	G03RST1300	水	4時限	156
工学部	スマートシステム学科	田中 聡		電気通信事業法・電波法	TA6EEC3400	水	3時限	13
工学部	スマートシステム学科	田中 聡		電子機器学	TA6EEC3300	木	2時限	16
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一		確率統計	TA6COM2600	木	4時限	20
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡		電気磁気学 I	TA6COM1150	水	2時限	26
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡		電気工学応用実験	TA6EXE3360	その他	その他	8
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任		ものづくり加工実習	TA6EXE2150	金	1時限	20
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典		プログラミング基礎	TA6COM1250	月	2時限	20
工学部	スマートシステム学科	歌谷 昌弘		電気機器	TA6PEC3350	木	1時限	7
工学部	スマートシステム学科	歌谷 昌弘		工業数学 II	TA5FUS1400	火	2時限	28
工学部	建築学科	佐藤 圭一		建築製図演習 II	TK6FUA1210	火	1時限	59
工学部	建築学科	梅國 章		静力学 I	TK6FUA1350	木	1時限	94
工学部	建築学科	田辺 和康		地学実験	LM5ERS1152	木	4時限	21
工学部	建築学科	田辺 和康		地学実験(教職)	QC7TTC1451	木	3時限	10
工学部	建築学科	都祭 弘幸		建築防災工学	T06SSE3400	金	2時限	47

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
工学部	建築学科	佐々木 伸子		造形基礎	TK5FUS1310	木	3時限	63
工学部	建築学科	伊澤 康一		建築環境工学Ⅱ	TK6COM2700	木	3時限	68
工学部	建築学科	藤原 美樹		ユニバーサルデザイン論	TK6LED3350	月	1時限	48
工学部	建築学科	山本 一貴		建築デザイン論	TK6ARC3450	水	2時限	70
工学部	建築学科	酒井 要		建築総合技術Ⅰ	TK6QEC3500	木	1時限	74
工学部	建築学科	後藤 亜貴		生活デザイン演習Ⅳ	TK6LED3150	水	3時限	19
工学部	建築学科	武村 秀志		建築施工	TK6COM3660	木	4時限	80
工学部	建築学科	秋岡 昌彦		造形デザインⅡ	TK6COM2100	木	1時限	23
工学部	建築学科	大島 秀明		建築設計演習Ⅳ	TK6ARC3410	月	3時限	50
工学部	建築学科	大島 秀明		建築設計演習Ⅱ	TK6FUA2160	火	3時限	48
工学部	建築学科	山田 明		建築振動学	TK6ARC3150	金	5時限	7
工学部	情報工学科	尾関 孝史		応用数学	TI5FUS2150	火	3時限	16
工学部	情報工学科	山之上 卓		並列分散処理	TI6SOF3300	月	2時限	39
工学部	情報工学科	金子 邦彦		データベース演習	TI6SOF2650	金	4時限	43
工学部	情報工学科	中道 上		ソフトウェア開発演習	TI6SOF3400	火	3時限	49
工学部	情報工学科	宮崎 光二		アプリデザイン演習	TI6APP3200	火	2時限	40
工学部	情報工学科	池岡 宏		プログラミング入門	TI6SOF1100	木	3時限	70
工学部	情報工学科	森田 翔太		コンピュータアーキテクチャ	TI6HAR2150	水	2時限	53
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦		デジタルドローイング	TG6MSB1100	金	3時限	24
工学部	機械システム工学科	木村 純壮		卒業研究	TG6GRW4100	その他	その他	25
工学部	機械システム工学科	木村 純壮		メカトロニクス	TG6MSA3450	火	3時限	29
工学部	機械システム工学科	内田 博志		カーエレクトロニクス	TG6AME3300	木	2時限	9
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司		機械数値工学	TG6MSB2200	月	1時限	24
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司		生産加工システム	TG6MSA1200	火	2時限	16
工学部	機械システム工学科	山田 宏		バイオデザイン	TG6MSB3250	月	2時限	20
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次		熱エネルギー工学	TG6MSA2750	月	3時限	30
工学部	機械システム工学科	関根 康史		ターボデジタルデザイン	TG6MSB3300	火	4時限	24
工学部	機械システム工学科	関根 康史		暮らしと物づくり	G03NAS1200	木	5時限	289
工学部	機械システム工学科	中東 潤		機械材料学	TG6MSA1250	水	1時限	20
工学部	機械システム工学科	小林 正明		ロボットデザイン	TG6MSB3350	月	5時限	31
工学部	機械システム工学科	小林 正明		電気工学概論	TG6MSA3350	月	3時限	37
工学部	機械システム工学科	金谷 健太郎		流体機械システム	TG6MSA2700	木	2時限	16
生命工学部	生物工学科	山本 覚		酵素利用工学	LB6ABI3700	金	1時限	37
生命工学部	生物工学科	岩本 博行		機能生化学	LB5BCH3720	木	1時限	23
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之		バイオ英語Ⅰ	LB5ELS3950	月	2時限	35
生命工学部	生物工学科	原口 博行		植物機能利用学	LB6ABI3500	火	1時限	41
生命工学部	生物工学科	松崎 浩明		生産安全管理技術	LB6ABI2350	木	2時限	15
生命工学部	生物工学科	太田 雅也		バイオ演習Ⅲ	LB5PRA3900	火	2時限	36
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳		保全生物学	LB6BI2850	火	2時限	26
生命工学部	生物工学科	磯崎 哲夫		理科教育法Ⅰ	QC7TTC3820	火	3時限	12
生命工学部	生物工学科	山口 泰典		細胞生物学実験	LB6EXE2400	その他	その他	27
生命工学部	生物工学科	久富 泰資		生物科学基礎実験	LB6EXE1600	その他	その他	21
生命工学部	生物工学科	広岡 和文		生物資源・生産実験	LB6EXE3300	その他	その他	36
生命工学部	生物工学科	吉崎 隆之		果樹栽培加工実習	LB6EXE2300	その他	その他	26
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至		生化学Ⅰ	LN5BMD1500	木	1時限	29
生命工学部	生命栄養科学科	田中 信一郎		解剖生理学Ⅱ	LN5BMD1450	水	2時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良		食品学Ⅱ	LN5FOH1450	水	1時限	29
生命工学部	生命栄養科学科	西 彰子		栄養教育論Ⅰ	LN6NUE2300	火	2時限	29
生命工学部	生命栄養科学科	吉田 純子		基礎栄養学Ⅱ	LN6BAN1250	月	2時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子		臨床栄養学Ⅲ	LN6CLN3300	月	1時限	32
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋		食品の調製と評価	LN5FOH2100	火	1時限	28
生命工学部	生命栄養科学科	山田 直子		公衆栄養学	LN6PHN2100	水	1時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子		管理栄養士特別演習	LN6IPRA4100	その他	その他	41
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明		魚病学概論	LM6MCS2550	金	2時限	108
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳		海洋生態学	LM6MCS1150	木	1時限	105

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆		海洋環境科学	LM6MCS2600	火	1時限	100
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦		水産食品科学実習(2)	LM6MFS3450	木	3時限	27
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人		魚類の飼料と栄養	LM6RUD3200	月	1時限	82
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美		アクアリウム科学実習(2)	LM6AQS3450	木	3時限	32
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕		食品バイオテクノロジー	LM6MFS4150	金	2時限	10
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司		水産資源の生態	LM6RUD3250	月	2時限	79
生命工学部	海洋生物科学科	太田 健吾		遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	106
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正		生物多様性と其の保全	LM6FIE3300	水	2時限	96
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至		博物館情報・メディア論	QC7CUC3350	月	5時限	45
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人		水生生物の生態と環境	LM6AQS3350	水	1時限	92
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴		生理学	LM5BIO1200	火	1時限	88
生命工学部	海洋生物科学科	我如古 菜月		食品分析学	LM6MFS3500	金	1時限	39
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里		海洋動物の行動と生態	LM6FIE3250	木	1時限	94
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司		遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	106
生命工学部	海洋生物科学科	占部 哲也		博物館教育論	QC7CUC3150	月	3時限	40
薬学部	薬学科	田村 豊		代謝系・呼吸器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3220	月	4時限	101
薬学部	薬学科	田村 豊		生体機能の調節Ⅰ	PP6BIO1150	火	2時限	102
薬学部	薬学科	田村 豊		人体の成り立ちと機能ⅠB	PP5MBS1460	その他	その他	9
薬学部	薬学科	小川 祥二郎		分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	97
薬学部	薬学科	小嶋 英二郎		臨床検査	PP6CLP2300	金	2時限	94
薬学部	薬学科	佐藤 英治		調剤	PP6CLP3340	火	1時限	102
薬学部	薬学科	片山 博和		製剤とDDS	PP6CLP3420	水	1時限	101
薬学部	薬学科	赤崎 健司		生命体の基本単位としての細胞	PP6BIO1200	水	1時限	102
薬学部	薬学科	坂根 洋		生活環境と健康	PP6HLS2100	木	2時限	98
薬学部	薬学科	町支 臣成		基礎有機化学Ⅱ	PP6CHE1150	月	1時限	103
薬学部	薬学科	西山 卓志		基礎有機化学Ⅱ	PP6CHE1150	月	1時限	103
薬学部	薬学科	秦 季之		物質のエネルギー	PP6PHY1100	金	2時限	102
薬学部	薬学科	今 重之		免疫と疾患	PP6BIO3250	金	1時限	99
薬学部	薬学科	柴田 紗知		免疫と疾患	PP6BIO3250	金	1時限	99
薬学部	薬学科	重永 章		有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	96
薬学部	薬学科	佐藤 雄己		製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	101
薬学部	薬学科	広瀬 雅一		薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	97
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄		物質の構造と放射線	PP6PHY2250	火	2時限	93
薬学部	薬学科	渡邊 正知		人体の成り立ちと機能Ⅱ	PP6BIO1100	木	2時限	105
薬学部	薬学科	大西 正俊		血液・造血管系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	94
薬学部	薬学科	井上 敦子		血液・造血管系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	94
薬学部	薬学科	道原 明宏		生命情報を担う遺伝子	PP6BIO1300	月	2時限	103
薬学部	薬学科	松岡 浩史		生命情報を担う遺伝子	PP6BIO1300	月	2時限	103
薬学部	薬学科	松岡 浩史		セルフメディケーション	G03AHS1730	金	1時限	26
薬学部	薬学科	上敷領 淳		生命活動を担うアミノ酸・タンパク質代謝系	PP6BIO2200	月	1時限	94
薬学部	薬学科	志摩 亜季保		生命活動を担うアミノ酸・タンパク質代謝系	PP6BIO2200	月	1時限	94
薬学部	薬学科	前原 昭次		薬学の基礎となる化学B	PP5MBS1380	その他	その他	9
薬学部	薬学科	前原 昭次		天然物化学	PP6CHE2250	木	4時限	94
薬学部	薬学科	高山 健人		漢方薬物治療	PP6CLP1140	水	2時限	102
薬学部	薬学科	半田 由佳		病原体としての微生物	PP6BIO1250	火	1時限	102
薬学部	薬学科	稗田 雄三		化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	23
薬学部	薬学科	喜屋武 龍二		化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	23
薬学部	薬学科	喜屋武 龍二		薬学の基礎となる化学B	PP5MBS1380	その他	その他	9
薬学部	薬学科	竹田 修三		薬学英语演習Ⅱ	G02ENG510a	その他	その他	116
薬学部	薬学科	山下 純		患者の視点に立った行動	PP6CLP4420	その他	その他	106
薬学部	薬学科	井上 裕文		応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	99
薬学部	薬学科	田中 哲郎		薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	101
薬学部	薬学科	杉原 成美		食品衛生	PP6HLS3150	火	2時限	99
薬学部	薬学科	石津 隆		有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	96
薬学部	薬学科	猿橋 裕子		薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	97

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部	薬学科	田中 哲郎		薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	101
薬学部	薬学科	杉原 成美		食品衛生	PP6HLS3150	火	2時限	99
薬学部	薬学科	石津 隆		有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	96
薬学部	薬学科	猿橋 裕子		薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	97
薬学部	薬学科	中村 徹也		薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	101
薬学部	薬学科	中村 徹也		薬学の基礎としての数学B	PP5MBS1220	その他	その他	34
薬学部	薬学科	高根 浩		事前学習	PP6PET4250	その他	その他	106
大学教育センター	大学教育センター	地主 弘幸		物理現象の基礎	G03NAS1300	水	3時限	72
大学教育センター	大学教育センター	今井 航		教育方法論	QC7TTC2150	火	4時限	60
大学教育センター	大学教育センター	竹盛 浩二		総合的な学習の時間の指導法Ⅰ	QC7TTC3870	金	5時限	43
大学教育センター	大学教育センター	劉 国彬		中国語(Ⅱ)	G02CHI115f	木	2時限	38
大学教育センター	大学教育センター	小野 太幹		基礎数学	G03NAS1151	火	3時限	47
大学教育センター	大学教育センター	Lowes Jason		英語Ⅱ	G02ENG115o	木	2時限	45
大学教育センター	大学教育センター	津田 将行		キャリアデザインⅡ	G04CAE2103	木	3時限	37
大学教育センター	大学教育センター	前田 吉広		Webデザイン入門	G03NAS1901	水	2時限	60
大学教育センター	大学教育センター	Tang Warren		英語Ⅳ	G02ENG215k	火	3時限	27
大学教育センター	大学教育センター	記谷 康之		情報処理技法	E05MBS1305	木	1時限	37
大学教育センター	大学教育センター	SUZUKI HEATHER ANNE		英語Ⅱ	G02ENG115b	火	4時限	19
大学教育センター	大学教育センター	Driussi Cordelia		英語Ⅱ	G02ENG115t	金	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	梅木 璃子		英語Ⅳ	G02ENG215b	月	3時限	45
大学教育センター	大学教育センター	上村 崇		倫理学(2)	G03THC1300	火	4時限	69
大学教育センター	大学教育センター	田中 宏和		憲法	G03SSL1154	水	2時限	84
大学教育センター	大学教育センター	勝部 真人		日本史(2)	G03HIC1152	金	3時限	77
大学教育センター	大学教育センター	下林 千賀子		英語Ⅳ	G02ENG215v	金	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	Peter M. Skaer		英語Ⅱ	G02ENG115p	木	3時限	26
大学教育センター	大学教育センター	張 治清		中国語(Ⅱ)	G02CHI115g	木	2時限	26
大学教育センター	大学教育センター	溝淵 裕		憲法	G03SSL1153	金	1時限	104
大学教育センター	大学教育センター	金子 直樹		日本語表現法	G02JNE110t	月	4時限	29
大学教育センター	大学教育センター	高橋 和久		剣道(2)	G03AHS1400	金	4時限	11
大学教育センター	大学教育センター	神野 靖子		音楽	G03AHS1242	火	2時限	6
大学教育センター	大学教育センター	渋谷 清		絵画	G03AHS1162	火	3時限	8
大学教育センター	大学教育センター	バーデン 京子		英語Ⅱ	G02ENG115m	火	4時限	19
大学教育センター	大学教育センター	高垣 裕子		英語Ⅳ	G02ENG215h	火	2時限	29
大学教育センター	大学教育センター	大牛 英則		英語Ⅱ	G02ENG115c	火	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	木村 真弓		ダンス	G03AHS1680	木	4時限	6
大学教育センター	大学教育センター	齊藤 一彦		体育(2)	G03AHS1483	火	3時限	19
大学教育センター	大学教育センター	平山 直樹		英語Ⅳ	G02ENG2151	金	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	藤井 晶子		日本語表現法2	HM5BDS1300	水	2時限	47
大学教育センター	大学教育センター	笠本 晃代		英語Ⅳ	G02ENG215e	火	2時限	25
大学教育センター	大学教育センター	藤本 路加		陶芸	G03AHS1207	金	3時限	29
大学教育センター	大学教育センター	遠藤 耕二		哲学(2)	G03THC1150	火	2時限	78
大学教育センター	大学教育センター	高澤 健司		生徒指導・進路指導論	QC7TTC2330	火	1時限	100
大学教育センター	大学教育センター	森岡 悦子		英語Ⅱ	G02ENG115j	木	2時限	32
大学教育センター	大学教育センター	岡田 秀一		ドローンで撮る地域の魅力	G03RST1400	木	4時限	37
大学教育センター	大学教育センター	前村 晃子		ドイツ語(Ⅱ)	G02GER1153	木	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	牧 貴愛		教育制度論	QC7TTC1150	水	4時限	89
大学教育センター	大学教育センター	Benjamin Soar		英語Ⅱ	G02ENG115n	木	2時限	30
大学教育センター	大学教育センター	谷川 充美		日本語表現法	G02JNE110s	月	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	崔 眞英		韓国語(Ⅱ)	G02KOR1152	火	4時限	53
大学教育センター	大学教育センター	山本 賢太郎		囲碁から学ぶ人間学(2)	G03AHS1840	火	4時限	11
大学教育センター	大学教育センター	赤松 頌也		フランス語(Ⅱ)	G02FRE1153	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨		英語Ⅱ	G02ENG115d	火	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨		英語Ⅳ	G02ENG2152	金	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	崔 嶋汀		韓国語(Ⅱ)	G02KOR1155	木	3時限	37
大学教育センター	大学教育センター	操 智		中国語(Ⅱ)	G02CHI115h	木	2時限	26
大学教育センター	大学教育センター	吉村 慎太郎		エスニシティ論	G03HIC1600	水	4時限	59
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫		情報処理応用	G02INL1153	木	3時限	45
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一		松永に学ぶ産業と文化	G03RST1200	その他	その他	10
IR室	IR室	片桐 重和		実用情報処理演習	TI6COM1200	月	2時限	67